

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO AUGUST 2014 VOL.62 NO.8

ロータリーの友8月号 第62巻 第8号
平成26年8月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻740号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

8

2014



特集 会員増強・拡大月間
ロータリーを楽しもう
ロータリーを再発見。

Rotary 



ロータリーは友情の扉です。
みんなのために扉を開け放ちましょう。
ロータリーの創始者 ポール・ハリス





会員増強で 奉仕の仲間を増やす



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014 - 15 年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーで 8 月は、会員増強・拡大月間です。毎年、新しい年度が始まって間もない時期に、私たち自身に会員増強の大切さを思い出させるには、十分な理由があります。私たちの会員を増やすのに、早すぎるということがないからです。また、やめることができない仕事でもあります。奉仕を続けるために、ロータリーは常に成長し続ける必要があるのです。

配偶者をロータリーに

私たちはこれまで何年間にもわたって、ロータリー家族の重要性について話し合ってきました。今年度、私は、いわゆるロータリー家族だけではなく、会員増強の最優先事項として、自身の家族をロータリアンにさせていただきたいと思っています。私がロータリーに入会し 37 年を経て、妻のコリーナも昨年ついにロータリアンになりました。私たちが台湾にできた新クラブの認証状伝達式に一緒に出席した時、「私もロータリアンになる時だわ」と、彼女が言ったのです。そうして彼女はそのクラブに入会しました。その後すぐに、ほかの人も大勢入会し、現在そのクラブは 102 人の会員がいる、台湾で 2 番目に大きいクラブになりました。

自分の配偶者をロータリーに勧誘することは、単に会員数を増やすということだけにとどまるものではありません。ロータリーは依然として女性会員より男性会員がはるかに多いという現実と向き合うことであり、そして、私たちが取り組まなければならないことでもあるのです。ロータリーにもっと多くの女性会員を連れてくることができれば、私たちのクラブは、女性の会員候補者にとって、より魅力あるものとなり、同時に、より実りの多いものになるでしょう。

えています。それは、新会員推薦者のための認証ピンです。これは、新会員をロータリーに入会させると、ロータリーの徽章と一緒に着ける特別な認証ピンがもらえるということです。しかし、新会員が一人入会すれば、それで会員増強の仕事が終わるというものではないことを、私たちは知っています。新しく入会した人がロータリアンであることを楽しみ、退会を考えなくなった時、やっとその仕事が終わるのです。クラブを楽しい場にするには、会員増強において大切な点です。

ロータリーの奉仕を楽しみましょう

ロータリーに入会する理由は人それぞれです。しかし、ロータリーが楽しみの一つだから、ロータリーにとどまるのです。そこで私は、皆さんに自分のクラブや地区で楽しみを見つけてもらいたいと思っています。ロータリーは、友人とともに奉仕をすることで、私たちの奉仕がさらに成果が挙がるという考えに基づいています。ロータリーの奉仕を楽しみましょう。そして、それをほかの人とも分かち合って、共に「ロータリーに輝きを」

Gary C.K. Huang

2014-15 年度 国際ロータリー会長

クラブを楽しい場にする

今年度、私たちはロータリーで新しいことをしようと考

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

『Rotary Japan』のホームページに、英文の RI 会長メッセージを掲載しています。

8月は会員増強・拡大月間です

- 3** RI会長メッセージ
会員増強で奉仕の仲間を増やす 
RI会長 黄 其光
-
- 16** ようこそ! アボリジニーの大地へ
シドニー国際大会 6月1~4日
駐日オーストラリア大使からのご招待
仲間から祝福され、
ロータリアンが国際大会で挙式
-
- 22** 感動を体験できる場
—国際RYLAに参加して
第2780地区 2014年国際RYLA参加者
2002-03年度青少年交換学生 宇多川 薫
若い人たちの可能性を引き出す
2014年国際RYLA
RI RYLA委員会委員長
国際RYLA大会前会議行事委員長 御手洗美智子
-
- 25** 2014-15年度 国際ロータリーおよび
ロータリー財団国内委員
2014-15年度 日本国内・各種委員会委員
-
- 28** 心は共に 東日本大震災
ロータリー希望の風奨学金
現況報告と今後の取り組み
ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
-
- 31** Rotary いま……
配偶者をロータリーに
-
- 6** ■ロータリーとは
34 ■エバンストン便り
35 ■管理委員長の思い 
36 ■ロータリー掲示板
新クラブ・RC事務所住所変更・RC例会変更・2014-15年度秋期
地区大会のご案内・クラブ名称変更・新IAC・地区別クラブ数/
会員数/出席率一覧表・『友』9月号主要記事予定
38 ■『友』誌2015年3~6月号表紙写真再募集のご案内
47 ■日本ロータリー分布図
47 ■奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

- 7** 特集 会員増強・拡大月間
ロータリーを楽しもう
- 8** **盛り上がってます!**
クラブ同好会
同好会を生かし、会員増強!
名古屋東南RC 宮崎 薫
「そうま相撲甚句会」と
相馬ロータリークラブ
相馬RC 武島 昭良
「手に手つないで」コーラスの輪
—大阪御堂筋本町RCクワイヤーズ
大阪御堂筋本町ロータリークラブ
自転車レースでロータリーのPR
香岐RC 福山 達也
おいしい料理と酒で高い参加率
—帯広西RC銘酒会
帯広西RC 上野 裕司
社員や娘にも学ばせたい!
—博多お座敷勉強会
福岡西RC 陶山 秀昭
例会では味わえない親近感
—ランブリング同好会
諫早RC 酒井 明仁
-
- 14** **フェイスブックで交流**
川崎高津RC 佐藤 哲夫
-
- 32** よねやまだより
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
—奨学金制度編—
-
- 39** **ロータリーを再発見。**
奉仕と友情の輪を広げよう 

ROTARY
JAPAN
Home Page 
www.rotary.or.jp



P16～21 2014年6月1～4日、世界のロータリアンがシドニーに集まって「ロータリーの実践」を分かち合いました

ロータリーの友 委員会	特別顧問	中山 義之(横浜南)	地区 代表委員	2500 佐藤 真康(帯広)	2830 中畑 肇(弘前西)	2650 橋本 和典(奈良大宮)
		神崎 正陳(茅ヶ崎湘南)		2510 柳 孝一(札幌横南)	2840 島津 文弘(高崎北)	2660 藤田誠一郎(大阪帝塚山)
		上野 孝(横浜)		2520 佐藤 澄子(盛岡滝ノ沢)	2580 石橋 正男(東京東江戸川)	2670 石川 浩(高松南)
		安平 和彦(姫路)		2530 金平 祖隆(福島北)	2590 長戸はるみ(川崎高津南)	2680 熊見 一郎(神戸須磨)
		片岡 信彦(土浦南)		2540 加賀 美奈(大曲)	2600 山口 健雄(伊那)	2690 榎山 義浩(益田)
顧問		本田 博己(前橋)		2550 伊藤 一男(大田原)	2610 小間 茂雄(高岡)	2700 廣澤 元彦(小倉東)
		志田 洪顕(静岡)		2560 山内 正胤(十日町)	2620 阿部 正義(浜松北)	2710 田頭 和規(福山南)
		大室 雋(宝塚武庫川)		2570 今泉 博(川越)	2630 加藤真左子(多治見西)	2720 高山龍五郎(大分)
		鈴木 喬(東京江北)		2770 宮下 守夫(大宮シティ)	2750 西澤 宗英(東京渋谷)	2730 深尾 兼好(鹿児島西)
		水野 功(東京飛火野)		2790 寺川 典秀(千葉幕張)	2760 岩瀬淳一郎(豊川)	2740 杉原 宏一(熊本北)
委員長	橋本 長平(京都東)		2800 御橋 広真(鶴岡西)	2780 加藤 盛久(茅ヶ崎湘南)	編集長	二神 典子(東京築地)
副委員長	清水 良夫(横浜)		2820 木曾 正明(日立)	2640 京谷 知明(堺フェニックス)		
R1理事	北 清治(浦和東)					
R1理事	杉谷 卓紀(玉名)					

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,578、会員総数1,185,074人（2013年7月1日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,285、会員数88,945人（2014年5月末現在）となっています。

2014 - 15 RI テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 会員増強・拡大月間



ロータリーを
楽しもう



盛り上がってます！ クラブ同好会

クラブの会員維持に大きな役割を果たす同好会。実際にプロジェクトとして会員増強に役立っているクラブ、ユニークな同好会で会員相互の親睦を深めているクラブを紹介します。

同好会を生かし、会員増強！

名古屋東南RC 宮崎 薫

発端は「チャレンジ100」——会員維持に同好会活用

私たちのクラブには今、20以上もの同好会があります。なぜ、こんなに多くの同好会が誕生したのかをご説明します。6年ほどさかのぼる2008－09年度のことですが、当地区でも会員の減少に歯止めがかからず、会員増強活動が重点項目の一つでした。その上、当クラブから片山主水会員が同年度のガバナーに選出され、私も地区幹事を務めることになりました。さらに、クラブ創立40周年という節目の年でもあり、クラブとして率先垂範して会員増強の実績を残す必要に迫られたのです。

会員増強担当には伊藤秀雄会員が就任し、「チャレンジ100」と銘打って、約3割減少して70人ほどになった会員数を、3年間で100人に増強しようというプロジェクトをスタートさせました。伊藤会員はアイデアマンで、他クラブや他地区からの卓話依頼も多いので、ご存じの方もいらっしゃると思います。

さて、各会員は最低1人の新会員を紹介することにし、

また、クラブ奉仕委員会はクラブの活性化と会員維持のために、同好会活動に重点を置くことにしました。その結果、それまで6つだった同好会が、20以上に増えたのです。

「漢の料理教室」「超老会」……数は20以上に

茶の湯、ゴルフ、コーラス、マージャン、囲碁、俳句など以前からあった同好会に加え、グルメの会、ワインの会、^{かわよし}川由の会（日本酒）、愛唱会（カラオケ）、旅行同好会、魚釣り同好会、スキー愛好会、テニスの会、ダンス同好会、写真の会、陶芸の会、書道の会、愛読会（読書）が誕生。さらには「漢の料理教室」、年齢70歳以上でクラブの在籍年数と合わせて100歳以上の会員が入会できる「超老会」という会もできました。

結果として、会員数は90人を超えましたが、目標の100人には届いていません。しかし、同好会が会員増強に大いに貢献したことは事実です。皆さまの参考になれば、幸いです。

（第2760地区 愛知県）



①



②



③



④

①地元名古屋で開かれた「第19回全日本ロータリークラブ親睦合唱会」（2014年6月）に出場の「コーラス同好会」②「川由の会（日本酒）」では、全国各地の地酒を堪能③当初からある「茶の湯同好会」では、落ち着いたひとときを楽しむ④和気あいあいとプレーを楽しむ「ゴルフ同好会」

「そうま相撲甚句会」と相馬ロータリークラブ

相馬RC 武島 昭良



地域で、ロータリー行事で、多岐にわたる活動

相馬ロータリークラブ（RC）には、相撲甚句をたしなむ会員が多くいます。相撲甚句は民謡の一種で、大相撲の巡業などで披露される七五調の囃子歌です。クラブ内に相撲甚句会があるのではなく、それぞれ別団体に所属しているのですが、地域の「そうま相撲甚句会」のメンバーの半数以上が相馬RCの会員であるために、近隣ロータリークラブの周年記念式典の祝賀会や懇親会などは、絶好の発表の場となっています。月1回ペースの練習と、その後のお酒の会は楽しみでもあり、励みにもなっています。

そうま相撲甚句会は、2010年4月にスタートしました。会長は、相馬RCの白田行次会員こと「仏次郎」。この芸名とペンネームで作詞をし、CDを出したり、民謡大会にも出場するなど、アマチュアながら本格派の方です。職業分類は石材加工販売。芸名の由来は、お墓と仏様にあるわけです。相撲甚句は、約40年前に高校時代の恩師に誘われたのがきっかけで始めたそうです。

東日本大震災で会員2人を失う

2010年のガバナー公式訪問の時に、当時の大橋廣治ガバナー（福島南RC）を詠む相撲甚句で歓迎したのが縁で、2011年4月6日開催予定だった福島南RC創立40周年記念式典の祝賀会に参加し、福島南RCをお祝いする相撲甚句を披露する予定でした。しかし、3月11日に東日本大震災の被災を受け中止となりました。将来、メイクアップに行き、あの時の相撲甚句を披露したいと思っています。

このときは福島南RCから私たちの被災に対して、たくさんの支援をいただきました。しかし、地震に伴う津

波により、当クラブの会員を2人も亡くしたことは、痛恨の極みでした。

「被災になんか負けないと誓う相撲甚句」——入会者も

震災1年後の2012年3月の地区大会では、根本一彌ガバナー（当時）の提唱で、「東日本大震災や原発事故に負けてなどいられない」と、各分区ごとで出し物を披露する大芸能大会「芸術文化交流祭」が行われました。私たちの相双分区（原町・相馬・浪江・富岡・相馬東・小高・原町中央・南相馬RC）では、浪江RC、富岡RC、小高RCに避難生活を強いられている方もおり、相馬RCの相撲甚句を中心にやりましょう、ということになりました。当然、「被災になんか負けないと誓う相撲甚句」をテーマに、相双分区全員の参加協力を得て、披露しました。

その時々合った作詞をし、相馬市民の皆さまにも親しまれる甚句を歌っています。2013年8月5日には、日本相撲協会から横綱・白鵬関をはじめ多くの力士が相馬市を訪れ「相馬復興土俵入り」が行われ、市民の皆さまの前で力士と共演し、楽しんでいただきました。甚句会に入っていた方で、相馬RCの活動に共感し、入会された方もいます。

今年4月12日には当クラブの創立50周年記念式典があり、祝賀会では「相馬RC 50周年を祝う相撲甚句」を披露し、皆さまに楽しんでいただきました。今後も楽しみながら、ロータリー活動と会員増強に努めたいと思います。記念イベントがありましたら、相馬RCにご一報ください。

（第2530地区 福島県）

相馬RC事務局 Tel (Fax 兼用) :
0244 - 36 - 2629

「手に手つないで」コーラスの輪——大阪御堂筋本町R Cクワイヤーズ

大阪御堂筋本町ロータリークラブ

親睦交流にはコーラスが一番！

笑いが絶えない練習場

月2回月曜夜7時、上町筋と長堀通の交差点東南角、沖縄料理店「知念家」のあるビルの7階ホールに、あちこちから集まってくる男女十数人。大阪御堂筋本町ロータリークラブ(RC)のコーラス同好会「大阪御堂筋本町RCクワイヤーズ」のメンバーと、その夫人たちである。

11年前、田村謙之助会員(当時は大阪御堂筋RC)の呼び掛けで結成された混声合唱団。会員相互はもとより、ご夫人たちの親睦交流のためにはコーラスが一番！との発想であった。早稲田大学グリークラブで田村氏の後輩である阿部良行会員の夫人で、合唱指導経験の豊富な和子氏に弾き語り指導が委ねられ、ほとんど合唱初体験のメンバーが、発声練習、口移しの譜読み、ハーモニー基本練習からスタートを切った。

練習の合間に入る世間話やジョークに、メンバーの当意即妙なる受け応え。笑い声が絶えない練習場を提供してくれている武島秀吉会員は、ステージ本番では必ずエンターテイナーとして参加するパフォーマンス専門メンバー。会長エレクトの今澤哲朗会員も早稲田グリー出身で、本格的な混声合唱から爆笑のパフォーマンスまでこなせる貴重な合唱団として、名声は高まる一方である(か



2007年11月 地域の音楽祭で

も?)。

2クラブ合併後、合唱練習を通して一段と深まる交流

大阪御堂筋本町RCは2012年、大阪御堂筋RCと大阪本町RCの合併で誕生。2013年7月の合併式典のほか、ほかのクラブの家族会やIM(インターシティミーティング)にも出演させていただいた。姉妹クラブとの交流や老人福祉施設慰問、上海交流演奏会も実施し、大いに喜ばれた。一般の地域音楽祭にも恒例行事として出演しつつ、その運営にも積極的に貢献している。2クラブの合併後、さっそく合唱練習を通して一段とメンバーの親睦・交流が深まり、今年の12月6日の地区大会終了後には、フェスティバルホールのステージで歌声を披露することも決定している。

自転車レースでロータリーのPR

壱岐RC 福山 達也

クラブでは昨年、自転車部を結成しました。部員は現在6人で、プロサイクリストの日隈優輔氏に時々来島していただき、基礎から指導してもらっています。

壱岐島では毎年、6月の第2日曜日に「壱岐サイクルフェスティバル」が開催されます。一般のサイクリストが参加でき、公道完全封鎖で行われる国内では数少ない自転車レースで、全国から数多くのサイクリストが参加します。

そこでわれわれも今年6月8日の「第26回壱岐サイクルフェスティバル」に参加。「End Polio Now Rotary Velo Club Iki」というチーム名で、ロータリーとポリオ撲滅のPRのため、「End Polio Now」とプリントしたおそろいのサイクルジャージーで出場しました。

観戦に来たロータリアンでしょうか？ 時々沿道から

「ロータリー頑張れ！」という声援を受けながら、全員事故もなくゴールすることができました。来年は皆さんも一緒に走りませんか？ (第2700地区 長崎県)



2010年10月
地区大会RⅠ会長代理歓迎晩餐会で

エンターテイナー・武島会員（中央）



2013年7月 合併式典で

行事の都度、事前に開催される「強化合宿」には、普段休みがちなメンバーも集結し、少しの練習と大いなる宴会で毎度盛り上がること！ 殊にご夫人方にとっては、何もかも忘れてワイワイ喋り、飲みながら一夜を共にすることは、自然に「手に手つないで」心結ばれる絶

好の機会なのである。

大阪御堂筋本町RCクワイヤーズは、これからも会員相互親睦はもとより、その明るい歌声力で社会にエールを送り続けたいと願い、笑いながらの楽しい練習にせせと励んでいるのである。（第2660地区 大阪府）

おいしい料理と酒で高い参加率——帯広西RC銘酒会

帯広西RC 上野 裕司

和食を愛する新しい会——好評で約80%が出席

帯広西ロータリークラブの同好会「銘酒会」をご紹介します。2012年11月8日に発足したばかりの会で、今年11月の定例会で2周年を迎えます。

クラブ会員67人のうちから、久保忠正会員を本会の会長、顧問に堀修司会員を擁し、副会長、幹事長、幹事を含めると十数人の役員を有する、総勢35人の有志で構成。会員夫人も加わり、現在、銘酒会構成メンバーがクラブ会員の過半数を超える、という人数が参加する会です。

本会の高い参加率は、構成メンバーがロータリーの「四つのテスト」を全うすることにあると自負したいところですが、実のところ、メンバーが日本酒と、このたびユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」をこよ

なく愛するところにあるかと思われます。

例会は年3回を基本とし、毎年7月の総会を第1例会として、11月「秋の集い」と2月「新春の集い」の開催を原則としていました。しかしながら、できたばかりの会ということで好評を得て、臨時例会や特別役員会を名目にした集いが追加で催されてきました。

定例会には約80%のメンバーが出席。臨時例会や役員会は自由参加で毎回十数人以上の参加があり、定例会の集いなのか別の集いなのかかわからなくなるような事態になったりしております。

十勝平野、北海の幸に幹事セレクトによる珠玉の銘酒

当クラブのある北海道帯広市は、全国でも有数の広大さを持つ十勝平野の中心に位置し、薫製、砂糖、乳製品などの加工品も含む、十勝の主産業からの豊富な農畜産物に加え、昨今の流通の良さもあって新鮮な北海の幸や、遠く九州の旬のものを取り寄せるなどして、銘酒に



ふさわしい和食を肴にして日本酒を楽しんでおります。

これは、メンバー・田中耕吾会員の絶大なる協力のおかげです。田中会員のお店には相当な無理をお願いした上、日本酒は持ち込みです。これまでの例会の肴には、^{あんこう}鮫鮓に始まり、めんめ（別名・きんき）、早春のたけのこ、晩秋のまつたけなどなど、年度内の定例会を3回（？）に絞ることで、旬の味わいを満喫しながらの催しとなっております。

また、インターネットを通じた日本酒の仕入れについては、私こと幹事の勝手気ままに選択させていただいており、南から、佐賀「東一」、広島「竹鶴」、高知「豊能梅」、茨城「郷乃譽」、宮城「蔵の華」などなど、銘柄はいまだ全国区になく、プレミアがついていなくても杜氏^{とうじ}が丹精した、レベルが高いと思われる「日本酒本来の旨み^{うま}」あるおいしい日本酒を堪能させていただいております。

（第2500地区 北海道）

社員や娘にも学ばせたい！——博多お座敷勉強会

福岡西RC 陶山 秀昭

靴の脱ぎ方、酒の注ぎ方——料亭の礼儀作法を学ぶ

知り合いの家を訪問し、玄関で靴を脱ぐ時、後ろ向きに立ったまま靴をそろえていませんか。座布団に座る時、いきなり座布団に足を乗せて座っていませんか。

福岡（博多）には古くから多数の料亭があり、料亭のお座敷の利用は、企業の懇親の場、個人のお見合いの場などに広く使われています。その時の礼儀作法を勉強することは貴重な経験であり、料亭の中だけでなく、個人の家での作法にも共通するのではということで、5年前に同好会「博多お座敷勉強会」を始めました。

具体的な内容ですが、勉強会全体の時間は2時間。最初の30分で、料亭の女将さんからお座敷に関する礼儀作法についてのレクチャーを受けます。例えば、冒頭の靴の脱ぎ方は、玄関では前向きに上がって振り向き、腰をかがめて靴をそろえるのが礼儀、すなわち他人の家にお尻から上がるのは失礼ということです。また、座布団の座り方は、膝から座るのが礼儀、座布団は座るもので立つものではないということです。

そのほか、食事する時の箸の持ち方、茶碗の持ち方、

酒の注ぎ方、飲み方などを勉強します。勉強した後は、料亭の日本料理を堪能し、博多券番の芸者さんのお酌によるお酒も楽しみながらの懇親の時間となります。

また、参加者有志による小唄の披露に合わせて芸者さんに踊ってもらうのも、博多ならではの楽しい雰囲気の時局であります。

料亭の多い博多——転勤してきた会員に特に好評

勉強会は年に1～2回実施、毎回30人前後の会員が出席。特に新会員、転勤で福岡にきた会員に勧めています。出席した会員には、料亭での楽しい懇親会はもとより、日本の文化や伝統を基調とし、合理的で美的感覚を併せ持つお座敷での礼儀作法の勉強が、普段の生活でも役立つと大変好評で、自分の会社の社員や自分の娘にも参加させたいと希望する会員もいます。

（第2700地区 福岡県）



例会では味わえない親近感——ランブリング同好会

諫早RC 酒井 明仁

「長崎街道ば歩こう！」228 km、86歳の会員も参加

ランブリング同好会とは、「ぶらぶら道草を食いながら楽しく歩く」会です。大人の遠足みたいなものです。2011 - 12年度、諫早ロータリークラブ（RC）の八江正光会長（当時）の方針で、会員同士の親睦を深めるために同好会を、ということで発足しました。

「長崎街道ば歩こう」と会員に参加を募ると、86歳を頭に主にシルバーの方が参加。2011年9月25日から月1回、10～15kmを目安に、暑い夏場は避けて歩きました。参加者は、その時々で14～15人。長崎街道の起（終）点、肥前長崎新大工町（長崎市）から歩き始めました。

街道には恵比寿さんや猿田彦神、各種の神社などが多々あり、まるで祈りの道です。神々に祈りを捧げながら歩き、所々の名物を食べ、飲むと、例会では味わえない、世代を超えた親近感が生まれます。

当初は県内、次は佐賀県まで、どうせやるなら終点



2014.1.26（平戸往還 JR早岐駅～佐世保山祇町 約12 km）

午前8時半、19人で出発。起伏の激しいこの道を吉田松陰や伊能忠敬も歩いたと思うと感動しました。上り下りの連続で、距離は短いながら、上り坂がボディーブローのようにじわじわと体力を奪い、最後はみんなヘトヘト。昼食のハンバーグとビールのうまかったこと……。



小倉常盤橋（福岡県小倉市）まで、

と思いは広がり、全18日間、1年8か月を

かけ2013年6月16日、常盤橋（福岡県北九州市）にゴール（写真右上）。57里25宿場、228kmを完歩しました。

会員以外も参加——会員増強、クラブ広報に

2013年10月からは、^{そのぎ}彼杵宿～平戸口までの平戸街道（平戸往還）を歩きました。平戸街道には佐世保RC、北松浦RC、平戸RCのきめ細かい案内看板があり、とっても助かりました。迷っている時は地獄に仏です。ロータリーのありがたさが身に染みました（ありがとうございました！）。6日をかけて2014年5月11日、平戸まで57.5 kmを完歩。次は「どこを歩こか思案橋」です。

月に1回くらい遠足し、共に汗を流すのは、なかなか楽しいものです。歩くことで脳が刺激を受け、また初めての道は、その効用も倍増するというものです。会員以外の参加者を募ることで、会員拡大やクラブの広報活動にも役立つと思います。（第2740地区 長崎県）

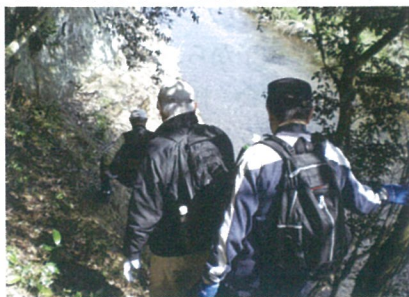
2014.2.16（平戸往還 佐世保山祇町～佐々町東光寺 約17 km）



13人で出発。佐世保市屈指の上り坂「峰の坂」を下る。アップダウンの連続、本日最大の上り坂「嘘越え」を上ると、さすがのハイパーシルバー軍団もヘロヘロ状態。

2014.3.16（平戸往還 佐々町東光寺～江迎本陣 約13 km）

天気は抜群！ 佐々川を越え、少しずつ山へ。イノシシの多い付近を抜け、車の多い県道などを経て街中へ。この往還でただ一か所現存する江迎本陣（潜龍酒造）前で終了。このコースはお薦めです。



2014.5.11

平戸往還
ゴール





フェイスブックで 交流

川崎高津RC 佐藤 哲夫

私は2012年9月に川崎高津ロータリークラブ(RC)に入会し、地域の奉仕活動と、クラブの親睦活動に参加してきました。会員同士とても仲の良いクラブで、創立29年目、会員数は30人です。

クラブに入会して8か月ほど経った2013年5月、新発田城南RC(第2560地区・新潟県)の松田祐樹さんに、フェイスブック(FB)の中にある「FBロータリアン交流会」というグループに招待されました。それまでは個人的に友人とFBを利用している程度だった私にとって、この招待はロータリーの世界を大きく広げてくれるきっかけとなりました。

フェイスブックで情報交換

「FBロータリアン交流会」は2012年5月に、松田さんらによって立ち上げられた、FBでは「グループ」と呼ぶもので、メンバー資格はロータリアンだけ、グループ内のメンバーが招待することでメンバーになることができます。また、「非公開」の設定がされていて、メンバーだけが投稿や閲覧をすることができる仕組みになっています。松田さんは、このグループの目的を、ロータリアン同士が情報交換したり、知り合いとなることでメイクアップがしやすくなること、としています。現在メンバーは1,502人を数えるまでにになりました。1,000人を超えるのは大きな規模とも言えますが、それでも日本全体の会員数の1.7%にすぎません。

「FBロータリアン交流会」では、例会の食事や卓話、奉仕活動の様子から、インターシティミーティング(IM)や地区大会、国際大会など、さまざまなレベルのセミナーやイベントが日々活発に投稿され、ロータリーの現在を垣間見ることができます。また、ロータリーに関する意見交換の場にもなっています。例えば、入会間もない私などがある疑問を投げかけたりすると、たくさんの方々がアドバイスをしてくれるので、ロータリーを理解する上で大変役に立っています。

「FBロータリアン交流会」へのさまざまな投稿の中に、タイ・チェンライRCの原田義之さん(2013-14年度同クラブ会長)の〈北の便り〉があります。原田さんは現在70歳で、以前は高砂青松RC(第2680地区・兵庫県)に在籍し、クラブの支援を受けながら1990年ころから15年もの間、タイ北部の小学校へ図書を贈る活動をしてきました。その後、66歳で単身タ

イに渡り、チェンライのダムロン高校でボランティアで日本語教師をしながら、タイ北部山岳地帯の少数民族アカ族の子どもたちに就学支援・識字向上の活動をしています。

原田さんは日本とタイを行き来しながら、日本に滞在の際には全国各地でタイ北部での活動を卓話や講演して回り、奉仕の実践がいかに大切かを私たちロータリアンに教えてくれています。そして、タイの様子や、講演や卓話の様子、日本各地のロータリークラブや地区と連携し、浄水設備やトイレの設置など、たくさんの実績を〈北の便り〉に投稿されてきました。その投稿でさらに原田さんの活動を知り、卓話や講演依頼が増え、支援の輪が広がるという好循環をもたらしてきたと思います。

昨年の4月ごろから、原田さんは卓話や講演以外にFBの「お友達」になったロータリアンたちと、親交を深めるためのオフ会をするようになっていきました。そのようなオフ会が全国各地で開かれるようになり、これまでの一年間の総まとめとして、横浜で開かれるIMに合わせ、その前日の3月5日に全国から集合しようとの声が上がりました。場所が横浜ということで、川崎に住む私が事務局を務めることになりました。

まるで旧知の仲のよう

オフ会は「FBロータリアン交流会」上でイベントの告知をし、茨城県、新潟県、東京都、神奈川県、大阪府、京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県、大分県、熊本県、鹿児島県から総勢30人のロータリアンが集結し、横浜中華街にて「輝く瞳に会いに行こう」第1回全国大会と称してオフ会が行われました。「輝く瞳に会いに行こう」は原田さんの著書『輝く瞳に会いに行こう 66歳新米日本語教師の挑戦』(幻冬舎)にちなんだこの会の冠です。

この会に集まった方々とは、ほとんど初めて会う方ばかりでしたが、すでにFB上では「お友達」としてオンライン上での交流があるため、それはまるで「同窓会」で、旧友との再会を喜び合うように「やあやあ」と笑顔で握手して出合いを喜び合いました。ロータリアンの輪が広がった瞬間で、幸福感を味わうことができました。

会は主催者副代表で和歌山西RC(第2640地区・和歌山県)の中筋正浩さんの進行で始まり、原田さんのあいさつ、主催者代表で杵築RC(第2720地区・熊本県)の秋吉実さんのあいさつと続き、大分中央RCの岡村泰

岳さん（2012 - 13 年度第 2720 地区ガバナー）の指名で、奈良ローターアクトクラブ（第 2650 地区・奈良県）の吉岡毅君が乾杯の発声をしました。その後は皆それぞれに歓談をし、親交を深めました。全員が違うクラブで、ローターアクトの 20 歳から上は 70 歳、直前ガバナーから入会半年の新会員までが、地区やクラブや役職を超え、個人的なことからロータリーのことまで語り合う、とても和気あいあいとした会でした。これは I M や地区大会の後で行われる懇親会とは全く違う雰囲気、好意と友情を深めるものであったと思います。

会の終わりに、次の開催地を大分で行うことを岡村さんが宣言し、実行委員として宇土 R C（第 2720 地区・大分県）の作守順子さんが五本締めで締め、最後に再び吉岡君をソングリーダーに「手に手つないで」を歌って、皆での再会を誓い合いました。

会はこのほかに、前出の松田さん、川崎西 R C（第 2590 地区・神奈川県）上形泰俊さん、北条 R C（第 2680 地区・兵庫県）宮本博文さん、高石 R C（第 2640 地区・大阪府）大森豊さんの協力を得、また、そのほかの参加者の皆さんより大いに盛り上がりしました。これはロータリアンとして出会いの輪が広がること、価値のあることなのをあらためて実感するものとなりました。

ロータリーの活性化に役立つ

この出来事は、F B という S N S（social networking service）を活用することで、ロータリアン同士の友好の輪が広がり、好意と友情を深め、奉仕の理想を語り合う友情が築けたという一つの事例です。私はこのような機会を得ることができ、心からロータリアンで良かったと思いました。

S N S は、不用意な発言に対し非難が集中する、いわゆる「炎上」が起きたり、間違った情報が独り歩きしたりするなどのネガティブな要素は確かに存在します。し

かし、利用者がリスクを理解し、正しく利用しさえすれば、原則実名の F B はロータリアンにとって非常に相性が良くポジティブな S N S だと思います。さらに、「F B ロータリアン交流会」のように非公開グループであれば、ロータリアン同士のやり取りが外に出ないので、ネガティブな要素をかなり打ち消してくれている印象があります。

また、「F B ロータリアン交流会」では先述のように、投稿するだけでなく、情報交換や意見交換なども行われており、単に友達を増やすだけでなく、ロータリーを広く理解する上でも有効です。場合によっては活発なクラブに刺激を受けて活性化を促す効果もあるかもしれませんし、運営上のヒントを得られるかもしれません。また、入会 3 年未満程度のロータリアンの意見は、ベテランロータリアンにとって新鮮な刺激となるかもしれません。多少大げさかもしれませんが、このように F B は日本のロータリーの活性化に役立つことが期待できます。

さらには、今後ガイドラインを作り周知した上での使い方になりますが、奉仕活動や親睦の様子などの記事を「シェア」することで、ロータリアン以外の「F B 友達」がロータリーの出来事に触れる機会を持つことが可能になります。これは公共イメージと認知度の向上に非常に効果的ではないかと考えます。そして、公共イメージと認知度が向上すれば、会員増強につながり、好循環をもたらすきっかけに成り得る可能性を秘めていると考えています。

S N S は全体としてとてもポジティブな「道具」で、上手に活用すれば、ロータリーの世界を広げてくれるでしょう。クラブや地区で S N S、特に F B の生きた使い方を研究し、ロータリーの活性化に役立てていただけたら幸いです。

（第 2590 地区 神奈川県）

写真提供：北条 R C 宮本 博文



ようこそ！アボリジニーの大地へ

シドニー国際大会 6月1～4日

舞台には、アボリジニー（オーストラリア先住民）の世界が広がりました。ダンスを演じるのは、ニューサウスウェールズ州のアボリジニー・ダンスカンパニーの若いダンサーたちです。「私たちは今日、アボリジニーの大地に集まっています。そして彼らはこの大地の監視人である、ということに尊重します」と、シドニー国際大会委員長のマーク・マロニー氏は、冒頭に紹介しました。

今回、国際大会の会場に選ばれたのは、2000年オリンピックが開催されたシドニーオリンピックパーク。開会式の日、聖火が参加者を迎えてくれました。この聖火は、国際ロータリー（R I）が2000年のシドニーオリンピックを支援したことへの感謝の印として、オーストラリア・オリンピック委員会の承認のもと、ともされたものであると、マロニー氏は紹介しました。



オリンピックでは、多くの人々によってリレーされた聖火が最後に聖火台に点火され、開会式が最高潮に達します。また、その最終地に到着するまでの様子が映し出され、開会式を盛り上げます。それにならったのでしょうか、今回の国際大会では、いつも最初に行われるロータリー加盟国の旗の入場が最後に回され、開会式の中で、折々に、ロータリー旗、R I 会長の国の旗、そして開催国オーストラリアの旗が、地元ニューサウスウェールズ州のサーフ・ライフ・セービングのメンバーたちによって、舟で運ばれてくる様子が映し出されました。

ロータリーの可能性に限りはない

オーストラリア首相のトニー・アボット氏の81歳になる父親、リチャード・アボット氏は40年のキャリアを持つロータリアンです。「私もロータリーから生まれた息子です」とアボット首相は話し、オーストラリア政府が、ポリオ撲滅活動のために1億豪ドルを寄付することを表明しました。「オーストラリアの政権が変わったとしても、オーストラリアのロータリアンたちは世界をよくするためにがんばっていくでしょう。ロータリアンは、特に困難なことに対して Have a go!（やってみよう）、自ら汗を流すという精神を持っています。私は、心から皆さまを歓迎します」と述べ、壇上からフロアで息子のスピーチを聴いていた父親のもとに行きました。ロータリアンの父と言葉を交わす首相の姿は、地元メ

ディアのカメラマンには格好のシャッターチャンスとなったようで、立て続けにフラッシュが光りました。

R I 会長のロン・パートン氏は、「今ロータリー年度に、私は皆さまに『ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を』実現するようお願いしてきました。シドニーで、私たちが実践してきたよいことを共有する機会を持つことができます」と国際大会の意義について述べました。



ロン・パートン R I 会長

ジェタ夫人とともに世界中を旅して多くのロータリアンと出会い、ロータリーの多くのプロジェクトを自身の目で見えてきたパートン氏は、「ジェタと私にとって今年度は、ロータリーは行動するものだ、という信条を、さらに強化する機会となりました。私たちはロータリーを通じて実践したことの何倍も報われることを知っています。それは、自分たちが満足感を得るということだけではなく、ほかの人たちの人生の改善という形でも表れます」と、述べました。

パートン会長は、会長年度に経験した最も心に残っている一つとして、インドでの新世代会議でのポリオ撲滅ウォークを挙げました。そして「このイベントが、ポリオがなくなったインドで行われたことは、特別な意味を持っていました。ロータリアンは、インドでポリオを撲滅しました。これができたのなら、ロータリアンにできないことはないと思います。皆さまに念頭に置いていただきたいのは、『ロータリーの可能性に限りはない』ということです。私たちの意欲をもってすれば、何でもできます。『ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を』もたらしましょう」と、結びました。

開会式は、そのクライマックス、ロータリーのある国と地域、そしてロータリーの旗を迎える時が来ました。国際大会に参加をすると、肌の色や言語の違う多くの

ロータリアンに会うことができ、人種や国を超えて素晴らしい友人、素晴らしい仲間がいることを実感できます。開会式で数多くの国旗を目の当たりにすると、さらにロータリーの国際性を印象づけられます。

リーダーになる

2 日目、第 2 回本会議のテーマは「リーダーシップ」。ここでは、奉仕を実践している人たちの話を聞くことが

できました。

ジャック・シム氏は、2001 年に世界トイレ機構を創設し、ミスター・トイレと呼ばれています。彼は「世界で、25 億人の人たちがトイレの問題を抱えています。この問題を解決するためには、貧しい人たちにトイレをつくってもらい、それを売ることによって生計の足しにしてもらおうとよいと考えました。本当に人助けをしたければ、その人たちが自分たちで問題を解決する手立てを提供することです」と、話しました。シム氏の活動は、「魚を与えるのではなく、魚の取り方を教える」という、ロータリーの支援の方法と共通するものがあります。

さらに、貧しい人たちにトイレのつくり方を教え、その後、工場がつくられることになり、女性たちがそこでつくられたトイレを 1 つ売るごとに 2 ドルの収入を得て男女格差の軽減につながった、という事例を、紹介しました。彼の活動が、単に衛生問題の解決だけではなく、貧困や男女格差などの解決にもつながっていることを知ることができました。

「ロータリーのおかげで人生が変わった」という話を耳にすることがあります。執筆家で、「Spaulding Companies LLC」社長のトミー・スポールディング氏も、その一人です。15 歳の時に、R Y L A（ロータリー青少年指導者養成プログラム）に参加し、そこで、ロータ

リーの活動について知るようになります。ガバナーのタイム・フランシス氏から「世界には、リーダー、フォロアー（従う人）、批評家の 3 つのタイプの人がいる。リーダーになることが大切だが、リーダーになるかならないかはあなた自身の選択です」という話を聞き、スポールディング氏は「リーダーになる」と決



トニー・アボット首相(右)と父親のリチャード・アボット氏。中央はフランク・デブリン元 R I 会長





ジャック・シム氏



トミー・スポールディング氏



マヤ・アジュメラ氏

め、学校の行事などにも積極的に参加するようになっていきました。

高校を卒業後、国際的リーダーを養成する Up with People に参加し、世界中のさまざまな国に行きましたが、そんな折、ロータリー財団の国際親善奨学金のことを知り、オーストラリアに留学することになります。留学中、彼は多くのクラブの例会に出席しました。彼は、「ロータリーによって、私の心、私の人生が変わりました。超我の奉仕をもってリーダーシップを発揮することができるという思想を教えてくれたのも、ロータリーです」と、感謝の気持ちを伝えました。

ロータリーに感謝

第3回本会議のテーマは「行動しよう」。ロータリー財団管理委員長の李東建氏は、「私たち一人ひとりが財団に寄付することによって、『私たちの財団』という気持ちになります。そして、自分たちの善行にプライドを持つことができます。年次基金は今日のために使われます。水、母子の支援など、皆さまの活動の資金はここから出されます。恒久基金は財団の未来のための資金です。次世代のロータリアンが世界でよいことをするための資金となります。恒久基金にきちんとした資金があれば、これから永久によいことをすることができるのです」と、恒久基金への寄付も奨励しました。

ロータリー財団の資金を使って実施されるプロジェクトは多岐にわたります。その成果の一面を垣間見ることができるのが、「学友人道奉仕世界賞」の表彰と受賞者のスピーチです。2013 - 14 年度は、「世界児童基金」の創設者マヤ・アジュメラ氏が受賞しました。

アジュメラ氏は、インドを訪れた時に人があふれている駅で勉強をしている 50 人ほどの子どもたちを目にします。子どもたちに熱心に教えている先生たちに話を聞き、その子どもたち

が駅の周りで寝泊まりしていること、1 年に 400 ドルがあれば子どもたちのために教室を開けることを知ります。「この話を聞き、私は自分の使命を感じました。これが私のロータリーモメントです。その先生は恵ま

れない子どもたちに教育をすることを一生の仕事としていました。その結果、私は、世界児童基金を設立しました」と、基金を設立したきっかけについて話し、これまでこの基金を通じて実施してきた活動について紹介しました。

「世界児童基金には重要なポイントが 4 つあります。『根本的な解決法は草の根から生まれる』『地元の社会企業家を支援する必要がある』『少額の資金であってもものを絞って効率的に提供すれば非常に大きな影響をもたらす』『地元のリソース（資源）、地元の人たちが描いている大義をもとにすれば大きな影響が生まれる』ということです。ロータリーの標語である『超我の奉仕』を、私は毎日実践しようとしています。私は、ロータリーと出会ったことに、深く感謝しています」と結びました。

世界保健機関（WHO）事務局長補佐のブルース・アイルワード氏は、国際大会ではすっかりおなじみになりました。ポリオ撲滅の進捗状況について、いつも最新情報を提供してくれています。1 月、インドで最後のポリオ患者が出てから 3 年が過ぎ、正式にインドでポリオが撲滅されたことを祝いました。それを受けて、3 月には WHO が東南アジア地域でのポリオ撲滅宣言を出しました。それにもかかわらず、5 月の初めに、世界的にポ





5月の終わりにから6月初めにかけて「ビビッド・シドニー」が開催されます。美しいイルミネーションと音楽がロータリアンを迎えてくれました

リオが拡大する恐れがあるとして、WHOが緊急事態宣言を発し、驚かれた方も多かったと思います。

この一年はポリオ撲滅に関して一喜一憂しましたが、アイルワード氏は「それにもかかわらず、2018年にポリオを撲滅するという目標を変えることなく済んだのはロータリアンのおかげです」と感謝の意を表しました。

エメカ・オフォー氏がこの日、ポリオ撲滅のため、ロータリー財団に100万ドルを寄付すると表明しました。残る3つのポリオ常在国の一つのナイジェリアのロータリアンであるオフォー氏がポリオ撲滅のために寄せた金額は、これで310万ドル以上になりました。

例年と大きく違っていたのは、大会第3日の午後、「ロータリーの運営・選挙のためのセッション」が開催

されたことです。1915－16年度のR I会長、R I理事、ガバナーを選ぶ大事な会議です。これまでは、第4日の第4本会議の中に組み込まれていたものです。本会議と切り離して開催されたこのセッションに、代表議員以外のロータリアンの姿は多くありませんでした。このセッションでは、ジョン・ヒューコR I事務総長とアンディー・スモールウッドR I財務長からの報告もありましたが、同じ時間に、現在R Iの最優先課題とされている「ポリオプラスの最新情報」に関する分科会が開催され、そちらに通訳が入っていたために、本会議の会場で開催されたこのセッションに通訳はありませんでした。国際大会の重要な目的の一つであるだけに、あまり多くのロータリアンが参加できなかったり、参加してもそこ

駐日オーストラリア大使からのご招待



田中元R I会長(左)とミラー大使 大使と楽しいひと時を過ごしました。小沢氏は、「国際大会開催地の大使からお招きをいただくのは初めて」と感謝の言葉を述べました。大使は、『ロータリーの友』3月号にもシドニーの案内を

国際大会を目前に控えた5月21日、田中作次元R I会長、小沢一彦財団管理委員をはじめ、各地区の代表が、駐日オーストラリア大使の公邸に招かれ、ブルース・ミラー

大使と楽しいひと時を過ごしました。小沢氏は、「国際大会開催地の大使からお招きをいただくのは初めて」と感謝の言葉を述べました。大使は、『ロータリーの友』3月号にもシドニーの案内を

写真提供 オーストラリア大使館



寄稿するなど、熱心に日本のロータリアンの参加を呼びかけてきました。その情熱が伝わり、日本から多くのロータリアンとゲストがシドニー国際大会に参加しました。

で進められていることを十分に理解できない状況で、このセッションが開催されたことを残念に思います。

新しい伝統

第4日、オリンピックパークに人が戻ってきました。閉会本会議が開催されるこの日に合わせて、観光から帰ってきた人たちも多かったのでしょう。

閉会本会議に先立って開催された第4回本会議では、前日、2015 - 16年度RI会長に選ばれたK. R. ラビンドランRI会長氏が受諾演説を行いました。「ロータリーの未来は明るいと思います。世界で飢えている人たち、恵まれない人たちを支援し、読み書きのできない人々を支援し、お年寄りや病気の人々を支え、社会の底辺にいる人々をもっと支援していく必要があります。私たちの熱意と価値観を共に活用しながら、これから先、皆さまとともに、ロータリーをもっと力強い団体に成長させていきたいと思っています。ロータリーの能力は、ビジネス、大義、友情、奉仕を共にしてお互いを助け合うことです。私は信念をもってこの旅を始めたいと思います。皆さまのご協力をお願いします」と結びました。

閉会本会議で黄其光（ゲイリー C. K. ホアン）RI会長エレクトは、クラブや地区で「ロータリーデー」を設けるように呼びかけ「このことでロータリーに輝きを与えることができます。『ロータリーに輝きを』がキーワードになります。それによって、私たちは人類に幸せをもたらすことができます。皆さまは積極的にロータリーを推進する必要があります。皆さまの物語を発信し、ほかの人々を幸せにすることができるのです」と話しました。

「『誠実はすべてのものの始まりである』と孔子が述べ

ています。皆さまが誠実であることによって、ロータリーの明かりは輝きます。皆さまは愛の心を持って、ロータリーに輝きをもたらすことができるのです。それによってほかの人々は、その輝きを見ることができるのです。ですから、誠実というのが明かりであるとも言えるでしょう。誠実が私たちの喜びの根源です。ロータリーが輝けば輝くほど、世界はよいところになります」と、続けました。

「私には人生の標語としていることが3つあります。Hand（手）、Head（頭）、Heart（心）の3つのHです。自分の手で汗を流して人を助けましょう。そして人に手を差し伸べましょう。自分の頭を使って人々を助けましょう。心とは誠意ということです。誠意がなければ何も意味をなしません。このことは、私の父がいつも言っていたことです。私は、この言葉を皆さまに引き継いでいただきたいと思っています。手と頭と心を持って、来る年度を過ごしましょう。そうすれば、きっと素晴らしい年度になると思います。ロータリーに輝きを持たせましょう」と話しました。

RI会長とRI会長エレクトの所属クラブがバナーを交換するのは、閉会本会議のいつもの風景です。今国際大会では、両氏の夫人の所属クラブのバナー交換も行われました。バートン会長は、「私たち二人の配偶者もロータリアンです。ですから、ゲイリーさんと私が新しい伝統をつくりたいと思っています。配偶者のクラブもバナーを交換するということです」と話しました。

ロータリーを实践

バートン会長の「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」という思いを形にしたのでしょうか。それと

仲間から祝福され、ロータリアンが国際大会で挙式

堺フェニックスRC 京谷 知明

大会期間中の6月2日、第2640地区のロータリアン同士が、シドニー最南端の海岸にあるチャペルで挙式。新郎新婦は、堺フェニックスロータリークラブ会員の仲峯豊さんと濱田由美さんの二人。堀本欣吾ガバナー補佐、米田真理子パストガバナーの二人の仲人で、地区内5クラブのロータリアン総勢25人が列席のもと感動的な式となりました。辻秀和ガバナーエレクトも参列し、挙式後はオペラハウス前で記念撮影。前日の6月1日は友愛の家前で、多くの大会開会式参加者から祝福を受けました。二人はロータリークラブ入会後に知り合い、ぜひとも国際大会で式を挙げたいという夢をかなえました。「お互いに支えあって、ロータリーの奉仕活動に専念し素晴らしい家庭を築きたい」と語っていました。





ハーバーブリッジでポリオ撲滅をアピール
©Alyce Henson / Rotary International



北清治 R I 理事夫妻と松宮剛 R I 理事夫妻も
「End Polio Now : 3km 歩いてポリオ撲滅」に参加。
©Monika Lozinska / Rotary International



子どもたちのための絵本がたくさん集まりました



知らない会員同士が、協力して食料品の
袋詰め作業に汗を流しました

もオーストラリアのロータリアンの Have a go ! という精神の表れでしょうか。今回は、たくさんの奉仕活動が用意されていたことが、一つの特徴だったように思います。初対面でも、共に奉仕をすることで、思いを共有し、親しい友人のようになれることを体験したロータリアンも多かったことでしょう。

5月30日、シドニーのハーバーブリッジに一度に登った人数と掲げた国旗の国数の数でギネスの記録を樹立しようというイベントが開催され、340人が参加して278の旗を掲げ、見事に目標を達成。約4万豪ドルがポリオ撲滅のための資金としてロータリー財団に寄付されました。この様子は地元シドニーやアメリカのメディアにも取り上げられ、ロータリーの公共イメージの向上の役割も果たしました。

31日、オリンピックパーク内で「End Polio Now : 3km 歩いてポリオ撲滅」が開催されました。このイベントにも多くのロータリアンをはじめ、ローターアクターやライラリアンが参加しました。

今大会の参加者には、アボリジニーの子どもたちに贈るための絵本を持参するよう、事前に呼びかけられていました。また、大会期間中に購入して寄贈することもできます。ロータリアンが子どもたちに贈るための本が、友愛の家の入り口に並べられ、その数は、日を追うごとに増えていきました。

期間中、毎日、食料支援プロジェクトが用意されていて、午後のひととき、奉仕に汗を流しました。

国際大会の会場はいつも広くて、本当によく歩くことになるのですが、今回の会場となったオリンピックパークはこれまでも増して広く、本会議、友愛の家、分科会……と移動するのに、とても時間がかかりました。そこで活躍したのが、遊園地にあるミニ列車さながらの乗り物。先頭にロータリーのロゴをつけ、会場から会場へとフル回転で人々を運んでいました。年配者や足の弱い人は大助かりだったことでしょう。

オリンピックパークは、多くのロータリアンが泊っているホテルのあるダウンタウンからは少し離れています。例年なら、主なホテルと会場を結ぶシャトルバスが活躍するのですが、今年はシドニーのセントラルステーションとオリンピックパーク駅を結ぶ特別電車が、ノンストップ20分でこの間を結びました。電車は午前10時から午後10時まで、10分間隔で発車します。通常なら途中駅で乗り換え30～40分かかるところです。この区間をはじめシドニーから250km圏内の主な公共交通は、大会期間中、大会参加者の名札だけで乗り降りできました。オーストラリアのロータリアンの影響力の大きさを感じた一面でした。

シドニー国際大会に参加した人たちは、ここで何を経験し、何を持ち帰ったのでしょうか。私は、陽気なオーストラリアのロータリアンたちから元気をもらいました。そして、ロータリーを実践することの素晴らしさを教えられました。

取材『友』編集長 二神 典子

*肩書きはすべて開催当時のものです



感動を体験できる場 ―国際 R Y L A に参加して

第 2780 地区 2014 年国際 R Y L A 参加者 宇多川 薫

2002 - 03 年度青少年交換学生 (アメリカ派遣、茅ヶ崎湘南 R C)

ある日、『ロータリーの友』を手にして「新しい国際 R Y L A が始まります」というタイトルに引き付けられました (2013 年 12 月号 P28)。この記事を読んだ後、これまでに R Y L A (Rotary Youth Leadership Awards 青少年指導者養成プログラム) に参加したことがなくても今回の国際 R Y L A に参加できること、世界中から次世代のリーダーとなる若者と出会えることに魅力を感じました。当地区では数年前から R Y L A がなくなり、参加経験がない私にとって、この機会を生かさずにはいられないと応募を決心しました。国際ロータリー (R I) から参加承諾の連絡を受け取った時は、ガバナー、メンターをはじめ、たくさんの方への感謝の気持ちとたくさんのことを吸収してこようと、力がわいてきました。

個性が輝き笑顔が生まれる日々

オーストラリアのシドニーで開催された国際 R Y L A は、5 月 26 ~ 29 日の 4 日間のプログラムでした。世界中、21 か国から 68 人の参加者が集い、新しい友情を築き、それぞれが持つ個性が輝き、笑顔が生まれる日々でした。参加者は、19 ~ 30 歳の学生や社会人で構成され、地区の R Y L A 参加者、インターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラム、米山記念奨学金など、さまざまな形でロータリーとつながりがある人が多かったのですが、中には、この国際 R Y L A が初めて参加す

るロータリープログラムだという人もいました。

国際 R Y L A のプログラム初日に、「超我の奉仕」とは、何を意味しているのかについてを、それぞれが意見を言う機会がありました。私はロータリーの標語と日常生活を結びつけて考えることがなかったので、私自身がどんな人間でありたいかを考え、地域の中で職業や奉仕活動を通じて自分が見てみたい未来像を描くことができ、新しい発見となりました。同時に、全てのロータリープログラムの根底に「超我の奉仕」があり、ロータリーの人を支える愛情の深さにあらためて感動しました。

以下は、国際 R Y L A のある一日のスケジュールです。

07:00-08:00 朝食
08:00-08:30 朝のエクササイズ、スケジュールの確認
08:30-09:30 全体会
(この日は、リーダーシップについてのゲストスピーカーによる講演)
09:30-10:00 休憩
10:00-11:45 講演によるワークショップ
11:45-12:45 昼食
12:45-14:00 リーダーシップについての実践的なワークショップ
14:00-16:00 着替え、野外活動
16:00-16:30 着替え、休憩
16:30-17:30 全体会／グループディスカッション
17:30-19:00 夕食
19:00 解散

ディスカッションが実践に

全体会では、ファシリテーターやゲストスピーカーから、リーダーにはさまざまな形があること、奉仕プロジェクトを具体的に立ち上げる時の考え方や、Rotary Showcase などのロータリーが提供できることを学びました。新世代が持つアイデアとロータリーが持つネットワークを生かすことで、地域社会においてリーダーシップを取り、より斬新な奉仕活動を実践していくことができると確信しました。

その中で、実践につながったことがあります。ロータリーの 6 つの重点分野



「平和と紛争予防／紛争解決」グループのプレゼンテーション



をテーマに、グループに分かれ、私たちが今できることを話し合う時間がありました。私たち「基本的教育と識字率向上」グループでは、BeMAD (Basic Education and Make A Difference) というインドの子どもたち5,000人を対象として教育資金を調達するプロジェクトを立ち上げ、12か月で9,000ドルをアメリカ、インド、オーストラリア、ニュージーランド、日本からの11人の仲間と、一つの夢を実現しようと、帰国後の今もそれぞれが動いているところです。近い将来、インドで子どもたちのためにワークショップを開催し、仲間と再会できる日が来ると楽しみにしています。

ワークショップやスポーツを使った野外活動では、その都度、学んだことは何か、そこからリーダーシップにつながる要素があったかどうか、より良くするために何が必要だったかを話し合い、個人として、チームとしてのリーダーシップを構築する時間が、参加する意識を高めていきました。

新世代プログラムが失われないことを願う

しかし、国際RYLA最終日に、私たちは国際RYLAが存続の危機に直面していることを知りました。継続が難しく、国際RYLAを開催するのも3年ぶりだったそうです。

私は、今回初めて参加した国際RYLAと国際大会で、ロータリーの存在の大きさ、奉仕活動の広さに刺激を受け、感動し、世界中の仲間とアイデアを交換することで、

想像以上の可能性を知ることができる場所だと感じました。ロータリーで育つ新世代の人たちにとって、これらの感動を体感できる場所が、国際RYLAだと思います。国際RYLAでは、将来の進路に悩む学生や、社会において責任ある立場へ移行する20代が、日常生活や地域において自分の役割を考えるきっかけが生まれ、同じ世代の仲間と悩みや発見を共有することができます。その結果は社会を良くする、奉仕の実践に必ずつながります。

国際大会中の分科会 (International RYLA: New Generation of Leaders) でも、私たちが学んだことの大きさと、国際RYLAの必要性、続けてほしい思いを伝えました。RYLAに限らず、私たちの後に続く後輩のためにも、新世代のプログラムが失われないことを心から願います。

国際RYLAと国際大会を通じて、たくさんの方との出会い、自分自身を知るヒント、仲間と社会に貢献することの喜びに出会えたことを思い出すと、温かい気持ちになり、この素敵な贈り物に感謝のほかに言い表すことができません。RYLAが生まれたオーストラリアで、国際RYLAに参加できたことは、私の誇りです。

最後に、今回の参加に当たりサポートしていただきました皆さま、御手洗美智子委員長をはじめとする国際RYLA委員会の皆さまに感謝申し上げます。また、国際RYLAとの思い出が『ロータリーの友』で始まり、『ロータリーの友』で貴重な体験をご報告できることを大変うれしく感じております。

本当にありがとうございました。



若い人たちの可能性を引き出す 2014 年国際 R Y L A

RI RYLA 委員会委員長 御手洗美智子 (東京広尾 RC)
国際 RYLA 大会前会議行事委員長

国際ロータリー (RI) の年次大会に先立ち、2014 年 5 月 26 ~ 29 日に国際 RYLA セミナー (Rotary Youth Leadership Awards 青少年指導者養成プログラム) が、オーストラリアのシドニーで開催されました。今年から再開された国際 RYLA は、3 年の試験的プログラムとして実施されました。RI の RYLA 委員長として、行事委員長を務めましたので、簡単なお報告をします。

今回は、21 か国、68 人の若きリーダーが参加しました。参加者は、地区 RYLA 参加者に限らず、全ての地域の若いリーダー (19 ~ 30 歳) を対象にしたため、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生、GSE メンバー、ロータリー平和フェロー、若きロータリアンだけでなく、ロータリーと無関係だった地域のリーダーも選出されました。参加者は、ロータリアンをメンターとしてサインをもらい、ガバナーからも承認を受けて応募することが条件でした。6 月 3 日の国際大会における RYLA 分科会では、ガバナーが出席し地区からの参加者を励ます姿も見られました。今回は英語を必須条件とした結果、国際 RYLA 参加者 68 人のコミュニケーションとネットワークは、格段に向上しました。地区の RYLA 委員会だけでなく、新世代のプログラムの各委員会メンバーにとっても国際 RYLA への関心と理解を増す効果 (クロスプロモーション) がありました。

国際 RYLA セミナー後も、参加者は残りの 6 日間を、ローターアクト大会、RI 会長主催の新世代の会合に参加しました。国際ライラリアン (参加者) は、国際大会の期間中「友愛の家」における RYLA のブースを進んで手伝い、ロータリアンとの交流を深めました。

以下の国際ライラリアンの感想を通じて、今回の成果が伝われば幸いです。

「異なる文化を互いに学び合い、話を聞き、世界各地で必要とされていることは何かを学んだ。ロータリーは本当に若者の成長に関心を持ち、若者に呼びかけていると確信した」——トレシー (オーストラリア)



「私たちが世界を変えられる。私たちには情熱があり、地域だけでは支えきれない夢や希望がある」——マリナ (ブラジル)

「すごい経験だった。国際 RYLA は私を変えた。自分自身の長所短所を知ることが、より良い奉仕につながると思った。モザンビークに帰国したら、私の前には大きな課題が立ちだかっているが、地域のために私は奉仕し、尽くすつもりだ」——リニア (モザンビーク)

「世界は狭くなった。インターネットの普及で世界中の情報や友達が簡単に見つけられるようになった。しかし、その絆は強くない。世界中から集まった 100 人近くがシドニーで膝をつきあわせ国際 RYLA に参加して強い絆をつくった。強い絆は強いネットワークの構築につながる」——まさし (日本)

「僕の人生で一番充実した時間だった。ローターアクトとして活動していたが、ロータリー家族の一員だと今回ほど感じたことはなかった。世界中からの若いリーダーと友達になれてすごくうれしかった。それこそ世界平和の基本だと思う」——ジャネック (ドイツ)

「世界の若者と絆をつくり、一緒に考え、成長し、分かち合う、一生に一度あるかないかの素晴らしい機会だ。あふれるエネルギーと熱い雰囲気、素晴らしい仲間との出会い、リーダーの育成セミナープログラムの中で、感動が高まり、やる気が高まった。全ての瞬間が貴重だった。ありがとう」——カブヤ (インド)

国際 RYLA は、RI が今後も世界中の若者の成長に興味を持ち、リーダーシップを育成するという姿勢の表れです。RI のブランドとして、来年のブラジル、再来年の韓国における国際大会でも、大切に継続されることを願います。

(第 2750 地区 東京都)



2014 - 15 年度 国際ロータリーおよびロータリー財団国内委員

(2014 年 7 月 1 日現在)
資料提供：国際ロータリー日本事務局（順不同・敬称略）

R I 理事、R I 理事会執行委員会委員、職業奉仕委員会連絡担当理事
北 清治（浦和東）

R I 理事、R I 理事会プログラム委員会委員、会員増強・維持委員会委員、青少年交換委員会連絡担当理事
杉谷 卓紀（玉名）

ロータリー財団管理委員会委員、財団管理委員会執行委員会委員、R I 理事・財団管理委員会合同委員会委員、財団管理委員会資金管理委員長、職業奉仕委員会連絡担当管理委員、ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会連絡担当管理委員
田中 作次（八潮）

2015 年サンパウロ国際大会委員会アドバイザー、2016 年ソウル国際大会委員会共同委員長、職業奉仕委員会委員、ポリオプラス日本担当アドボカシーアドバイザー
小沢 一彦（横須賀）

運営審査委員会、インターナショナル・ポリオプラス委員会委員
黒田 正宏（八戸南）

ロータリアン行動グループ委員会委員
松宮 剛（茅ヶ崎湘南）

ロータリーコーディネーター
第 1 ゾーン **横山 公一**（沼田）
第 2 ゾーン **金杉 誠**（横浜西）
第 3 ゾーン **安満 良明**（加治木）
ロータリーコーディネーター補佐
第 1 ゾーン **大塚 信郎**（上尾）
酒井 正人（函館五稜郭）
松浦 新（秋田中央）
第 2 ゾーン **菅原 光志**（鎌倉）
田嶋 好博（名古屋北）
都筑 文男（塩尻）
第 3 ゾーン **大之木精二**（呉）
横山 守雄（大阪中央）

ロータリー公共イメージコーディネーター
第 1 ゾーン **渡辺 敏彦**（新潟南）
第 2 ゾーン **高野孫左エ門**（甲府）
第 3 ゾーン **岩永 信昭**（長崎北東）
ロータリー公共イメージコーディネーター補佐
第 1 ゾーン **大橋 廣治**（福島南）
鈴木 秀憲（吹上）
第 2 ゾーン **相澤 光春**（ふじさわ湘南）
田中 正規（西尾）
第 3 ゾーン **伊藤 文利**（倉吉）
高島 凱夫（大阪中之島）

ロータリー財団地域コーディネーター
第 1 ゾーン **岩淵 均**（浦和）
第 2 ゾーン **江崎 柳節**（小牧）
第 3 ゾーン **松本茂太郎**（福山）
ロータリー財団地域コーディネーター補佐
第 1 ゾーン **塩谷國太郎**（大曲）
菅原 一博（仙台）
羽石 光臣（宇都宮東）
葭本 正美（釧路ベイ）
第 2 ゾーン **後藤 定毅**（大和中）
深谷 友尋（名古屋みなと）
舟木いさ子（東京白金）
第 3 ゾーン **河本 英典**（大津）
木下 光一（大分城西）
田村 泰三（柳井）

恒久基金 / 大口寄付アドバイザー
第 1 ゾーン **田中徳兵衛**（川口）
第 2 ゾーン **竹腰 兼壽**（岐阜南）
第 3 ゾーン **鳥居 滋**（岡山東）

2015 年サンパウロ国際大会推進委員会委員
大島 英二（鳥栖）

ローターアクト・インターアクト委員会委員
三木 明（姫路）

ロータリー親睦活動委員会委員 **加藤 玄静**（本庄）

R Y L A 委員会委員 **御手洗美智子**（東京広尾）

2014 年 R I 研修リーダー **未定**

学友関連合同委員会、ロータリー平和センター委員会委員
渡辺 好政（児島）

青少年交換委員会委員 **斎藤 直美**（豊田）

R I ゾーン 1,2,3 地域別会員増強計画プロジェクトリーダー
辰野 克彦（東京西）

ポリオ撲滅コーディネーター
第 1 ゾーン **白鳥 政孝**（市原）
第 2 ゾーン **舟木いさ子**（東京白金）
第 3 ゾーン **延原 正**（岡山南）

ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーター委員
久邇 邦昭（東京南）

ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会委員
津田 健三（鴻巣水曜）

ロータリーカード・ゾーンコーディネーター
第 1 ゾーン **佐原 元**（喜多方）
第 2 ゾーン **関 博子**（東京米山友愛）
第 3 ゾーン **森本 信一**（津山）

■ 公益財団法人ロータリー日本財団

事務所 〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階
 TEL. 03-5439-5806 FAX. 03-5439-0405 ホームページ <http://piif-rfj.org>
 理事・理事長 千 玄室(京都) 理事・副理事長 渡辺 好政(児島) 森嶋 庸吉(船橋西)
 理事 上野 孝(横浜) 宮崎 茂和(福井) 松本茂太郎(福山) 佐久間崇源(東京目黒)
 江崎 柳節(小牧) 岩渕 均(浦和) 小沢 一彦(横須賀) 黒田 正宏(八戸南)
 評議員 伊藤 義郎(札幌) 板橋 敏雄(足利東) 古宮 誠一(東京東) 橋本 長平(京都東)
 富田 謙三(京都) 杉谷 卓紀(玉名) 北 清治(浦和東) 松宮 剛(茅ヶ崎湘南)
 鈴木 雅博(市原中央) 重田 政信(高崎北)
 監事 井上 暎夫(千里) 片山 主水(名古屋東南)

■ ガバナー会

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
 TEL. 03-3433-6497 FAX. 03-3433-7395 Eメール govkai@orange.ocn.ne.jp
 議長 鈴木 孝雄(東京池袋)
 副議長 坂本 俊雄(東京八王子南) 泉 博朗(大阪帝塚山) 渡辺 治夫(横須賀)
 顧問 RI理事 北 清治(浦和東) 杉谷 卓紀(玉名)

■ 特定非営利活動法人 国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC)

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
 TEL. 03-6431-8106 FAX. 03-6431-8107 Eメール rijyec@sunny.ocn.ne.jp
 理事長 山崎 清司(古河東)
 理事 大橋 廣治(福島南) 小澤 秀瑛(東京青梅) 市川伊三夫(東京銀座) 齋藤 直美(豊田)
 神田 憲(名古屋大須) 井上 暎夫(千里)
 監事 関場 慶博(弘前アップル)
 社員 鈴木 孝雄(東京池袋) 丸山 淳士(札幌真駒内) 渡邊 和良(浦和北) 崎山 征雄(習志野中央)
 川野 正久(川崎北) 都筑 文男(塩尻) 舟木いさ子(東京白金) 北中 登一(大阪狭山)
 延原 正(岡山南) 原田 光久(小倉) 木下 光一(大分城西)
 アドバイザー 近藤 眞道(高槻西)
 研修部門委員 渡辺 浩子(福島21) 小松 栄一(寒河江) 大森 順方(東京北) 北川雅一郎(金沢)
 末松 尚武(東京目黒) 黒田 勝基(高浜) 柚木 裕子(かながわ湘南) 間石 成人(高槻西)
 土井 晶三(高槻西) 白井 務子(姫路東) 大楠 正子(福岡平成)

■ ロータリー文庫運営委員会

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL. 03-3433-6456 FAX. 03-3459-7506 Eメール rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp
 ホームページ <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 委員長 藤林 豊明(横浜鶴見北) 副委員長 中村 博亘(柏西)
 運営委員 佐々木正丞(札幌) 岩本 忠(伊勢) 馬場 信彦(三条南) 伊藤 学而(鹿児島)
 佐久間崇源(東京目黒) 積 惟貞(沼津) 亀井 義弘(松山)
 監査委員 岡部 泰鑑(大阪城南) 森 洋(横須賀北)
 顧問 新藤 信之(東京立川こぶし) 関口 博正(杉戸) 戸田 一誠(東京練馬西)
 相談役 黒田 實(茂原) 中山 義之(横浜南) 齋藤 博(市原) 石井 治(春日部)
 長島 洋三(市川東) 河本 親秀(大磯) 高窪 昭雄(浦和) 田中 一郎(坂戸) 鈴木 清次(川崎西)

■ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
TEL. 03-3436-6651 FAX. 03-3436-5956 Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp
ロータリージャパンホームページ <http://www.rotary.or.jp>

ロータリーの友委員会

委員長 橋本 長平(京都東) 副委員長 清水 良夫(横浜)
RI理事 北 清治(浦和東) 杉谷 卓紀(玉名)
特別顧問 中山 義之(横浜南) 神崎 正陳(茅ヶ崎湘南) 上野 孝(横浜) 安平 和彦(姫路)
片岡 信彦(土浦南)
顧問 本田 博己(前橋) 志田 洪顯(静岡) 大室 儼(宝塚武庫川) 鈴木 喬(東京江北)
水野 功(東京飛火野)

地区代表委員

2500 佐藤 真康(帯広)	2510 柳 孝一(札幌幌南)	2520 佐藤 澄子(盛岡滝ノ沢)
2530 金平 祖隆(福島北)	2540 加賀 美奈(大曲)	2550 伊藤 一男(大田原)
2560 山内 正胤(十日町)	2570 今泉 博(川越)	2770 宮下 守夫(大宮シティ)
2790 寺川 典秀(千葉幕張)	2800 御橋 広真(鶴岡西)	2820 木曾 正明(日立)
2830 中畑 肇(弘前西)	2840 島津 文弘(高崎北)	2580 石橋 正男(東京東江戸川)
2590 長戸はるみ(川崎高津南)	2600 山口 健雄(伊那)	2610 小間 茂雄(高岡)
2620 阿部 正義(浜松北)	2630 加藤真左子(多治見西)	2750 西澤 宗英(東京渋谷)
2760 岩瀬淳一郎(豊川)	2780 加藤 盛久(茅ヶ崎湘南)	2640 京谷 知明(堺フェニックス)
2650 橋本 和典(奈良大宮)	2660 藤田誠一郎(大阪帝塚山)	2670 石川 浩(高松南)
2680 熊見 一郎(神戸須磨)	2690 樋山 義皓(益田)	2700 廣澤 元彦(小倉東)
2710 田頭 和規(福山南)	2720 高山龍五郎(大分)	2730 深尾 兼好(鹿児島西)
2740 杉原 宏一(諫早北)		

編集長 二神 典子(東京築地)

一般社団法人ロータリーの友事務所

社員 北 清治(浦和東) 杉谷 卓紀(玉名) 鈴木 孝雄(東京池袋) 坂本 俊雄(東京八王子南)
渡辺 治夫(横須賀) 泉 博朗(大阪帝塚山)

理事会

代表理事 橋本 長平(京都東)
理事 清水 良夫(横浜) 中山 義之(横浜南) 神崎 正陳(茅ヶ崎湘南) 上野 孝(横浜)
安平 和彦(姫路) 片岡 信彦(土浦南) 本田 博己(前橋) 志田 洪顯(静岡)
大室 儼(宝塚武庫川) 鈴木 喬(東京江北) 水野 功(東京飛火野)
森本 行俊(東京町田サルビア) 横山 武志(東京北) 大澤 成美(東京臨海) 野中 茂(川崎)
渡辺 誠二(東京みなと) 二神 典子(東京築地)
監事 高良 明(川崎西) 船越 豊(千葉中央)
相談役 高野 本男(甲府) 板橋 敏雄(足利東) 秋山 一(東京調布) 中村 昌平(東京北)

ロータリー希望の風奨学金 現況報告と今後の取り組み

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

委員長 上野 操（東京江戸川RC）

副委員長 織田 吉郎（銚子RC）

副委員長 田嶋 好博（名古屋北RC）

庶務担当 地葉 新司（潟上RC）

監事 西川武重郎（志木RC）

おかげさまで、私たちロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の企画による、東日本大震災で両親もしくは片親を亡くした遺児たち（大学生、短大生、専門学校生対象）に奨学金を給付する「ロータリー希望の風奨学金」プログラムは順調に運営されております。誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ここで、これまでの支援実績とこれからの支援・運営方針などをご報告します。

1.「ロータリー希望の風奨学金」の概要

奨学生の条件：東日本大震災で両親もしくは片親を失った「遺児」で大学（短大を含む）または専門学校に学ぶ者

奨学金の給付：入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない

申請から給付まで：被災各県高等学校・遺児家族・本人→在籍高等学校の推薦→申請→資格審査（書類確認）の

上、遺児および推薦学校宛てに「給付決定通知」送付→大学・専門学校入学と同時に、在学証明書を当協議会に送ってもらう→奨学金給付開始

奨学金給付開始：奨学生が進級することにより在籍証明書を送付してもらう

後のフォロー：留年や停学などで在籍証明が更新できないときは給付を停止する

2. 支援金の実績 および 今後支援が必要な金額

① プログラム開始から終了までに必要と思われる奨学金の総合計（予測値）	1,033,462,951 円
② プログラム開始時の支援金の金額（実測値）	429,623,551 円
③ プログラム開始以後 2014 年 5 月 31 日までに寄せられた支援金の合計（実績値）	189,812,311 円
④ プログラム開始から 2014 年 5 月 31 日までに支出した奨学金の合計（実績値）	150,950,000 円
⑤ 2014 年 5 月 31 日現在の支援金残高（実績値）	467,901,249 円
⑥ 今後支援が必要な支援金の合計（予測値）＝①－④－⑤	414,611,702 円

（2014 年 5 月 31 日現在）

（なお、管理運営費は約 20 万円 / 年程度と少額のため、ここでは表記していません）

(1) 支援金の残高は 467,901,249 円で、この原資でカバーできるのは 2019 年度までとなります。

2020 年度からプログラムの終了する 2032 年度までに必要と思われる奨学金 414,611,702 円は、今後引き続き皆さまから支援をいただかねばなりません。

(2) 被災遺児奨学生予測は、入手できる限りの情報と阪神・淡路大震災時の実態（遺児年齢構成）などから当協議会が独自に算出しています。この数値を想定するのは困難な作業です。遺児数も公表されているわけではなく、復興の進み具合により被災者の生

活環境も物質的、精神的に変化し、それによって進学率も変わってくるものと思われます。従って、年に一度見直しを進めながら予測値を変更していくことになります。ここでは、2012 年 6 月 12 日時点の予測値から 10%程度下方修正しています。その理由は 2014 年 4 月入学者の申請状況が下回っているからです。

(3) 奨学生は来年度をピークに減少に転じ、2020 年度には 100 人を切り、2026 年度には 50 人を下回り、以降も一貫して減少していくものと思われます。

3. 奨学生の実績と現状

プログラムの開始以来、2014年5月1日現在までに180人に奨学金を支給しました。この3年間で給付を

修了した人は56人で、現在は124人の奨学生が日本の各地で学んでいます。

奨学金給付状況

年度	期間	給付者数	新給付者	修了者	継続者
初	2011年11月～2012年3月		38	17	21
2	2012年4月～2013年3月	90	69	7	83
3	2013年4月～2014年3月	134	51	32	102
4	2014年4月～2015年3月	124	22		
	総数		180	56	

(2014年5月1日現在)

教育機関別奨学金給付状況

教育機関	給付者数	修了者	継続者
大学生	113	21	92
大学院生	1	1	0
短大生	9	4	5
専門学校生	57	30	27
計	180	56	

(2014年5月1日現在)

4. 地区によって異なる支援体制

これまで賛同地区は13ありますが、このプログラムに対する向き合い方は地区により、またその年度のガバナーによって異なります。ガバナーの強力なリーダーシップのもと、具体的な数値目標を掲げて、地区を挙げて支援活動を展開してくださる地区もありますが、多くの地区は地区内にプログラムの紹介をすることにとどめているようです。それは長期にわたり年度をまたいで継続していくプログラムの持つ使命です。1年限定で強い権限を有するガバナーが地区の活動方針に大きな影響力を及ぼしていくのがロータリーの運動だからです。

このプログラムの開始に当たって賛同10地区が持ち寄った義援金の総額は約3億円余でした。そしてプログラムのスタート直後に台日国際扶輪親善会が日台ロータリー親善会議を通じて約1億2,400万円の支援金をくださり、この合計約4億3,000万円が基本となって、奨学金プログラムは始まりました。その後、約2年半(2014年5月31日現在)で1

億9,880万円です。年平均とすれば7,952万円となります。そして今後支援が必要な支援金の合計(予測値)は4億1,460万円ですから、向こう5年間今のペースでいくことができれば、プログラム終了までの支援金は集まる……という計算になります。

支援金は、賛同地区の広がりもあり、地区、クラブ、企業、個人の方々からと広がりを見せていますが、2013－2014年度の間報告(2013年12月末)の実績を見ますと、地区によって力の入れ方には大きな差があります。



	支援金額	比率
台日国際扶輪親善会 (台湾)	125,339,917 円	21.0%
第 2580 地区 (東京・沖縄)	123,916,356 円	20.7%
第 2650 地区 (福井・滋賀・京都・奈良)	89,628,339 円	15.0%
第 2790 地区 (千葉)	52,171,213 円	8.7%
第 2710 地区 (広島・山口)	45,148,057 円	7.5%
4 地区 1 団体計	436,203,882 円	72.9%

(義援金と支援金の累計 598,178,519 円)

上記のとおり 4 地区 1 団体で支援金全体の 70%を超えています。

私たちは、今後これら特定地区や団体からの強力な支援を引き続き受けられないことがあると仮定しますと、

5. ロータリアンの皆さま、「ロータリー希望の風奨学金」にご理解とご支援を

既にご支援をいただいているロータリアンの皆さま、そして「東日本大震災について、長期に及ぶ復興を支えるには継続的な支援が必要だと思う、しかし何をしたらよいのか良い方法が見つからない」と考えておられるロータリアンの皆さま、日本の次代を担う青少年たちが進学の希望を断つことなく、未来に向けて夢を膨らませること、それが東北の真の復興に欠かせないとても大きな要素であることをご理解いただき、「ロータリー希望の風奨学金」プログラムにご支援をお願いします。

追記 本文は「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」の副委員長を務められ、「ロータリー希望の風奨学金」プログラムの開発と立ち上げ、運用にご尽力くださり、残念ながら本年 6 月 6 日急逝されました故・織田吉郎パストガバナー (2010 - 11 年度第 2790 地区ガバナー / 銚子 R C) が作成された中間報告 (2014.2.25) に基づき、最新の資料を追加して作成しました。

(文責：第 2540 地区パストガバナー 地葉新司)

連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1 階

国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所内

TEL:03-3250-2050 FAX:03-5250-2050

E メール r.kibounokaze@wave.plala.or.jp

なお、銚子事務局の移転準備中のため、連絡がつきにくい場合やお急ぎの方は右記をお願いします。

賛同地区だけでなく、日本全 34 地区の皆さまに本プログラムに対するご理解をいただき、さらなるご支援を仰がねばならないと考えています。

秋田事務局 (仮事務局)

(株) 東邦ドラッグストア 地葉新司 (潟上 R C)

TEL: 018-877-5387

支援口座 (口座名義)

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

代表 上野 操

千葉銀行 銚子支店 普通預金口座 3549340



配偶者をロータリーに

国際ロータリー（R I）では、今年度末までに全世界の会員を130万人にする、という目標を立てています。日本では、10万人を目標に、会員増強の計画が進められています。

8月は、会員増強・拡大月間。皆さまご存じのように、年度末の6月30日付での退会者は多く、期首の7月1日の会員数は大きく落ち込むという現象は、会員数が順調に伸びていたころと同様でした。ですから、年度初めの7月、8月は、それぞれのクラブで新しい会員を迎え入れる目標を立て、その目標に向かってまい進している時期だと思います。

ところで、R Iでは、「ロータリー家族」をロータリアンにと、ロータリー財団学友、ローターアクターなど、これまでロータリーとかかわりのあった若い人たちをロータリークラブに誘うよう奨励してきました。日本でも、これらの若い人たちを中心にクラブがいくつか創立されました。「ロータリー家族」と呼ばれている人たちは、ロータリーのプログラムをよく理解しています。ロータリアンと接し、ロータリーの考えや心を学んでいます。ですから、ロータリアンになった彼ら、彼女らは、積極的にロータリーの活動に参加しています。

ところで、今年1月に開催された国際協議会で、新年度のR Iテーマを発表した時、黄其光R I会長は、「この中で何人の方がロータリアンでしょうか。ロータリアンではない配偶者の方は、何人おられますか？ここで、一つ提案があります。この部屋におられる方全員が、ロータリアンであるべきだと思うのです。ロータリアンは皆、自分の配偶者をロータリー入会へと誘うべきです。ロータリーを家族全員のものとしていただきたいのです。このアイデアを台湾で実践し始めた時のことをお話ししましょう。私たちは、自分よりも妻の方が友達づきあいが多いことに気づきました。妻がロータリーに入会すれば、友人たちをロータリーに誘ってくれる。それで、その友人はロータリーが男性だけの団体ではないことを知り、『じゃあ、入会するわ！』となるわけです。クラブに男女両会員がいれば、活気が高まり、活動も活発になります。会員数がただ2倍になるのではなく、それ以上の恩恵が生まれ、奉仕のレベルもずっと向上します。皆さん全員がやって

みるべきだと、私は考えています。アイデアを出し合い、共有することだと思います」と、配偶者をロータリーに誘うことを提案しました。

これまでも、夫婦でロータリアンという例はありました。しかし、その人は「ロータリアンの配偶者だから」という理由ではなく、「職業人として素晴らしいから」という理由で入会を勧められ、たまたまその人の配偶者もロータリアンだったということでした。

昨年4月に開催された規定審議会で、ロータリークラブの入会資格の一部が改定されました。「子どもの世話または配偶者の仕事の手伝いのために仕事を中断した人、または同じ理由のために仕事をすることがない人であること」（「国際ロータリー定款」第5条第2節 a 6）

これによって、仕事を持っていない配偶者にもロータリーへの門が開かれたのです。職業を持たない人たちがロータリーに入会することに反対するロータリアンは少なくありません。一方で、主婦（主夫）も立派な職業だとする意見もあります。

この議論はさておき、長年ロータリアンとともにロータリーの活動に参加してきた配偶者が、ロータリーの良き理解者であり、また新しいアイデアでロータリーを活気づけてくれる存在だ、というのが黄会長の思いなのでしょう。

国際協議会で、黄会長の夫人、姚世蕾（Corinna S. L. Yao）さんがロータリアンになったと発表されると、大きな拍手で祝福されました。黄会長の子どもたちもロータリアンになりました。黄会長は、このような「ロータリー一家」が増えることを夢見ているでしょう。

『友』編集長 二神 典子





ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

—— 奨学金制度編 ——

● 米山記念奨学会とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。財源はすべて会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリーからも国内全34地区の合同プロジェクトとして認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

● 支援の対象は？

事業開始から一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を対象にしています。2014年4月採用の奨学生数は全国で700人（枠）、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでの累計で、世界123の国・地域からの留学生1万8,104人を支援しています。

● なぜ、外国人留学生支援なのか？

1952年、東京ロータリークラブ（RC）の当時の会長であった古沢丈作氏によって、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想が発表されました。「米山」という名前を冠したのは、日本で最初につくられた東京RCの初代会長であり、「日本のロータリーの父」と呼ばれた米山梅吉氏（1868～1946）の遺徳をたたえ、その功績を永遠に顕彰する「無形の金字塔」にしたいと考えたためです。何より、その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンたちの強い願いがありました。その後、この奨学事業は、構想発表から5年を待たずにクラブ単独から全地区合同事業へと発展、当時からの変わらぬ願いとともに、今日まで受け継がれてきました。

● ほかの奨学金と違う特徴は？

最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」による「顔が見える」支援であること。米山奨学生には、地

域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動などに参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、平和を求めるロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

● 事業の成果は？

事業創設から60年余を経た現在、「米山学友」と呼ばれる元奨学生は、世界の幅広い分野で活躍しています。

さらに、同窓会組織「米山学友会」をつくる動きも広がっています。2013～14年度には、2つの新しい海外米山学友会が、ネパールとモンゴルに誕生。マレーシアやベトナムでも、米山学友のネットワークづくりが始まるなど、うれしい動きが続いています。また、母国や日本で、ロータリアンとなる学友も増えています。

奨学期間終了後、そして帰国後も、米山学友はさまざまな形で、ロータリーで学んだ親睦と奉仕を実践しています。この「よねやまだより」では、その実例を数多く紹介していきます。ご期待ください。

● 奨学金の種類と特徴（2014年4月～15年3月）

ロータリー米山記念奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
1. 学部課程（YU）	10万円	最長2年	指定校推薦	685人
2. 修士課程（YM）	14万円			
3. 博士課程（YD）	14万円			
4. 地区奨励	7万円	1年	世話クラブ推薦	12人
5. クラブ支援	14万円	6か月／1年		10人
6. 海外応募者対象	10万円（研究生・学部生） 14万円（大学院生）	原則2年（研究生は1年。進学の場合は1年延長あり）	公募	13人
7. 海外学友会推薦	14万円（渡航・住居費別）	1年	海外学友会推薦	4人

「よねやまだより」は、ロータリー米山記念奨学事業についてお伝えするページです。毎月、本誌横組みに掲載されます。新しい読者も多い8～9月号は、恒例の“基礎知識”シリーズです。新会員はもちろん、すべての会員のみなさんに知っていただきたい「よねやま」の基本情報を、奨学金制度編、寄付金・財政編の2回に分けて掲載する好評の企画です。初回の今日は、事業概要と奨学金プログラムについてご紹介します。

■ 学部課程・修士課程・博士課程奨学金

—— 大学・大学院生対象の代表的なプログラム

大学（高専専攻科、専修学校高度専門士課程含む）・大学院の正規留学生が対象で、採用者の9割以上を占めます。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。奨学生が世話クラブに通える範囲内で、地区外の学校も指定校にできます。

■ 地区奨励奨学金

—— 大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム

地区の裁量によって、短大・高専・専修学校などを指定校にし、在籍する留学生を1年間支援できる制度です。奨学金額が修士・博士課程の半額である代わりに、1人の枠につき2人を採用できます。近隣に大学がない地域にも世話クラブを広げ、事業への理解を得られる効果が期待されます。2014学年度は4地区で12人が採用されました。

■ クラブ支援奨学金

—— 現役奨学生のための期間延長プログラム

世話クラブが期間を延長して奨学生を支援したい場合に適用され、延長期間の奨学金の半額は、世話クラブが負担します。博士号取得見込者のほか、上級課程へ進学する現役奨学生が対象です。ただし、延長により地区の新規採用数が減るため、採用を控える地区もあります。

■ 海外応募者対象奨学金

—— 来日前の日本留学希望者が応募できる新制度

すでに日本での留学先が決まっている外国人が、海外から個人応募できるプログラムです。地区の裁量で、奨学生割当数の最大3人分を充てることができます。3年の試行期間を終え、年々、地区の関心も高まっていることから、2年間試行を延長し、2017学年度から本プログラムに移行するかどうかを見極めることになっています。なお、2015学年度から研究生は対象外となります。

■ 海外学友会推薦奨学金

—— 海外学友会との協同プログラム

海外の米山学友会が、各国内で日本留学希望者を募集・選考し、推薦するプログラムです。2015学年度は前年同様、台湾に2人、韓国と中国に1人ずつの推薦枠を設けます。対象は博士号を取得した上級研究員だけでしたが、昨年からは各学友会の希望により、博士課程進学者も選べるようにしました。海外学友会の活性化や現地での米山記念奨学金の認知度向上にも役立っています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。
Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281
Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp



外国人留学生のための就職相談会が大好評 —— 東京米山友愛RC ——

東京米山友愛RC主催の「外国人留学生就職相談会」が5月17日、都内で開かれ、留学生約30人が参加しました。この催しは、米山学友を中心に創立された同クラブが毎年続けている奉仕活動で、今年で4回目となりました。就職活動体験の報告やマナー研修、外国人留学生の採用に積極的な企業との懇談会など充実した内容で、参加者からは「就職に対する考え方を転換させてくれた」「企業の方と話ができて、とても勉強になった」と、大変好評でした。実行委員長の金甲寅（キンカ）さんは「私たちの経験を生かして留学生の就職活動を親身に支援できるのは、当クラブならではの。次回も今年以上に良い会になるよう努めたい」と、語りました。



就職活動中の留学生に役立つ情報を提供

新たに就任した

ロータリー財団管理委員

黄其光国際ロータリー（R I）会長によって任命された4人が管理委員として、7月1日から新たに加わりました。財団管理委員のメンバーは15人で、任期は4年です。

今回、任命されたのは、田中作次氏（八潮RC）ほかスシル・グプタ氏（インド・デリーミッドウエストRC）、ポール A. ネツェル氏（アメリカ・ロサンゼルスRC）、尹永錫（韓国・ソウル会賢RC）です。

田中作次氏は、2012 - 13年度R I会長を務め、現在もR Iの役職に就いています（横組みP 25 参照）。



そのほかの財団管理委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：ジョン・ケニー（イギリス・グランジマスRC）、委員長エレクト：レイ・クリングスミス（アメリカ・カークスビルRC）、副委員長：マイケル K. マクガバン（アメリカ・ケープエリザベスRC）、委員：モンティ・J. オーデナート（カナダ・レッド・ディア・イーストRC）、ノエル A. バジャット（アメリカ・アビービルRC）、カルヤン・バネルジー（インド・バピRC）、アントニオ・アラジェ（ブラジル・クリティバ・レステRC）、謝三連（台湾・台北サンライズRC）、サミュエル F. オオリ（ウガンダ・カンパラRC）、イアン・H.S. リズレイ（オーストラリア・サンドリングラムRC）、フリオ・ソルホス（スペイン・バルセロナコンダルRC）

「超私の奉仕賞」受賞者

個人のロータリアンを称える最高の栄誉とされる「超私の奉仕賞」の2013 - 14年度受賞者が発表されました。本賞は、模範的な人道的奉仕を実践したロータリアン、特に、個人的なボランティア活動やロータリーへの積極的な関与を通じて、人々に援助の手を差し伸べた方々に贈られるものです。

昨年度の受賞者は、世界で125人。うち日本国内の受賞者は、宮下正弘氏（第2540地区 秋田RC）でした。

「新会員推薦者のための認証プログラム」がスタート

ロータリーでは、新会員を推薦した会員に感謝の意を表するため、「新会員推薦者のための認証プログラム」を開始しました。このプログラムでは、推薦者に特別な認証ピンを進呈し、国際ロータリーのウェブサイトで推薦者の氏名を紹介します（希望者だけ）。

プログラムへの参加方法は、次の通りです。My ROTARY から、クラブの

データに新会員を追加し、その推薦者も同時に記録してください。対象となるのは、2013年7月1日以降にロータリーに入会した会員を推薦した人となります。毎週、ロータリーから、新たに記録された推薦者の名前、その方のための認証ピンと裏あて（4つの異なる色）が、所属クラブに発送されます。裏あての色は、何人の新会員を推薦したかによって異なります（1人の場合は青、6人以上の場合はゴールドなど）。

My ROTARY のプロフィールページを随時確認し、自分が推薦した会員の数を確認しておきましょう。ゴールドレベルの推薦者は、新会員推薦者認証ギャラリーに掲載されるほか、国際大会に参加する場合は、会長主催の特別認証行事に招待されます。

- My ROTARY から、新会員とその推薦者を追加する
- 「新会員推薦者のための認証プログラム」のパンフレット
- ご質問は、membershipawards@rotary.org まで

ロータリーデー

今年度、黄会長はすべてのロータリアンにロータリーデーに参加するよう呼びかけています。ロータリーデーのコンセプトは、地元で一般の人向けに楽しいイベントを開催し、ロータリーを知ってもらうことです。



ブルガリアのキュステンディルRCはロータリーデーで「Let's Paint Together Party」を開催。このイベントに参加した子どもと保護者は、障害を持つ青少年のための集会所をつくるよう、市にあてて署名をしました。

国際大会カウントダウン 数字で見るサンパウロ



2015 年国際ロータリー年次大会の開催都市、サンパウロの住民は「パウリストノ」と呼ばれ、彼らは自分たちの町を「サンパ」と呼んでいます。以下は、来年 6 月初旬に世界のロータリアンが集うこの地についての豆知識です。

1554 年：

宣教師たちが、後にサンパウロ市となる村を創設した年

1,100 万：

サンパウロ市の人口（周辺部を除く）

1974 年：

サンパウロの地下鉄が開通した年

3 チーム：

ブラジルのプロサッカー第一部リーグで、サンパウロを本拠地とするチームの数（パルメイラス [Sociedade Esportiva Palmeiras]、サンパウロ [São Paulo Futebol Clube]、コリンチャンス [Sport Club Corinthians Paulista]）

1947 年：

サンパウロ美術館（Museu de Arte de São Paulo、略称「MASP」）が創設された年

6 位：

ビジネス誌『フォーブス』2013 年の「100 億ドル長者トップ 10 都市」における、サンパウロの世界ランキング

150 万人：

サンパウロに在住している日系人の数

70° F (21 度)：

6 月初旬のサンパウロの平均最高気温

45 マイル (72km)：
サンパウロに一番近いビーチがある、サントスまでの距離

2,690 フィート (820 m)：

サンパウロ台地の標高

サンパウロ国際大会への登録は、国際ロータリーのホームページ www.riconvention.org/ja から。

！重要！ サンパウロ国際大会の日程が、6 月 7 ～ 10 日から 6 月 6 ～ 9 日に変更になりました。ご注意ください。

今後の R I 国際大会

2015 年 6 月 6 ～ 9 日

ブラジル・サンパウロ

(以下、予定)

2016 年 5 月 29 ～ 6 月 1 日

韓国・ソウル

管理委員長の思い

今年度の目標

30 年ほど前のことです。私たちロータリアンはお金よりはるかに重要なことを与えるという誓いを立てました。それは、ポリオウイルスを撲滅し、ポリオのない未来を築くことです。

しかし、この誓いはまだ実現されていません。世界には、いまだにポリオウイルスが存在しています。自動車王ヘンリー・フォードが述べたように、「達成に向けて活動しているうちは、まだ評価されない」のです。

ロータリーは、長年にわたって「ポリオを撲滅する」と主張してきました。「ポリオを撲滅した」と宣言できる時が早く来ることを望んでいます。

世界中のロータリアンは、長い年月をかけてポリオ撲滅への道を歩んできました。この 30 年、ポリオ撲滅はロータリーと切り離せないもの

統計

全世界ロータリアン総数

1,185,074 人

クラブ数 34,578 クラブ

地区数 536 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 158,401 人

クラブ数 6,887 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 385,066 人

クラブ数 16,742 クラブ

国と地域 150 以上

2013 年 7 月 1 日現在

* 2014 年 4 月 2 日現在

** 2014 - 15 年度

ロータリーの
ニュースは

**ROTARY
JAPAN**
Home Page www.rotary.or.jp

RI 指定記事

2014 - 15 年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー



になっています。私たちはポリオ撲滅について語り、活動に参加し、キャンペーンを重ねて、非常に多くの資金が集まりました。それを承知の上で、さらに多くの支援を皆さんにお願いしています。

会員の中には、ポリオ撲滅活動のためにすでに多くの寄付をしてきたではないか、あるいは、ポリオに対してはもう十分に支援してきたではないか、別のことに取り掛かる時期なのではないか、と感じる人がいることを承知しています。そのような方々に申し上げます。ここで歩みを止めたり、ペースを落としたり、「ほぼ達成」を「完全に達成」と同じように考え満足しては、これまでに培った基盤、そして私たちが築き上げてきたロータリーの名声を、すべて失ってしまうかもしれない、と。

このような事態は、私たちロータリアンとして何としても避けなければなりません。ですからポリオ撲滅の誓いを果たす日まで、力を合わせて活動を続けていかなければならないのです。

新クラブ（既存クラブの合併）

東京福生（2580・東京都）

2014年5月29日承認

会員数 40人 例会日 水 12:30

例会会場 石川酒造 新蔵

事務所 〒197-8623 福生市熊川1

石川酒造内

会長 松本 修

幹事 田村 勝彦／大山 剛

＊東京福生RCと東京福生中央RCが合併。東京福生RCの加盟承認日は、元の東京福生RCの加盟日を保持した、1969年2月5日です。

新クラブ

東京ピースウィングロータリーEクラブ
(2750・東京都)

スポンサークラブ 東京三鷹

2014年6月2日承認 No.2382

会員数 27人

例会更新日時 木 21:00

連絡先 〒181-0013 三鷹市下連雀

3-41-14 コスモフォーラム三鷹307

三鷹ロータリークラブ内

<http://peace-wing.org>

会長 William Nealy Jr.

幹事 宮崎 永子

事務所住所変更

清里（2500・北海道）

〒099-4406 斜里郡清里町水元町12

丸玉印刷清里営業所内

前沢（2520・岩手県）

〒029-4208 奥州市前沢区七日町裏4

鈴木印刷社内

新所沢（2570・埼玉県）

〒359-1111 所沢市緑町1-1-10

パストラーレハイム601

2014 - 15年度 秋期地区大会のご案内

(地区・ホストクラブ・開催月日・メイン会場名・開催地)

第2840地区 太田 8/9～10

太田市新田文化会館〔エアリスホール〕(群馬県太田市)

第2550地区 大田原 9/20～21

那須野が原ハーモニーホール(栃木県大田原市)

第2540地区 横手 9/27～28 秋田ふるさと村(秋田県横手市)

第2830地区 弘前西 10/3～4 弘前文化センター(青森県弘前市)

第2510地区 札幌幌南 10/4～5

ニトリ文化ホール(北海道札幌市中央区)

第2610地区 高岡 10/4～5 高岡市民会館(富山県高岡市)

第2690地区 江津・浜田・益田・益田西・大田 10/4～5

島根県芸術文化センター〔グラントワ〕(島根県益田市)

第2500地区 帯広 10/11～12 帯広市民文化ホール(北海道帯広市)

第2600地区 駒ヶ根 10/18～19 駒ヶ根市文化会館(長野県駒ヶ根市)

第2630地区 多治見西 10/18～19

岐阜グランドホテル(岐阜県岐阜市)

第2710地区 福山南 10/18～19

ふくやま芸術文化ホール〔リーデンローズ〕(広島県福山市)

第2730地区 鹿屋西 10/18～19 鹿屋市文化会館(鹿児島県鹿屋市)

第2780地区 横須賀 10/18～19 よこすか芸術劇場(神奈川県横須賀市)

第2800地区 鶴岡西 10/24～25 鶴岡市朝陽武道館(山形県鶴岡市)

第2560地区 小千谷 10/25～26 小千谷市総合体育館(新潟県小千谷市)

第2640地区 大阪千代田 10/25～26

河内長野市立文化会館〔ラブリールホール〕(大阪府河内長野市)

第2590地区 横浜東 11/7～8

パシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜市)

第2740地区 諫早北 11/14～15 諫早文化会館(長崎県諫早市)

第2620地区 浜松北 11/15～16 グランドホテル浜松(静岡県浜松市)

第2770地区 大宮シティ 11/15～16

大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

第2660地区 大阪帝塚山 12/5～6

フェスティバルホール(大阪府大阪市北区)

第2570地区 富士見 12/6～7 川越プリンスホテルほか(埼玉県川越市)

＊春期地区大会のご案内は、2014年12月号に掲載の予定です。

田辺はまゆう(2640・和歌山県)

〒646-0029 田辺市東陽1-1

関鶏神社会館内

HYOGOロータリーEクラブ

(2680・兵庫県)

〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町

3-2-14

オリンピック住吉内

例会場・曜日・時間変更

清里(2500・北海道) ホテル緑清荘

札幌大通公園(2510・北海道) 木→火

前沢(2520・岩手県)

第2のみ 18:30、ほか 12:30

大館北(2540・秋田県) パーリーズクラブ

米沢中央(2800・山形県) 金→水

日立中央(2820・茨城県) 月→金

青森中央(2830・青森県) ホテル青森

座間(2780・神奈川県) 第4のみ ふれ

あい会館:D&C! 市役所、18:30

小松シティ(2610・石川県) 全例会 19:00

高師浜(2640・大阪府) 高石商工会議

所3階、最終 13:30、ほか 12:30

敬弔 第2610地区・松尾久義氏が4月27日逝去されました。88歳。謹んで哀悼の意を表します。
(金沢東RC会員・1999-2000年度G)

敬弔 第2630地区・小野泰男氏が4月29日逝去されました。90歳。謹んで哀悼の意を表します。
(大垣RC会員・2000-01年度G)

坂出 (2670・香川県)

坂出グランドホテル

熊本平成 (2720・熊本県)

第4のみ18:30、ほか12:30

ロータリークラブ名称変更

吉原→富士山吉原 (2620・静岡県)

2014年6月16日承認

新インターアクトクラブ

大阪国際大和田高校

(2660・大阪府・守口イブニング)

発会 2014年4月1日 会員数 6人
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57

大阪国際大和田中学校・高等学校内
会長 西村 美咲 幹事 羽室真由佳
武田中学校高等学校

(2710・広島県・東広島21)

発会 2014年4月21日 会員数 15人
〒739-2611 東広島市黒瀬町大多田443-5

武田中学校高等学校内
会長 田畑 達也 幹事 来山 開生

学校法人石川義塾 (2530・福島県・石川)
発会 2014年5月11日 会員数 16人
〒963-7853 石川郡石川町大室502

石川義塾内

会長 海老名颯介 幹事 深谷 弥生

◆訂正 本誌7月号横組みP55地図
中、ガバナーお名前を2500は奥周盛、
2510は羽部大仁へ、お詫びとともに
訂正します。

ご投稿・お問い合わせは――

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15

黒龍芝公園ビル4階

一般社団法人ロータリーの友事務所

ロータリージャパン www.rotary.or.jp

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2014年5月末現在)

地区	RC数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第2500地区	67	2,279	2,236	82.60
第2510地区	71	2,584	2,620	85.36
第2520地区	81	2,315	2,284	79.10
第2530地区	68	2,353	2,322	82.26
第2540地区	42	1,081	1,060	80.14
第2550地区	50	1,692	1,685	83.63
第2560地区	56	2,063	2,052	83.63
第2570地区	52	1,718	1,758	82.77
第2770地区	77	2,631	2,595	83.73
第2790地区	84	2,792	2,763	82.52
第2800地区	51	1,654	1,666	84.01
第2820地区	58	2,011	2,034	82.41
第2830地区	41	1,139	1,125	81.77
第2840地区	46	1,939	1,930	85.89
第2580地区	70	3,053	3,049	84.58
第2590地区	61	2,194	2,217	86.87
第2600地区	55	2,021	2,042	88.91
第2610地区	66	2,649	2,691	83.45
第2620地区	78	3,056	3,065	88.50
第2630地区	80	3,157	3,152	85.67
第2750地区	95	4,709	4,647	79.20
第2760地区	84	4,907	4,863	93.25
第2780地区	64	2,314	2,264	81.17
第2640地区	71	2,040	2,090	86.06
第2650地区	97	4,640	4,630	90.06
第2660地区	83	3,716	3,705	86.70
第2670地区	74	2,984	3,012	85.08
第2680地区	74	2,927	2,929	91.59
第2690地区	67	3,123	3,128	85.27
第2700地区	61	3,202	3,190	89.48
第2710地区	74	3,304	3,298	90.27
第2720地区	74	2,428	2,450	86.21
第2730地区	64	2,338	2,327	84.91
第2740地区	57	2,217	2,217	85.07
34地区合計	2,293	89,230	89,096	

日本のロータリー

会員数 88,945人

クラブ数 2,285

(左の表中34地区合計から、
第2750地区のPBグループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 第2750

地区のクラブ数・会員数は、

PBグループ8RC285人

(北マリアナ諸島・ Guam・

ミクロネシア・パラオ)を含

みます。P6「日本のロータ

リー」数は、34地区合計から

PBグループを引いた数にな

ります。前年同月末PBグ

ループ8RC会員数288人。

修正 本誌6月号横組みP

38(3月末)表中、第2700

地区平均出席率を89.37%

に、会員数を3,197人、34

地区合計会員数を88,463人

に、表外とP6「日本のロー

タリー」最終行の会員数を

88,174人に修正。

同7月号横組みP54(4月

末)表中、第2670地区平均

出席率を85.90%、第2700

地区を89.99%、第2740地

区は85.81%へ修正。

第2770地区会員数を2,617

人、第2650地区を4,584人、

第2700地区会員数を3,197

人、34地区合計会員数を

88,775人に、表外とP6「日

本のロータリー」最終行の会

員数を88,490人に修正。

*『ロータリージャパン』の

「ロータリー関連資料」には、

データ修正後の表を掲載。

*第2520地区の数値はすべ

て概数です。

ROTARY
JAPAN
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 9月号主要記事予定

横組み 特集 新世代のための月間 クラブの活動から

20代、30代のロータリアン

よねやまだより

縦組み 環境のまちづくり

大木町町長 石川 潤一

わがまち……そしてロータリー 真庭市

Rotary





ロータリーを再発見。
奉仕と友情の輪を
広げよう



リーダーのネットワークへ | アイデアを広げよう | 行動しよう www.rotary.org





ロータリーの経験はクラブから始まります。クラブに積極的に参加して、リーダーシップと知識を育み、生涯にわたる友情を築きましょう。社会のために役立ちたいと願う人たちが集まるロータリーだからこそ、豊かな地域社会をつくり、世界に変化をもたらすことができます。

地域の絆を強める

「地域社会に貢献したい」そして「同じ関心を持つ人々と知り合いたい」というのが、ロータリー入会理由のトップ2。また、クラブにとどまり続ける理由も同じであることが調査でわかっています。

なぜロータリーに入会したのですか。

ロータリアンとして、何をしたいとお考えですか。

ロータリーが世界にもたらすインパクト

ロータリーには、全ての文化、全ての職業から、職業上の専門性を生かして役に立ちたいと思っているリーダーが集まっています。ロータリアンは、責任あるリーダーとして、青少年の育成、保健の改善、平和の推進、地域社会の発展など、奉仕活動を通じて世界の難題に取り組みながら、世界中の地域社会を変えていくために活動しています。

ロータリーのグローバルなネットワークがもたらす影響は、世界120万人の会員を通じて、さらに広がり続けています。

ポリオ撲滅活動のように、共通の目的に向けてロータリアンが全力で協力すれば、その影響の大きさは計り知れません。世界中のロータリアンに支えられて、ロータリーはこれからも「End Polio Now」（今こそポリオ撲滅のとき）の取り組みを粘り強く続けていきます。

ロータリアンは、ロータリーの標語「超我の奉仕」と高潔さを大切にしながら、地域や世界のために日々活動しています。

ハイチ発：アメリカ・タラハシーサンセットRCがハイチ・ポルトープランス／シャンドマルスRCと協力し、2013年8月、デュメに60台の水フィルターシステムを届けました。このチームは、フィルターの使い方を現地の人たちに教えたほか、現地の指導者たちで構成される水委員会を立ち上げて、水や衛生に関する研修を行いました。

ボランティアに費やした時間：700時間
ボランティアの人数：28人
寄付金：800ドル
寄贈物資：2,800ドル

ロータリー ショーケースに 最近掲載された プロジェクトを ピックアップ

クラブや地区で成功したプロジェクトを、ロータリーショーケースでぜひご紹介ください（www.rotary.org/showcase）。ビデオや写真をアップロードして、プロジェクトの影響を見守りましょう。またアイデアがほしい場合は、ロータリーのアイデア応援サイト（ideas.rotary.org）がお勧め。ロータリークラブが奉仕プロジェクトのための支援を見つける際に役立つ新しいオンラインツールです。これらに関する質問は、social@rotary.org までお問い合わせください。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか



平和と紛争予防
／紛争解決



疾病予防と治療

モーリシャス発：2009 年以来、ボーバサンローズヒル R C は、地域社会の成人を対象とした 2 年間の識字プログラムを提供しています。最近では、2013 年 12 月に 19 人が卒業しました。

ボランティアに費やした時間：280 時間
ボランティアの人数：5 人
寄付金：3,500 ドル

フィリピン発：フィリピン・バコロドウェスト R C とオーストラリア・マルブラ R C が協力して、栄養不足の問題を抱える子どもたちの健康と福祉を改善するために、50 人の小学生に給食を提供しています。

ボランティアに費やした時間：215 時間
ボランティアの人数：8 人
寄付金：2,000 ドル

イギリス発：科学とテクノロジーに対する子どもたちの関心を高めるため、ウエストミンスター・イースト R C とウエストミンスター・ローター・アクトクラブが協力し、小学校でボートをつくるプロジェクトを実施。34 人の児童が 2 日間かけてボートをつくり、ハイドパークの池でボートに乗りました。

ボランティアに費やした時間：200 時間
ボランティアの人数：18 人
寄付金：600 ドル

オーストラリア発：過去 4 年間、ボウルミッタゴン R C が、オーストラリアの国民的クリケット選手、ドナルド・ブラッドマンが育った地で、毎年、ドリームクリケットフェスティバルを開催しています。何百人もの障害児とロータリアン、そして地域のボランティアが、クリケットに関連した活動に参加します。このアイデアは、オーストラリア国内だけでなく、インドとスリランカのクラブや地区にも広がりました。

ボランティアに費やした時間：2 万 8,061 時間
ボランティアの人数：5,759 人
寄付金：19 万 3,092 ドル
寄贈物資：70 万 1,525 ドル



水と衛生



母子の健康



基本的教育と
識字率向上



経済と
地域社会の発展



参加しよう

ロータリーの活動への積極的な参加を通じて、クラブ、地域社会、プロジェクトの発展だけでなく、人前で話す力（パブリックスピーキング）、プロジェクトの管理力、イベントの企画力が身につくなど、自分も大きく成長することができます。また、地元や世界中の人々と交流し、共通の目的に向けて協力して奉仕活動を行うことができます。ロータリーの活動には、無限の可能性があります。いくつかの参加方法をご紹介します。

まずはローカル（地元）で： 地域社会に貢献する

- ・クラブが地元で行っているプロジェクトにボランティアとして協力する。
- ・クラブがスポンサーしているプログラムを手伝う。
- ・地域社会のニーズを調べ、これに取り組む参加型プロジェクトを計画する。
- ・近隣地域のクラブ（インターアクトクラブやロータリークラブも含む）と協同で奉仕プロジェクトを行う。
- ・クラブの目標やプロジェクトの目標を達成するためのアイデアを提案し、率先してそれを実行する。あなたのアイデアが大きなプロジェクトに発展する可能性も。

そしてグローバルに： 世界に目を向ける

- ・ロータリーの国際奉仕プロジェクトに参加する。
 - ・ www.rotary.org の「ロータリーショーケース」でほかのクラブのプロジェクトを閲覧し、地元で実施できる活動のアイデアを得る。
- ・ロータリー財団を支援する。財団への寄付は、世界中で実施されているロータリーの人道的奉仕活動のために役立てられる。
- ・ロータリーの行事に出席し、海外のロータリアンとアイデアや意見を交換する。
- ・地区を訪れているロータリー青年交換学生のホストファミリーとなり、異文化について学び合う。
- ・ロータリー国際大会に出席して、世界中のロータリアンとともに知識を磨く。
- ・ポリオプラスに寄付し、「End Polio Now」（今こそポリオ撲滅のとき）に参加する。わずか 60 セントのワクチンで、一人の子どもを生涯ポリオから守ることができる。





つながろう

ロータリーの素晴らしさは、地元や世界中の人たちと交流し、生涯にわたる友情を築けること。たった一度の出会いが、クラブ同士の大きなパートナーシップへと発展することもあります。

オンラインでつながる

- 自分の関心に合った情報を受け取ったり、同じ関心を持つ会員とつながるために、www.rotary.org で自分のロータリープロフィールを更新する。
- ロータリープロフィールを使って、自分のクラブのプロジェクトや地域社会に関する情報を得る。
- Rotary Voices（ロータリーの公式ブログ）でロータリアンが投稿した記事やエッセーを読む。
- 「ロータリーショーケース」で世界中の奉仕プロジェクトについて学ぶ。または、クラブが実施したプロジェクトを掲載して紹介する。
- www.rotary.org/ja/grants（ロータリー補助金サイト）でロータリーの補助金について学び、国際的なプロ

ジェクトのためのグローバル補助金を申請する。

- ソーシャルメディアを活用して多くの人々に情報やメッセージを発信する。ロータリーに関する話題を広げ、人々に行動を促す。

直接交流を通じてつながる

パソコンを使わなくても、つながる方法があります。また、クラブ例会以外に、ロータリアンと出会う機会はたくさんあります。

- 家族と一緒にロータリーを楽しむ。インターアクト、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、ロータリー青少年交換を子どもに勧め、配偶者をクラブ例会に招待する。
- ロータリー国際大会に出席する。世界中から集まる会員と出会い、楽しみ、ロータリーの活動を広げる方法を学ぶ。
- 旅行先や出張先でほかのロータリークラブの例会に出席する。例会メイクアップは、奉仕の協力者探しや新たな友人づくりに最適な

機会です。

- 異文化について学ぶ。ロータリー友情交換を通じて、海外のロータリアン宅に滞在する。
- ロータリー親睦活動グループまたはロータリアン行動グループに入会する。同じ関心や情熱をもつロータリアンと出会うのに最適な方法です。

そのほかのリソース

- ロータリーの雑誌（日本は『ロータリーの友』）、ウェブサイトの記事、ニュースレターで最新情報、役立つヒント、アイデアを得る。
- shop.rotary.org で、ロータリーが発行している出版物やビデオ、アイテムを注文する。

早速ネットワークづくりを始めよう

ソーシャルメディア
でつながる
[www.rotary.org/
socialnetworking](http://www.rotary.org/socialnetworking)



フェイス
ブック



flickr flickr



リンクトイン



ツイッター



ユーチューブ



ピンタレスト



ブログ



Vimeo



ニュース配信



インスタグラム

クラブを超えて…… ロータリーファミリー

ロータリーはクラブの中だけにとどまるものではありません。奉仕はいつでも始められます。このためロータリーは、青少年や若者が異文化やリーダーシップのスキルを学ぶ機会や、地域社会に貢献したいと考えるあらゆる年齢層の人が参加できる機会を提供しています。ロータリアンは、クラブを通じて以下のようなプログラムをスポンサー（提唱）または企画することができます。

インターアクト ロータリークラブがスポンサー（提唱）する、12～18歳の青少年のためのリーダーシップ養成プログラムです。150を超える国と地域に16,740以上のインターアクトクラブがあり、社会に対する責任感とグローバルな視点をもつ新世代を育てています。

ローターアクト ロータリークラブがスポンサー（提唱）する、18～30歳の若者のためのプログラムです。160を超える国と地域に6,880以上のローターアクトクラブがあり、リーダーシップ、キャリア開発、奉仕を奨励しながら、世界中の地域社会に変化をもたらす若い人材を育てています。

ロータリー地域社会共同隊（RCC） ロータリアン以外の人々からなるグループで、ロータリークラブのスポンサー（提唱）によって結成されます。80を超える国と地域に7,900以上あり、ロータリーと協力しながら、より良い地域づくりのためのさまざまな奉仕活動を行っています。

ロータリー青少年交換 15～19歳の学生が海外で異文化を体験できるプログラムです。1週間の短期留学から1年間（1学年度）の長期留学まで、毎年8,000人以上の学生がこのプログラムに参加し、異文化や多様な考え方を尊重することを学び、国際理解を深めます。

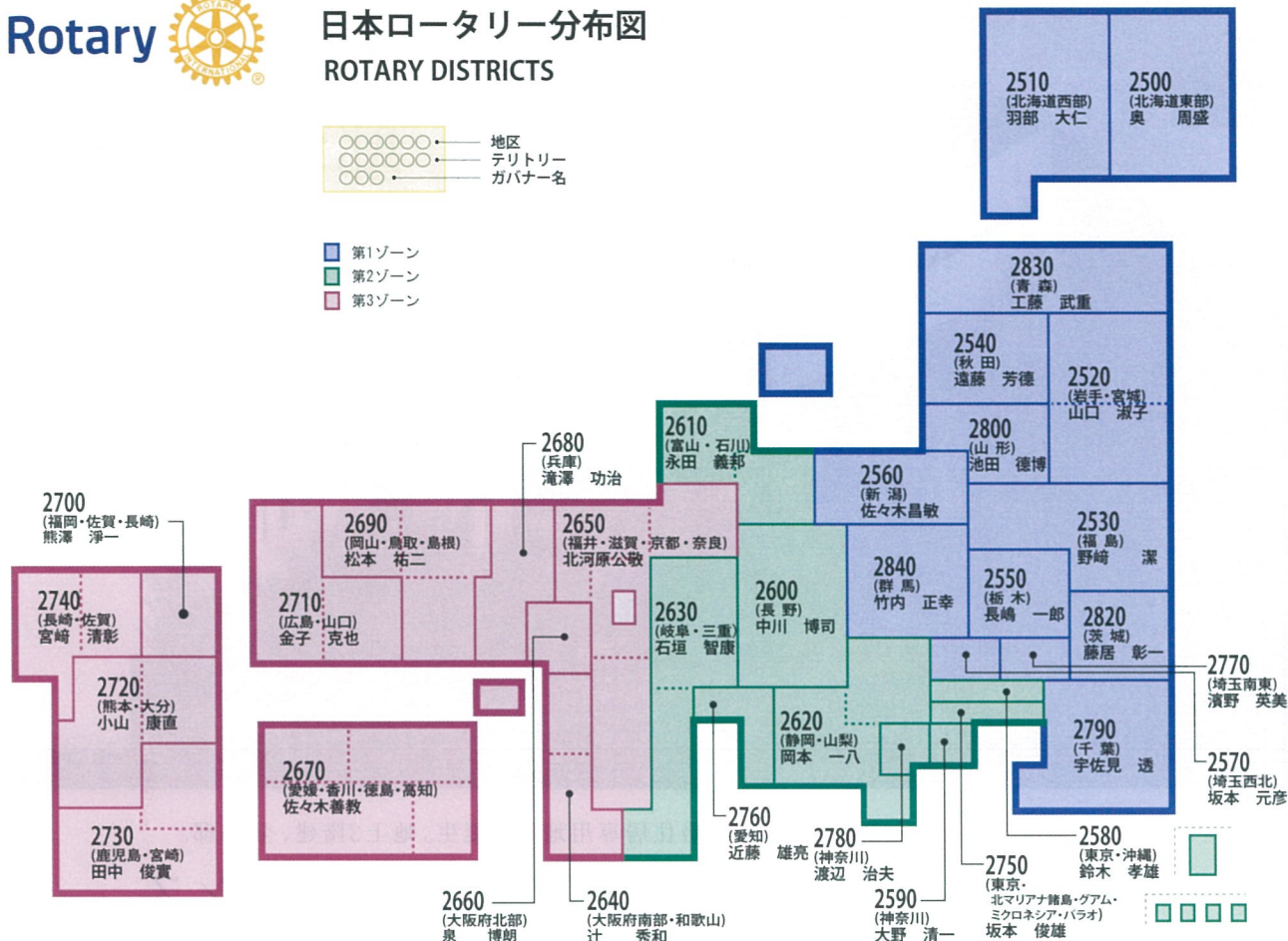
ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA） イベント、合宿、セミナー、ワークショップなどを通じて、青少年や若者が、社会的責任および世界市民としての自覚を養い、リーダーシップを身につけることのできるプログラムです。

ロータリー平和フェローシップ ロータリー平和センターのある大学の修士課程で平和や紛争解決について学ぶためのフェローシップ（奨学金）です。ロータリー平和フェローは、将来、平和の推進や紛争解決に関連するキャリアで活躍するための知識やスキルを身につけます。





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第62巻 8月号

2014年7月31日印刷 2014年8月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■社員 北 清治 (浦和東)
杉谷 卓紀 (玉名)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
坂本 俊雄 (東京八王子南)
渡辺 治夫 (横須賀)
泉 博朗 (大阪帝塚山)

■理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理事 中村 昌平 (東京北)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
細川 好弘 (静内)
島田甲子雄 (上田)
井手 和英 (久留米)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
奥津 勉 (横浜)
森本 行俊 (東京町田サルビア)
横山 武志 (東京北)
高木 洋一 (川崎中)
大澤 成美 (東京臨海)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
高良 明 (川崎西)
船越 豊 (千葉中央)
高野 本男 (甲府)
板橋 敏雄 (足利東)
秋山 一 (東京調布)

■監事

■相談役

■職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
編集 稲川 やよい
黒野 稔二
野崎 恭子
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

積水ハウスの分譲マンション

GRANDE
MAISON
グランドメゾン

グランドメゾン
上原
レジデンス

代々木上原 邸宅の流儀。

この地に刻まれた邸宅の歴史に、
新たな時代を開く。

※外観完成予想CG※掲載の完成予想CGは図面を基に描き起こしたものであり、形状・色味等は実際とは異なります。なお、外観の細部・設備機器・配管・照明機器等および周辺建物・電柱・架線・標識等は一部省略・又は簡略化しております。植栽は計画段階のものであり、変更になる場合がございます。また葉の色合いや枝ぶりや樹形は想定であり、竣工からの初期の生育期間を経た状態のものを描いております。

東京都渋谷区上原二丁目、第一種低層住居専用地域に誕生。地上3階建、全15邸。

〈新築分譲マンション〉グランドメゾン上原レジデンス

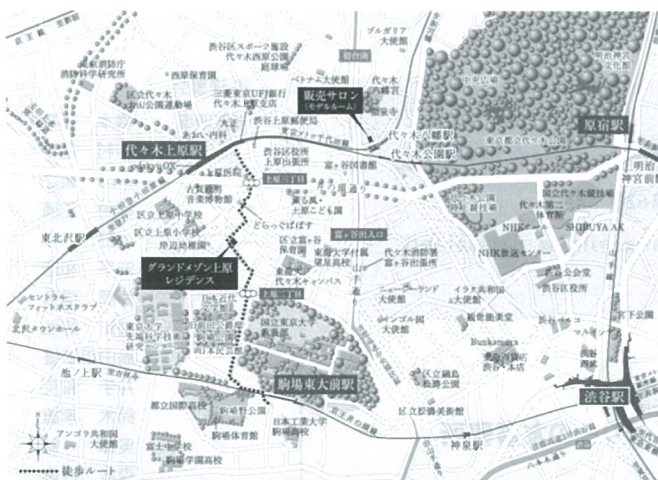
小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅徒歩7分。「新宿」駅へ直通4分^{注1}、「表参道」駅へ直通5分^{注2}の良好な都心アクセス。



Living Dining Room

※掲載の写真は、モデルルームGタイプ（分譲済）を撮影（平成26年4月）したもので、実際とは異なります。また、有償オプション・カラーセレクト・設計変更（いずれも申込期限有）が含まれています。なお、家具・調品等は、価格に含まれておりません。

モデルルーム公開中（予約制）



販売サロン（モデルルーム）・現地案内図 駐車場のご利用はございませんのでございませんで、公共の交通機関をご利用下さい。

■「グランドメゾン上原レジデンス」全体概要 ●所在地／東京都渋谷区上原二丁目117番59（地番）●交通／東京メトロ千代田線・小田急小田原線「代々木上原」駅徒歩7分、京王井の頭線「駒場東大前」駅徒歩12分●用途地域／第一種低層住居専用地域●地目／宅地●建ぺい率・容積率／60%（角地緩和により70%）・150%●敷地面積／955.09㎡●建築面積／615.35㎡●建築延床面積／2,216.76㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階建●総戸数／15戸●建築確認番号／BCJ13本建確154号（平成25年10月9日）●分譲後の権利形態／敷地・専有面積割合による所有権の共有、建物・専有部分は区分所有権、共用部分は専有面積割合による所有権の共有●管理形態／区分所有者全員による管理組合を結成し管理会社・積和管理株式会社●建物竣工時期／平成26年12月下旬予定●入居（引渡）予定時期／平成27年1月下旬予定●売主／積水ハウス株式会社 東京マンション事業部 国土交通大臣（14）第540号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟〒160-0023東京都新宿区西新宿1-20-2ホウライビル5階TEL03-6302-3611●設計・監理／株式会社宮川憲司建築事務所●施工／東急建設株式会社 ●先着順販売概要 ●販売戸数／4戸●販売価格／7,500万円・13,600万円・15,900万円・18,000万円（各1戸）●間取り／1LDK・3LDK●専有面積／54.92㎡～114.03㎡●バルコニー面積／11.39㎡・11.71㎡●ルーパバルコニー面積／18.48㎡・21.09㎡●管理費（月額）／19,200円～39,900円●修繕積立金（月額）／8,200円～17,100円●修繕積立基金（引渡時一括）／656,000円～1,368,000円●町会費（月額）／125円●駐車場／総戸数15戸に対して機械式駐車場9台（月額使用料39,000円）●自転車置場／総戸数15戸に対して15台（月額使用料400円）●トランクルーム／3区画<3.73㎡～4.52㎡>（月額使用料7,500円～9,000円）※販売戸に対応●先着順申込受付時間／10:00～18:00（火・水・木・金・土・日・祭日）●先着順申込受付場所／グランドメゾン上原サロン※お申し込みの際には、ご印鑑（認印）、ご本人様確認書類（運転免許証、保険証、パスポート等）、平成24年・25年分の収入証明書（源泉徴収票等）または、平成23年・24年・25年の確定申告書の写しが必要となります。●広告表示の有効期限／平成26年8月末日※先着順申込受付のため、販売済みの場合はご容赦ください。※掲載の情報は平成26年7月31日時点の情報です。※掲載の所要時間は日中平常時のものであり時間帯により多少異なります。また、乗換・待ち時間は含まれておりません。注1小田急線区間準急利用（通勤時は急行利用）（通勤時5分）注2東京メトロ千代田線利用、（通勤時5分）

0120-171-221

◎10:00～18:00（大・水・木・金・土・日・祭日）
※携帯電話・PHSからも通話可能です。

GM上原レジデンス

検索

（売主）

SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社



人生に、
唯一の
プラチナ。

プラチナゲート(メインエントランス)完成予想図

積水ハウスの分譲マンション



港区白金プラチナ通り初^{※1}守衛の杜に澄む超高層レジデンス。

グランドメゾン白金の杜 ザ・タワー

資料請求受付中 モデルルーム案内会開催中 [完全予約制]



プラチナ通りから現地方向を望む外観完成予想図

「長期優良住宅」に認定

耐震性や耐久性、変換性、バリアフリー対策など国が掲げる9つの
厳しい認定基準をすべてクリア。
※40-Aタイプ(専有面積55㎡以下)は除かれます。

ハイブリッド免震・制震構造

揺れを大幅に低減する免震構造に、地震のエネルギーを吸収する制震
装置を付加した2重の構造システムを導入。

安心の5段階セキュリティ

外周にセキュリティラインを築き、メインエントランスには守衛室を。
敷地から住戸までを5段階に守る防犯性。



3駅6路線利用可 | 白金台 [東京メトロ南北線 / 都営三田線] / 広尾 [東京メトロ日比谷線] / 恵比寿 [JR山手線 / 東京メトロ日比谷線 / JR埼京線 / JR湘南新宿ライン]

※1 プラチナ通りに接する超高層(20階以上)の分譲マンションは現在及び過去30年(1983年~2013年3月15日 有限会社エム・アール・シーの補足・調査物件対象)において初となります。※掲載の完成予想図は、図面を
基に描きおこしたもので、実際とは多少異なります。なお、外観形状の細部、設備機器等は表現していません。また、敷地周辺の標高、建物等につきましても一部省略しております。※掲載は現時点でのものではございません。

■「グランドメゾン白金の杜 ザ・タワー」全体概要 ●所在地/東京都港区白金6丁目353番3(地番) ●交通/東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅徒歩10分、東京メトロ日比谷線「広尾」駅徒歩13分、JR山手線・JR埼京線・JR湘南新宿ライン・東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅徒歩15分 ●敷地面積/6,889.07㎡ ●建築面積/1,883.54㎡ ●建築延床面積/40,152.01㎡ ●建ぺい率・容積率/60%・400% ●構造・階数/鉄筋コンクリート造 地上30階・地下1階・塔屋1階 ●用途地域/第1種住居地域・準工業地域 ●建築確認番号/BCJ13本建確026室1(平成25年10月2日付) ●総戸数/334戸 ●駐車場/総戸数334戸に対して168台(月額使用料:37,000円~45,000円)・身障者用平面駐車場1台(月額使用料:45,000円)・来客用平面駐車場3台・管理用平面駐車場1台 ●自転車置場/総戸数334戸に対して346台(内レンタサイクル用12台)(月額使用料:300~500円) ●バイク置場/12台(月額使用料:3,000円) ●トランクルーム/78区画(月額使用料:8,000円) ●その他施設費用/SESシステム利用料・町内会費1,497円 ●分譲後の権利形態/敷地:専有面積割合による所有権の共有 建物:専有部分は区分所有権、共用部分は専有面積割合による所有権共有 ●管理形態/週7日、24時間有人管理体制(管理員・夜間警備員交代含む)区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に委託 ●管理会社/積和管理株式会社 ●竣工予定時期/平成27年6月中旬予定 ●入居(引渡)予定時期/平成27年7月末日予定 ●売主/積水ハウス株式会社 国土交通大臣(14)第540号・(一社)不動産協会 会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 〒160-0023東京都新宿区西新宿1-20-2 ホウライビル5階 東京マンション事業部 ●設計・監理/大成建設株式会社一級建築士事務所 ●施工/大成建設株式会社

お問い合わせは 0120-818-334 営業時間 10:00~18:00 (火・水曜定休)

GM プラチナ

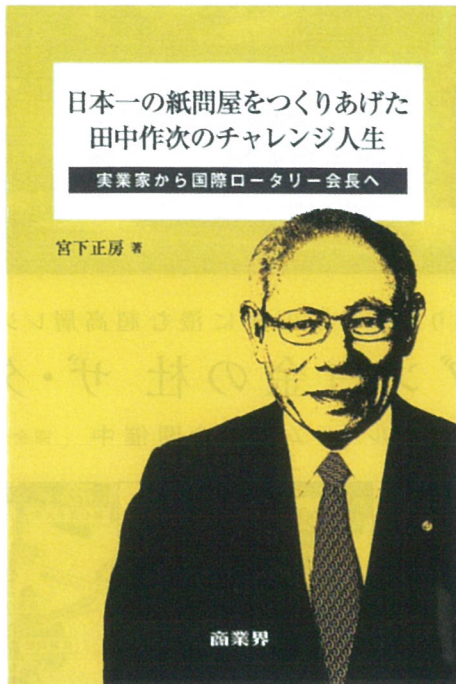
検索



(売主)
積水ハウス株式会社

「生業店」から日本屈指の「卸企業」へと 成長させたリーダーのあしあと

ロータリーと
実業を両立させた人間・
田中作次の思想、姿勢を、
流通学の権威が初めて明かす



宮下正房 著 定価1,000円(税込み)(本体価格926円)送料300円・四六判上製・196頁

著者プロフィール 東京経済大学 名誉教授 (公財)流通経済研究所 名誉会長。1936年 長野県生まれ。早稲田大学商学部卒業、同大学大学院商学科退学。流通経済研究所、流通政策研究所などで流通問題の調査研究に従事。1985年 東京経済大学経営学部教授に就任。学生部長、経営学部長、副学長などを歴任後、東京経済大学名誉教授に就任、現職に至る。(同)マーケティング・コンサル・オフィス理事長も務める。「日本の問屋」(日本経済新聞社)、「現代の流通戦略」(中央経済社)、「卸売業復権への条件」(商業界)などの著書多数。

本書の内容

第一部 実業家・田中作次のチャレンジ人生 ——日本一の家庭紙卸売経営者へ

- 第一章 作次少年の集団就職と田中紙店との出会い
- 第二章 二代目経営者・田中作次の登場
- 第三章 田中紙店、成長への基盤づくり
- 第四章 成長飛躍へのマーケティング戦略
- 第五章 日本一家庭紙卸売業の実現と人材育成方針
- 第六章 創立六〇周年への各界からのメッセージ
- 第七章 「ダイカ」「あらた」への統合・飛躍
- 第八章 実業家田中作次からのメッセージ
——経営者としての人生哲学

第二部 ロータリアン。 田中作次のチャレンジ人生

- 第一章 実業家とロータリアンの二足のわらじ人生へ
- 第二章 地区ガバナー田中作次の方針とメッセージ
- 第三章 ロータリーの世界的貢献と田中作次のチャレンジ
- 第四章 ついに世界トップの座へ
- 終章 田中作次・宮下正房
田中作次六〇年の人生を顧みて 一今思うこと一

FAXで
ご注文いただけます

下の申込書に必要事項を記入の上、
FAX送信してください。



お近くの郵便局から
お申込みいただけます

郵便局備え付けの郵便振替用紙をご
利用下さい。郵便局より通知が到着
次第の発送となります(5~10日位)。
振替用紙の通信欄にご希望の部数
をご記入下さい。

一括ご購入の場合の送料

2冊~4冊 → 送料:900円
5冊~30冊 → 1個口:1,300円

※30冊で1個口納品となります。
(例)50冊なら2個口:2,600円、70冊なら3個口:3,900円

FAX申込書

お申込み専用フリーダイヤル
FAX ☎0120-463-346

DM

⚠ このまま切り取らずFAXしてください

申込部数	日本一の紙問屋をつくりあげた田中作次のチャレンジ人生 ()部		
商品送付先	会社名	郵便番号	
	部署名		
	ご担当者名(フリガナ)	ご住所	
	電話	FAX	

●ご記入いただいた個人情報宛に、小社の各種案内をお送りすることがあります。送付を希望されない場合には、□に✓印をご記入ください。 □ 希望しない

お問合せ先▶商業界販売部 ☎03-3224-7478 東京都港区麻布台2-4-9 E-mail ☐ hanbai2@shogyokai.co.jp

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



「雷鳥の親子」(富山県)
撮影 小田 敬介 (2700 八幡西)

ここは、富山県の北アルプス立山連峰。三千メートル近い立山(雄山)・大汝山・富士ノ折立の縦走途中に現れた雷鳥親子は、すぐそばまで近づいても逃げ出そうともしない。驚きながら、息をひそめて一メートルまで接近して撮影した貴重な一枚。

「おそらくヒナは生まれてまだ数日しか経っていないように思えた。ハイマツと岩の間をヨタヨタ歩くヒナを母鳥が心配そうに見守っていたのがとても印象深かった」

と、小田敬介氏は言う。

雷鳥親子は向き合って何かひそひそ語り合っているような風情――

〈一人で勝手に歩いちゃダメよ〉

〈ごめんね、お母さん〉

「母鳥とヒナの会話が聞こえてくるようで、そんな光景を兄弟ヒナがハイマツの蔭からじっと見守っているのがとても面白く、人間の世界に通じるものを感じるシーンだった」と。

いま、わが国に生息する雷鳥はわずか三千羽といわれる。小田氏は、まことに貴重な遭遇をしたが、残念なことに、まもなく天候が一変し、雷鳴とどろく風雲となり、濃霧におおわれてしまふ。

「まったくサンダーバード(雷鳥)というわ

けで、〈雷鳥に出会うと雷が鳴り出す〉とよく言われる通りになってしまい、雷鳴におびえながら急ぎ足で下山した」

と、小田敬介氏は言う。

*

雄大な山容を大空に突き上げてかがやきわたるマッターホルン。絶壁の尖峰をなして海拔四四七七メートル。スイスとイタリアの国境にそびえるアルプス山脈の高峰として名高い。

イタリア側から見るマッターホルンはさほどでないが、スイス側からはすばらしいのひと言につきるという。左側が東壁で、このヘルンリ稜と呼ばれる左側の稜線を一般の登山客は登って行く。

この写真について、写真家の白旗史朗氏はこう言う。

「アマチュアとしては見事というしかない撮影。プロだと、もっと、ぐっと引きつけて超望遠で撮ることになるが……」と。

多くの登山家に多大な影響を与えた白川義員氏の「ヒマラヤ」の出発点は、このマッターホルンとの出会いで、これまでの写真では見つからなかった新しいアングルや高度や稜線が見事に表現されていた。

アルプスの最高峰はモン・ブランの四八〇七メートルで、一步をゆずるが、その特異な尖峰は名高く、難攻不落とさえいわれ、多くの登山者を退けてきた。初登頂はイギリスのエドワード・ウィンパーで、一八四〇年ロンドンで生まれた。七度の登頂を試みて、いずれも失敗し、八度目の挑戦となった一八六五年七月十四日、ようやく初登頂の榮譽にかがやいた。

このすばらしい一枚を撮影した浅香收氏は、二〇一一年七月二十九日から八月八日までイタリア・ミラノからスイスのサン・モリッツ、ツェルマットを経てイタリアへの旅の途中であつ



「晴天のマッターホルン」(スイス)
撮影 浅香 收 (2640 堺南)

た。

「ツェルマットに宿泊したとき、すばらしい天気にもぐまれた八月二日の早朝、めったに見ることが出来ないマッターホルンの朝焼けを見て、七時ごろ雲一つない大空にそびえるすばらしい写真を撮ることができました」

と、浅香收氏は言う。(ジャーナリスト)

表紙写真公募審査結果

掲載月および撮影者

(敬称略)

八月号	浅香 收 (二六四 堺南)
九月号	小田 敬介 (二七〇 八幡西)
一〇月号	井上 秀夫 (二六五 亀岡)
一一月号	井上 秀夫 (二六五 亀岡)
一二月号	麻生 繁 (二五九 横濱西)
一三月号	福田 幸太 (二六九 出雲)
一四月号	豊島 泰之 (二七七 浦和東)
一五月号	浅岡 謙治 (二七六 岡崎東)
一六号	井出 隆之 (二七一 松永)
一七号	河野 康志 (二七一 山口)
二〇一五年	
一月号	吉川 正宏 (二六二 静岡中央)
二月号	長田 達明 (二六一 魚津西)
三月号	千野 哲男 (二六〇 上田東)
四月号	渡辺 道雄 (二五七 鶴ヶ島)

※三六月号の表紙写真を再募集いたします。詳細は本誌横組み三八ページをご覧ください。

除細動器)操作」を、勇気を持って正しく行えるよう実習することです。

開始から前年までに六五四回の講座を開き、受講した中学生は一万九百九十六人となります。対象は、市内の全公立中学校四八校を中心に計五〇校。参加した生徒の反応は「YES WE CAN」。引率の先生より上手にマスターする生徒も多く、素晴らしい成果を挙げています。多くの生徒が「AEDは自分には難しいと思っていましたが、訓練すれば意外と簡単です。自分でも使えると思うとうれしいです」と答えてくれました。

三二年にわたる社会奉仕事業

大阪城東ロータリークラブ

第二六六〇地区 大阪府

「第三二回日本ライトハウスチャリティコンサート」が四月二〇日、大阪市で開かれました。主催する社福)日本ライトハウスは視覚障がい者を支援しており、コンサートの収益も盲導犬育成に役立てています。当クラブは社会奉仕事業として、第一回からこのコンサートに協賛しています。

二〇一三—一四年度は、会長方針



会場内では盲導犬と触れ合う機会も

として「地域との関係強化」を掲げており、全国大会で優秀な成績を収めている地元中学校の吹奏楽部から五七人を招待。また、米山奨学生や青少年交換学生らも招き、会員一九人と関係者を含め、一〇〇〇人を超える来場者がありました。今回は、イギリスからソプラノ歌手、シャーロット・ド・ロスチャイルドさん、全盲のバイオリニスト、和波孝禧氏を迎え、管弦楽は千里フィルハーモニア・大阪による演奏でした。福山信也会長(当時)らのあいさつの後、コンサートは澤和樹氏の指揮で、行進曲『威風堂々』作品三九より第一番から始まりました。割れんばかりの拍手の中、幕が下ろされましたが、「感動した」「素晴らしい」という言葉があちこち

らで聞かれました。

中学生たちも感動した様子で、後日届いた全員の感想文には「自分たちが視覚障がい者との隔たりを除き、勇気づけていきたい」といった内容も多く見られました。

生演奏を体験してもらい、意欲や技術の向上に役立てば、と思っていました。中学生たちが障がい者への理解を深め、優しい気持ちを持つてくれたことはうれしい限りです。来場者が同じ思いで演奏を聴き理解を深めてくれれば、青少年育成や地域社会への奉仕に役立つことでしょう。今後もコンサートを支援していきたいと思います。

(黒松克行・記)

内外よるす案内

ロータリー全国囲碁大会を開催

東京立川こぶしRC 新藤 信之

国際ロータリー承認の親睦活動グループである、ロータリー囲碁同好会(GPFR)は、東京都内で第三回「ロータリー全国囲碁大会」を開催します。三クラス制・計時制の早碁戦。大会参加はメークアップにもなり、入賞者は来年五月に東京で開催されるロータリー国際囲碁大会に優先的に出場できます。ご家族の参加も歓迎します。

◇日時 一〇月二一日午前二時から
◇会場 日本棋院会館(市ヶ谷)
◇登録料 七〇〇円
希望者は所属クラブ事務所を通じて、地区・クラブ・氏名・年齢・段級位を明記し、大会事務局(☎〇三—三四五二—一六五二)にお申し込みください。
詳細は、当会ホームページへ。
<http://www.gpfr.jp>

Annotation

ロータリー地域社会共同隊
(Rotary Community Corps = 略称RCC)

ロータリアン以外の人から成る、ロータリークラブ提唱の組織です。RCCの隊員は、提唱クラブの指導の下、地元地域における生活の質を改善するために、自らのスキルを生かして活動します。プロバスケット (Probus Club) プロバスというのは、専門職 (Professional) のプロと、実業 (Business) のBusからの造語。国際ロータリー (RI) の公式プログラムではありませんが、RI理事會が地域社会の高齢者に対する活動として推奨する組織です。

ロータリー公園の 第三五回清掃活動

高鍋ロータリークラブ
第二七三〇地区 宮崎県

四月二四日朝六時四五分、会員の経営するレストランで腹ごしらえ。しばしの休息の後、歩いて高鍋町のロータリー公園（松原児童公園）に向かった。それぞれスコップや熊手などを手に作業服姿。中には長靴で刈り払い機持参の会員も。約一時間の清掃・除草作業後、三〇以上のごみ袋がいっぱいになった。見違えるように整った公園を前に、全員がすがすがしさと達成感を味わった。

さてこのロータリー公園、竣工してから三五年、クラブ創立の三年後



恒例の公園清掃に汗を流す会員たち

に実現した社会奉仕活動である。以後、毎年この時期に清掃活動を行ってきた。公園入り口の碑文には、当クラブが主導して、南九州大学、高鍋町の三者の協同によってつくられたことが記されている。

早朝にもかかわらず、参加者は全員の八割、年齢は三六歳から九一歳までの三八人に及んだ。うち七人は創立以来の会員である。

（岡島達雄・記）

温故知新！ 奉仕の継続を目指して

松戸西ロータリークラブ
第二七九〇地区 千葉県

五月一四日の例会終了後、みんなが松戸市にある「矢切の渡し」のベンチ修復、ニス塗り作業を行った。

東京からみると、「矢切の渡し」は千葉県の入り口にあたり、いわば玄関ともいえる場所である。その景観を大切に、往来の人たちに休んでいただけるよう、クラブでは二〇〇九年五月、「矢切の渡し」にベンチを寄贈。塗装から組み立て、設置までみんなで協力して成し遂げた事業であった。それから五年が経過し、ベンチは汚れ、ニスは剥がれ、色あせてしまった。そこで、当時のクラ



寄贈したベンチの修復に汗を流す会員たち

ブの考えを踏襲し、引き続きベンチを使っていただけるよう修復した。

かつてのように、寄贈はできなくても、会員の手により修復や補修を行い、考えを引き継ぐことはできる。当時を知らない会員も、修復に参加することで、奉仕を継続させていくことができる。今後も、奉仕が終わることのないよう、継続を目指していききたいと、クラブでは考えている。

（山本衛・記）

継続二〇年、中学生の ための救急蘇生講座

浜松南ロータリークラブ
第二六二〇地区 静岡県

クラブでは一九九五年に発生した阪神・淡路大震災の教訓と、公立中

学校の週休二日制導入を受け、全国に先駆けて土曜日の学外研修として行われる「中学生のための救急蘇生講座」に協賛し、今年度で二〇年になります。年間五〇回の講座を開き、今年は五月一〇日に開始。当日は生徒三八人、教師六人が参加しました。この講座は浜松市医師会を中心に、浜松救急医学研究会、市教育委員会などが一体となって進めており、当クラブはテキストの作成、備品購入などを支援し、会員も訓練に参加しています。

目的は病院の外（自宅や学校など）で発生したスポーツ中の突発事故や災害、突然倒れて心臓停止状態になった傷病者に遭遇したとき、救急車が到着するまでの「心肺蘇生（心臓マッサージ）」「AED（自動体外式



真剣な表情で講習を受ける中学生たち

れに対し、市から感謝状を受けた。

市担当者のお話では、最近ではスギやヒノキに替わり、ヤマモミジやヤマザクラなどの落葉樹が植樹に採用される傾向にあるとのこと。その理由は、落葉樹は根を広く四方に張り、山崩れなどの土砂災害に強く、また落ち葉が年を追うごとに堆積し、保水性がスギやヒノキよりも良いとのことであった。

最後に、私たちが二十数年前に植えたスギやヒノキも立派な成木となり、青々とした森林となっていると聞き、会員皆、満足感に浸った。

(村田悦男・記)

春の「海の森」 植樹まつりに参加

東京中央ロータリークラブ

第二七五〇地区 東京都

三月二十九日、東京都が進める東京湾埋め立て地の緑化プロジェクト「海の森」で開催された、春の「海の森」植樹まつりに参加した。晴天に恵まれ、クラブ環境保全委員会の熊谷春水委員長のもと、会員一六人と家族八人、当クラブがスポンサーをする中央大学ロータリーアクトクラブから七人が参加し汗を流した。

午前九時一五分に集合し、マイ

クロバスで「海の森」に移動し、

三〇〇本の苗木を植樹。現地ではアンケートにも協力した。植樹まつりには二十九日に三〇団体六五〇人、三〇日に四団体一四一人が参加したが、ロータリーは当クラブだけだった。

このプロジェクトは、ごみと建設地で発生した土で埋め立てられた東京湾上の土地に苗木を植え、美しい森に生まれ変わらせる計画だ。苗木づくりから植樹、森の育成までを都民や企業との協働で行う市民参加型のプロジェクトであり、クラブは当初から都などが行う「緑の東京募金」に協力し、ドングリからの苗木づくりボランティアへの参加や植樹の手伝い、寄付などを行ってきた。二〇一六年の完成に向け順調に工事が進み、既に多くの生物が確認され、



オリンピック会場にもなる埋め立て地に植樹

少しずつ多様性に富む森への兆候も見られている。

二〇二〇年の東京オリンピックでは、この「海の森」公園が四種目の会場に予定されている。資源循環型の森づくりを行い、美しい「水と緑の都」東京を復活させ、次代を担う子どもたちに引き継ぐことに、ロータリアンとして協力していきたい。そして、このムーブメントをロータリー活動として広め、ロータリアンのつながりを深めていきたいと考えている。

(武笠和夫・記)

桜の名所で中学生と 清掃ボランティア

広島安佐ロータリークラブ

第二七二〇地区 広島県

桜の花もすっかり散った四月十九日、広島市の比治山公園で、近隣の市立段原中学校の生徒五〇人とともに、花見の宴の後で散乱したごみの収集、園内トイレの清掃活動を行いました。

当日集まった会員は作業着上下の本格的な清掃スタイル。首にタオルを巻いた者、厨房用エプロンに帽子などさまざま。会員をリーダーに中学生とチームを組んで、指定した現

場へ。道路下には投げ捨てられたごみがいっぱい。安全に留意しながらの作業を二時間行いました。

閉会式では、段原中学校の校長先生が生徒に対し「全校の一角が参加してくれました。きつといい汗をかいたことでしょう。また、みんなの心もすがすがしいことでしょう」とあいさつ。さらに私たちに「何よりロータリークラブからお声がけしてくださったことがうれしいです。今後何かありましたら、お手伝いさせてください」と、うれしい言葉をくださいました。

ちなみに、当クラブではこの二年間、比治山公園のトイレに、トイレトペーパーを補給する活動も行っています。

(三宅恭次・記)



中学生たちと一緒に公園清掃



力士たちの登場に子どもたちは大喜び

撲を取ってもらうことにしました。

当日、子どもたちは大きな力士を見てびっくり、四股を踏む姿を見てびっくり、列を組んですり足をする様子を見てびっくりと、ずっと目を丸くしていました。一つひとつの動作に拍手の音がだんだんと大きくなっていくのと、掛け声が大きくなっていくのが、とても印象的でした。

最後に力士と一緒に写真を撮りましたが、引っ込み思案だった子どもが走ってきて、力士に「抱っこして」とせがんでいました。これには先生も驚いたようでした。後から何うと、「あんなに積極的なところを見たことがなく、心に良い影響を与えた結果だと思えます」と話してくれました。力士に抱っこされて写真を撮っていた情景は、今なお忘れられませ

ん。今回は、体力育成の一助だけではなく、いろいろな可能性を発見する助けとなった一日でした。

自殺予防フォーラムを開催

小林ロータリークラブ

第二七三〇地区 宮崎県

三月二〇日、ロータリー財団の地区補助金を活用し、自殺予防フォーラム「命を守る一〇〇〇人の集い」を主催しました。

財団学友によるピアノとフルートのミニコンサートで幕が上がりました。自殺という重いテーマを扱うフォーラムでしたが、このコンサートにより、会場の雰囲気は和らいだものとなりました。

講師の巧みな進行のもと、当クラブやNPO法人、小林保健所、小林市の自殺防止への取り組み報告を交えながら、参加者一人ひとりが命を守る大切さを学ぶ貴重な機会となりました。一〇〇〇人に及ぶ参加者で熱気を帯びたフォーラム、最後は当クラブ提唱のロータリー地域社会共同隊(RCC)「子うさぎ文庫」の会員による自殺防止宣言文の朗読で閉会しました。

当日参加してくれたプロバスクラ



講師の話を熱心に聞く参加者たち

ブの会員、インターアクター、入場整理に駆けつけてくれたロータリーアクター、フォーラムに携わってくれた財団学友や子うさぎ文庫の会員。これまで当クラブが地域で育んできたロータリー活動の重みを肌で感じることができた一日となりました。

(花田武浩・記)

熊本市の水源涵養林植樹

熊本江南ロータリークラブ

第二七二〇地区 熊本県

熊本市は日本有数の地下水大都市、その源流は白川の上流、阿蘇外輪山にある。しかし近年、地下水が枯渇し始め、池泉回遊式庭園で有名な水前寺公園(水前寺成趣園)の水位も下

がり、底が見え始めている。こうした現状を憂慮し、クラブでは一九九〇年の創立二〇周年時に記念事業として、以降は社会奉仕活動の一環として熊本市と協力し、阿蘇外輪山の水源涵養林植樹を続けている。

前年度は三月八日に当クラブ会員一八人と、活動に賛同してくれた熊本ロータリークラブから二五人、熊本中央RCから三七人が参加。会員とその家族、さらにロータリーアクターを加え、総勢約一〇〇人が、熊本市の水保全課の指導のもと、ヤマモミジ三〇〇本を植えた。山の急斜面に鍬で穴を掘り、約二時間にわたり作業を行った。

また、植樹に先立ち、当クラブをはじめ参加クラブから三〇万円を、苗木代として熊本市に寄付した。こ



ヤマモミジを植える参加者たち



自分の判断能力を測定する参加者たち

三世代の交流と認知症 サポーターの養成講座

姫路西ロータリークラブ
第二六八〇地区 兵庫県

わがクラブの創立四五周年記念事業の一つとして、四月二日に姫路市内の特別養護老人ホーム・大津みやび野ホームで、三世代の交流と絆の中から今後の高齢化社会の問題点に対して取り組んでいきたいと考え、「ふれ愛まつり 認知症サポーター養成講座」を開催しました。

当日は、前日にオープンしたばかりのこの施設の見学や「いきいき百歳体操」の紹介、福祉・介護用品各種の展示コーナー、介護相談コーナーを設け、三世代ふれ愛ゲームコー

ナーでは、今の自分の反射神経や判断能力を楽しく測定体験しました。

認知症サポーター養成講座では、子どものクラスを含め地元の方々約一七〇人が認知症の症状や予防法、対処の仕方などを学び、受講後、サポーターの証として身に着ける「オレンジリング」を受け取りました。

子どものクラスに参加した児童は「おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんがもし認知症になったら、僕がサポートをしてあげなくては、という気持ちになりました」と話してくれました。姫路市だけでなく、全国的な高齢化社会をどのように支えていくか、さまざまな福祉制度や、介護サービスなどの知識を身に付け、理解してもらう一日になったのではないのでしょうか。

恒例の児童福祉施設訪問

堺ロータリーアクトクラブ
第二六四〇地区 大阪府

四月五日、堺ロータリーアクトクラブ（RAC）の毎年の恒例行事、児童福祉施設訪問を行いました。

昨年一〇月の「堺まつり」で開催したチャリティーバザーの収益で購入したおもちゃと、スポンサークラ

ブである堺ロータリークラブ（RC）の竹山嘉平会員からいただいた花を持って、子ども家庭支援センター清心寮、児童養護施設の愛育社と東光学園、泉ヶ丘学院を訪問しました。

四月にもかかわらず寒い日でしたが、子どもたちはみんな元気で、一緒にドッジボールやシャボン玉をして、本当に楽しそうに遊んでくれました。施設の方から「休日に、こうしてアクトの人が来て遊んでくれるのは本当にありがたい」と言っていたきました。理由を伺うと、施設にいるのは、諸事情で親と暮らせない子どもで、休日はどうしてもそのことを思い出して暗くなってしまう

一年でたった一度しか顔を合わせなくても、子どもたちはちゃんと私



恒例となった訪問で、子どもたちと交流

たちを覚えてくれています。楽しみに待っていてくれると思ううれしくて、胸が熱くなりました。

当日は堺RCから会員三人が参加してくださいました。児童福祉施設訪問が行えるのはロータリークラブの協力のおかげです。毎年子どもたちの笑顔に癒やされています。来年また会えるのが、今から楽しみです。

子どもたちの笑顔

吹田西ロータリークラブ
第二六六〇地区 大阪府

三月二五日、吹田市立こども発達支援センターから、スロープが老朽化し大変危険な状態であるとの相談を受け、これを寄贈しました。スロープは高さ約三〇センチで、三輪車で上り下りできる程度のものですが、同センターに通う子どもは体力面で支援が必要のため、必要不可欠な用具だそうです。予算が厳しい中、子どもたちのため一生懸命努力する先生方の一助になればと考えた上での支援でした。

寄贈式で、子どもたちが一番喜ぶことは何かと考えた結果、大相撲大阪場所に合わせて来ていた木瀬部屋の力士たちを招き、子どもたちと相

よう世界の心と輝くスマイル」を実感できました。

(佐藤聡・記)

VTTプロジェクト 医療研修チーム海外派遣

第二七六〇地区

愛知県

地区職業研修チーム委員会は三月八・二二日、フィリピン第三七八〇地区のケソン市に医療研修チームを派遣し、現地の医療関係者に手術の技術指導を行ってきました。

地区では過去三年間、未来の夢計画パイロット地区として、グローバル補助金を使ったVTT（職業研修チーム）事業を行っており、これで四回目。今回は実際に医療を行う初の試みで、そのために現地の臨時医療許可を取得し、保険に入り、研修を行う市立総合病院や市と覚書（MOU）を交わすなど、新たな手続きが必要でしたが、市長がロータリアンという幸運に恵まれ、何とか間に合わせることができました。

また、現地のVTT委員長やガバナー、各クラブ会員が熱心にサポートしてくれました。名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学分野の竹山廣光教授をリーダーとする派



現地で開催したシンポジウム

遣メンバー六人も、強じんな忍耐力と熱心な指導で、現地医療関係者の知識・技術の向上に多大な成果を挙げてくれました。手術は当初の予定を大きく超える二二症例に達したほか、二日間のシンポジウムや二度の公開手術、地元テレビ局への生出演など、内容豊富な研修となりました。

田中正規ガバナー（当時）も三月一五・一八日に視察訪問し、各種セミナーへの出席や交流に大忙しでした。昨年一月月に起きた台風ヨランダの被災者に対する、第三七八〇地区の支援事業「ロータリー・ケア・センター（ROTARY Care Center）」に、当地区から五〇〇万円を支援したことに加え、今回の事業で両地区の縁と友情は確かなものになりました。一年以上の準備を経て、担当委

員長として参加できたのは幸せなことでした。

(名古屋和合RC 福田哲三・記)

地域で認知症の方を支えるために

砂川ロータリークラブ

第二五一〇地区 北海道

「同じことを繰り返して話す。人の名前を思い出せない。置き忘れやしまい忘れなどは、軽い認知症の始まりです」

高齢化とともに認知症も増え、患者と家族をどう支えるかが社会問題になっていることから、四月一九日、地区第二グループのインターシティミーティングの記念として、当クラブ主催の講演会「地域で認知症の方を支えるために」を開催した。

当日は一般公開とし、来場した市民九二人を加え、総勢二二〇人が聴講した。講師は砂川市立病院認知症疾患医療センター長の内海久美子氏。内海氏は二〇〇四年に物忘れ専門外来を開設、その後、「中空知・地域で認知症を支える会」のNPO法人化をはじめ、医療、介護、行政とのネットワークづくりに取り組んでいる方である。

講演の前半には、認知症とは何



認知症の方を地域で支えるため、講演会を開催

か、なぜ起こるのか、予防できるのか、といった話に続いて冒頭の言葉があり、会場の空気が重くなったように感じられた。後半は、患者や家族を支えるには病院、介護、行政がネットワークをつくり、町内会や近所での気付き合いが必要であると強調。事例として、市の「高齢者いきいき支え合い条例」を用いて情報を町内会に提供し、孤独死防止の見守り活動が行われていることなどが紹介された。待ったなしの高齢化社会、増える認知症患者、家族の限界、住み慣れた地域で生活したい思いもあり、地域のボランティアの活用も提案していた。自分がどちらの立場になるのか考えさせられた講演会、好評であった。

(角丸誠一・記)

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、600字以内、関連写真があれば添付してください。

会員研修 ローターリーを楽しくしよう！

太田ロータリークラブ

第二八四〇地区 群馬県

入会五年以内の会員一五人を対象に五月一三日、クラブ会員研修を開催しました。

中野正美研修委員長（当時、以下同）が基礎知識として「ロータリーとは」「四つのテスト」「五大奉仕」「ロータリーの会合」「奉仕の理念」「ポリオプラス」の解説のほか、ウェブサイトに『ロータリージャパン』の紹介など、わかりやすく内容の濃い講話を行いました。

松本博元会長からは、クラブ創立から現在までの主な歴史、クラブから選出した三人と次年度のガバナーについてや、数々の周年記念事業、

社会貢献事業、姉妹クラブ・子クラブの創立、会員増強と盛りだくさんの説明がありました。

最後に研修委員の竹内正幸ガバナーエレクトが「ロータリーの活動とロータリー精神について」と題して、プロジェクトに資料を投影し、一月にアメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会の内容も交えながら、熱の入った説明をして、一時間半の研修を終了しました。

新会員は皆、熱心にメモを取ったり、時にはうなずきつつ聞き入っていました。終了後は親睦、会員交流を兼ねて懇親会を開き、新会員と会員との間で熱心な質疑応答などが交わされました。冷たいビールでクールダウンしながら、暑い太田での熱



プロジェクターを使って熱の入った説明

い研修が夜更けまで続きました。

（長島章博・記）

届けよう世界の心と輝くスマイル

苫小牧東ロータリークラブ

第二五〇地区 北海道

「日本のトイレは、テクノロジーの塊。日本に住んだことのある外国人に『日本といえば』と聞くと、ほとんどの人が最先端のトイレと答えます。便器のふたは自動で上下し、便座は温かく、水の音を鳴らしたり、水圧の調整も可能。至れり尽くせりです」わがクラブがホストとなり五月一日、「届けよう世界の心と輝くスマイル」と題して、当地区第一二グループ四クラブのインターシティーミーティングを開催しました。

冒頭の言葉は、今回のIMでの「外国人による日本語弁論大会」（一一人か国一四人が参加）で、優勝者が聴衆の心をつかんだフレーズです。「日本の好きなところ」について話したマレーシア出身の留学生アチャナ・ダシニさん。留学して三年間、いろいろな所を旅行し感じたことを、テンポの良い日本語で語り、聴衆から拍手喝采でした。どの参加者も素晴

らしく、日本語が母国語の私ですが、果たしてこんなに上手にスピーチできるだろうか、と感心しました。

審査中は、苫小牧出身の民謡歌手・伊藤多喜雄さんによる「TAKIO BAND」のライブ。伊藤さんは、NHK紅白歌合戦に二度出場、郷土をこよなく愛する人です。

懇親会では再度、伊藤さんのライブが行われ、外国人弁士もステージに上がって「ソーラン節」を熱唱。最後は全参加者で、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱し幕を閉じました。

私は広報委員長（当時）として広報誌を作りましたが、たくさん写真撮った中で一番印象に残ったのは参加者の笑顔。今回掲げた「届け



心をつかんだアチャナさんのスピーチ

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



アド・トラック運行中

〈富岡かぶらRC〉

クラブのロータリー財団委員会、米山奨学委員会、広報委員会の合同プロジェクトとして、ロータリー広報活動の一環で「アド・トラック」運行を提案。「ロータリー活動を地域の人に知ってもらう」「わがクラブの存在をアピールし会員増強につなげる」「職業奉仕の概念から最小のコストで最大の効果を狙う」を目標としたもので、新井嘉之会員の運送会社の協力を得て完成。月々金曜日の毎日、富岡市↓国道254号線↓環状8号線↓第三京浜↓国道16号線↓横須賀を運行している。

(第2840地区 群馬県)

早朝例会と清掃活動実施

〈小松RC〉

早朝例会と「水辺クリーンデー」を実施。もともと「ロータリーの森清掃」として始まった活動が波及し、平成20年度(2008年)から石川県、小松市、各種5団体が「水辺クリーンデー」として一緒に活動するようになった。普段、何気なく通っている公園や川辺は、誰かが掃除、メンテナンスをしているからきれいになっている。自然環境を守るために日頃から何ができるか、何が必要かを考えるきっかけとなる一日だった。

(3月23日 第2610地区 石川県)



霞城公園観桜俳句会

〈山形南RC〉

満開の桜に彩られた山形市霞城(かじょう)公園内で、久しぶりの観桜会を実施。31人の会員が参加し、弁当を食べながら、さわやかな風を感じつつ、満開の桜の木の下で俳句を詠むという風流なひとときをみんなで楽しんだ。普段、俳句や歌を詠むことなどない会員が、真剣な表情で筆をとる姿は、素晴らしいの一言だった。

(4月22日 第2800地区 山形県)



惣万佳代子先生

このゆびとまれ



市民公開講座開催

〈堺RC〉

市民にロータリークラブの奉仕活動を周知し理解を得る目的で、市民公開講座を開催。(社医弘道会浪速生野病院心身医療科部長・生野照子氏の「障害を乗り越える人々の輝きー心療内科の現場からー」と、NPO法人このゆびとまれ理事長・惣万佳代子氏の「あったか地域の大家族ー富山型デイサービスー」の2講演を行った。新しい発想で高齢者、障害者の普通の社会生活実現に取り組み成果を挙げている二人の講演は、参加者212人の熱心なまなざしの中、語り合いや笑いもある内容の濃いものとなった。

(3月29日 第2640地区 大阪府)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



少年団と一緒に植樹

〈佐久RC〉

地区補助金を活用した「佐久平・花と緑の環境整備による少年少女育成プロジェクト」の一環で、佐久市大沢地区の小学4〜6年生42人から成る「大沢みどりの少年団」に、活動時に身に着ける帽子、スカートの他、鎌（くわ）を贈呈。会員も協力して、約1haの山林で、カラマツ1500本の植樹を行った。
（4月26日 第2600地区 長野県）



未来のロータリアンが例会出席!!

〈川西RC〉

4月25日の例会に、かわいい2人の姿が。司法書士、薬剤師の2人の女性会員が子ども同伴で出席したのだ。2人とも入会後、それぞれ2013年3月と11月に出産。まだまだ男社会のロータリーにあつて会員自身が妊娠、出産、育児を経験するのは珍しいこと。民間企業では当たり前の産休・育休制度をクラブ細則としてクラブ理事会で決定し、現在一人はその育休中である。女性の活用が声高く叫ばれる昨今、ロータリーも例外ではないとクラブでは考えている。女性会員の一人は「わが子もロータリアンになってほしい」と話している。
（第2680地区 兵庫県）



五月山動物園に入場ゲート寄贈

〈池田RC〉

五月山動物園（池田市）は、ウオンバットやアルパカなどの動物で人気のスポット。キャッチフレーズの「世界一♡のある動物園」にちなみ、クラブ創立60周年記念事業として、25個の「♡」がちりばめられた入場ゲートを寄贈した。幼稚園、小学校の修了式の日に市への寄贈式を行い、当日は多くの子どもたちがゲート前で記念撮影をしていた。来園の思い出作りに役立つことを願っている。
（3月24日 第2660地区 大阪府）



物故会員顕彰記念碑を建立

〈館林西RC〉

20年間、毎年、早朝移動例会で物故会員の追善供養を行ってきたが、これまでの寄付を元に、ロータリアンとして生涯を全うした物故会員の気高き精神と功績を顕彰する記念碑を、神光寺（邑楽町）に建立。全会員出席の下、住職の萩原康晴会長エレクト（当時）により開眼式が執り行われた。石碑に刻まれた9人の物故会員の冥福を祈った。
（3月18日 第2840地区 群馬県）

ROTARY AT WORK



青少年と一緒に綿菓子販売

〈所沢東RC〉

所沢航空記念公園で春に開催される「所沢市民文化フェア」と、市内で秋に開催される「ところざわまつり」で、約20年にわたり、綿菓子の販売を行っている。テント一張り、自前の綿菓子製造機を3台セットし、一本100円で販売。もはや会員の多くは綿菓子作りのベテランとなり、毎回1日2000〜3000本を販売し、売り上げはすべて市内の福祉施設に寄付している。今回の所沢市民文化フェアでは、初めて青少年ボランティアに手伝いを依頼した。地域へのロータリー活動の周知と、青少年育成を兼ねるこの事業を今後も進めたいと考えている。

(4月5日 第2570地区 埼玉県)

ヒノキの苗木植樹 〈名張RC〉

伝統と文化を大切に守り引き継ぐと、「東大寺二月堂の松明(たいまつ)奉納」のために毎年伐採されるヒノキを植樹した。西暦752年から続く、東大寺お水取りに使われるヒノキは1年に1本だが伐採され続け、減少の一途をたどる。100年後の未来にも行事を残すために、松明木を納めている「伊賀一ノ井松明講」講長の快諾を得て、クラブの植樹が実現した。例会後にバスで松明山を所有する極楽寺に向かい、苗木約20本を植えた。木材の植樹法、枝打ち、間伐など、森林への見聞も深められた。

(3月24日 第2530地区 三重県)



米山学友の教授昇任を祝う

〈横浜鶴見北RC〉

台湾出身の米山学友・張櫻馨(チャン・インシン)さんが、4月から横浜市立大学国際総合科学部の教授に昇任。世話クラブ会長、カウンセラー、地区米山奨学委員長など多くが参加して祝賀会を行った。まだ渡していなかった、博士号取得時に奨学生に贈られる記念品の腕時計も米山記念奨学会から届き、当日その贈呈も行った。張さんが奨学生だったときの話に花が咲き、和やかな会となった。

(4月25日 第2590地区 神奈川県)



黄其光RI会長エレクトが来訪

〈京都南RC〉

2013-14年度に創立60周年を迎えた京都南RCでは、「世界とともに変化成長!」を掲げ、地域に根差し世界を視野に入れた奉仕活動に取り組んできた。3月13日の周年記念例会・祝宴の余韻も消えない2週間後の例会に、黄其光RI会長エレクト(当時)が来訪。会員一同感謝するとともに、クラブの活動、特に同年度の国際奉仕活動実績を報告し、今後の志を述べ、RIからの幅広い指導をお願いした。

(3月27日 第2650地区 京都府)

ROTARY AT WORK



ふれあい親睦ゲートボール大会

〈高槻西RC〉

クラブ主催、高槻市ゲートボール連盟主管で始まった「ふれあい親睦ゲートボール大会」も今年で11回目。3月とは思えないほど暖かいゲートボール日和の中、19チーム95人の選手が熱戦を繰り広げた。高齢ながら選手たちの動きは活発で、試合が終わると和気あいあい、互いに相手選手の健闘をたたえ合っていた。

(3月23日 第2660地区 大阪府)



座禅体験例会

〈斜里RC〉

職場訪問で座禅体験例会を実施。門田道致会員の寺院・曹洞宗北氷山禅龍寺の三心閣(葬祭場・報恩殿(納骨堂・本堂を、住職の説明を聴きながら見学した。その後座禅についての講話を聴き、足の組み方、呼吸の仕方など作法を学び、実際に座禅を体験した。日頃職業奉仕で多忙な時間を過ごす会員たちは、気持ちが次第に落ち着き、心が洗われるような新鮮さを感じた。日常生活を離れて静かで穏やかなひとときを会員一同で共有する、貴重な例会となった。

(3月19日 第2500地区 北海道)

米山奨学生の卒業式に出席

〈静岡中央RC〉

静岡中央RCはミャンマーからの米山奨学生、ワイ・モン・チョーさんの世話クラブを務めた。彼が学んだ静岡産業大学で卒業式があり、来賓として会員が出席。チョーさんや大学関係者などにあいさつし、来日した彼の両親とともに卒業を祝った。卒業式の模様をたくさん写真に撮り、それらを収めたCDを記念品として後日、彼に贈った。右の写真は、学部長から卒業証書を授与された場面。

(3月13日 第2620地区 静岡県)



厦門園・白鷺像案内板除幕式

〈佐世保北RC〉

クラブ創立30周年記念事業として、佐世保駅みなと口のポートサイドパーク内の広場「厦門(アモイ)園」内の「白鷺像」に設置した案内板(高さ150cm)の除幕式を行った。佐世保市の姉妹都市である中国・厦門市から2008年に寄贈された、厦門市の鳥の像「白鷺像」が小さくて目立たず、また市民の厦門園への認知度も低いことから、クラブが案内板を設けた。朝長則男市長はあいさつで「これまで以上に(両市の)交流を深めたい」と述べた。

(3月15日 第2740地区 長崎県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

車いすバスケットボール 南九州大会を主管して

鹿児島サウンズウィンズロータリークラブ

第2730地区 鹿児島県

今回で第2回となる「車いすバスケットボール南九州大会」開催前日の3月8日夕刻、クラブ会員25人と車いすバスケットボール(WB=Wheelchair Basketball)チームの選手が協力して、鹿児島アリーナで会場設営にあたりました。今年は宮崎東RCとの協同開催で、鹿児島県から3チーム、宮崎県から1チームが参加、九州車椅子バスケットボール連盟審判団、ボランティアスタッフとして鹿児島高校バスケットボール部員の協力、さらにプロバスケットボール・レノヴァ鹿児島島の選手とチアリーダーの応援で、大いに盛り上がり楽しい大会となりました。

予選と決勝の間には、観戦に来た中高生とボランティア参加のバスケット部選手たちにWBの試合を体験してもらいました。WB競技用に機能的に作られた車いすでも実際に扱うのは難しいようで、戸惑いながらもゲームに興じる様子がとても印象的でした。

いよいよ決勝。シーズンゲームで、サイドが変わるたびに歓声上がるなど400人以上の参加者全員が試合を楽しみました。大半の方はWBを見るのは初めて、まして競技チームが身近にあることを知る人はほとんどいなかったと思います。レノヴァの選手や、撤収まで頑張ってくれた高校生、素晴らしい人たちに囲まれた大会でした。将来、参加チームが増え広く認知されたWBの大会を、「あの時、4チームから始まったんだよねえ」と、仲間と観戦しながら思い返したい、そんな一日となりました。

(濱田一郎・記)

浅からぬ一期一会や白牡丹

愛知・新城 荻野 修

肩寄せて孫と背くらべ子供の日

愛知・瀬戸 沢田 充子

蝶々を追ひかけてゐて遅れし子

岐阜西 眞鍋俊文子

罐ボンと音して新茶匂ひけり

岐阜長良川 井戸 豊彦

東京の雪の別れに着くも旅

京都・福知山 松山ひとし

白山の白妙眺望土筆摘む

福井南 松山 古来

帯をとく花の余韻の残るまま

奈良 寺田眞佐子

初夏の風部屋一ぱいに通しけり

奈良 吉田 佳代

山焼の煙日輪かくしけり

兵庫・神戸西 村野 利昭

少年が揺らして過ぎし山躑躅

兵庫・神戸東 執行 英毅

ときめきを踏み出す一歩入學す

兵庫・神戸中 松原 宏

日の匂ひ土の匂ひの土筆かな

愛媛・新居浜南 坂田 恭子

過疎すすむ空の青さよ鯉幟

徳島・脇町 片山 良樹

母の日の追慕の母の若かりし

福岡城南 吉武 草徑

ポケットに弔辞暮春の家を発つ

埼玉・日高 落合 好雄

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

アユタヤの世界遺産の遺跡まへに
いとも小さき夫とわが影

岡山・真庭 山下 輝子

政治犯と呼ばれる人がいつか出来る
ほんやりとわかる秘密保護法

京都西南 池田 敏子

我が庭に色とりどりに咲く躑躅
薄水色は亡き母の色

栃木・田沼 向田 昌弘

ランドセルアフガニスタンへ送ると言ふ
卒業生の決意麗はし

千葉・市川 照井 親資

大輪の白椿一つ苔庭に
ポトリと落つる春の静けさ

岐阜長良川 井戸 豊彦

黄の色は菜畑入り日おぼろ月
きみが背の子を守る歌聞こゆ

兵庫・高砂青松 竹原 俊三

人はみな生き来しやうに死ぬといふ
謙虚に生きてゆかむと思ふ

岡山・総社 木口 和子

バロックの街飛び発ちて目覚めれば
眼下は朝日に輝く水張田

石川・金沢百万石 石丸 恭子

遠き日に我が設計せし古民家の
軒端に咲ける櫻満開

神奈川・相模原 佐藤 清一

爺ちゃんと呼ばれし人は吾れなるか
この白髪は自慢のものぞ

福岡イブニング 守田 則一

老いの身に孤独は淋し仮設にて
歌声に湧く希望と笑顔

宮城・古川東 高橋 義宣

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

雑草のこぼれ種にも夢がある

熊本西南 古閑 修

無人駅何故か鴉がよくとまる

神奈川・横浜旭 吉原 則光

妻と共朝陽分け合うウオーキング

福岡イブニング 守田 則一

前の味とても良かったリニューアル

長野・辰野 河手 欣哉

開けるまで優しく抱こう贈り物

大阪西 鴨谷瑠美子

手いっぱい葉伸びるかこの命

千葉・富津中央 千葉 一利

便利さを不便に換えてみる暮らし

埼玉・入間南 荻野 静次

往生際悪くなったね平和ボケ

岐阜長良川 奥村 幸江

初野菜心遣いが報われる

和歌山・新宮 塩崎 公治

走るより次の電車を待つ流儀

新潟 小林 悟

徘徊の予習花壇で折り返し

千葉・市川 照井 親資

TPP同床異夢で纏まらず

青森 沼田 廣

一言が逃げ場失くした人救う

茨城・日立港 小松 弘二

飛距離落ちセカンドショットいつも先

東京武蔵府中 伊藤 信吾

真っ白な割烹着から黒いシミ

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

チョンマゲが自信をつけた寄り倒し

新潟・吉田 佐藤 良一

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑汀子



影に濃き力生れて夏近し

大阪北 吉田 邦男

晩春の頃になると、夏が近い陽気となつていく。日差しにそれを感じるのが一般であるが、木々や建物に生まれる影に濃き力が生まれると感じる、作者の感性が素晴らしい。春夏秋冬の移りゆく自然の姿の中で生活している人間は、どのように自然と付き合っているかなければならないのであろうか。俳句はその中であつて、自然がどのように変化していくかをしっかりと受け止めなければならぬであらう。一面的に見るばかりでなく、この一句のように、いろいろな見方を試みてみたい。

花散りて一幕終へし夕べかな

群馬・前橋西 花井 博将

毎年違つた桜の咲き方をするが、今年の桜は見事に咲き進んだ。日本列島南から北へ咲いていくのであるが、咲いて散るまでが結構長かったのか、誰もが満足する花見ができたのではなからうか。その花もいよいよ散りはじめ、散り尽くすと、まるで芝居的一幕が降りたと感じるのは作者の感性である。何度も寒さが戻つたので、そのような咲き方をしたとも聞いた。

子は風に走り行くなり春の暮

群馬・館林 新井 進

夏炬燵く焚かぬで採める朝茶かな

北海道・登別 寺島きしを

嫁ぎし子母となる日や福寿草

東京東江戸川 塚田 俊夫



佐佐木幸綱



ああ五月紫蘭^{しらんいちはつをたまき}尾芋環と
紫あふれる無人の生家

奈良 寺田眞佐子

作中に登場する「シラン」「イチハツ」「オダマキ」三種の花は、なるほどどれも紫の美しい花をさかせる。目に浮かぶようだ。

なお「ああ五月……」は、与謝野晶子がフランスに行ったときの有名な一首「ああ五月^{さき}佐蘭^{らん}西の野は火の色す君も雛粟^{ひなあわ}われも雛粟^{ひなあわ}」をふまえていると思われる。とすれば「ああ五月……」と読むのがいいだろう。

長兄を弔いをれば貞昼間の
五月の空をへりコプター飛ぶ

青森・三戸 加藤 定男

ご家族、親戚の方、兄君の友人・知人、近所の方等々、多くの方が集まつておられる場面である。故人の遺影を前にしながら、幼いことからさまたまな出来事を思いだし、語りあつておられるのだろう。

葬儀という非日常の時間に、昨日と同じように、のんびりとヘリコプターが飛んできた。

ふと、日常と非日常の境目をのぞき見たような不思議な気持ちが続く。

新緑にフオークを歌いギター弾く
青年開む団塊世代

群馬・前橋西 花井 博将



てじま晩秋



祝日に日の丸を出す頼もしさ

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

時折に「私は右翼ではないですが」と書いておられますが、戦後「愛国心」関連の発言が眉をひそめられ、いわゆるタブー視されていた時期がありました。現在、祝日は「国民の休日」です。その日に国旗・日の丸を掲げる家を見つけて、作者の「頼もしさ」なる表現、爽やかな気持ちがかがえる作品です。

本当なら誰がわざわざ電話する

香川・高松 大平 昇

近ごろ多いですね「儲け話の勧誘電話」類。作者は冷静に対処されていますが、新聞等に「何百万円をだまされた」とか、時にはその一桁上の金額も。「世の中お金持ちの方がいる」と感心してしまいます。くれぐれもうまい話には気をつけましょう。この作品「本当」を「ほんと」と詠（よ）み上げますと、定型を維持できます。

並木道まだ青春の香が残る

大阪金剛 井出 胡蝶

昔「青春歌謡」歌手の一人である舟木一夫の「君たちがいて僕がいた」というヒット曲がありました。そんな風景が浮かび上がり一つの「ロマン」を感じさせる作品です。歌は世に連れ、世は歌に連れですが、人間、幾つになっても心のどこかに夢の香りは所持していたいです。

ロータリーまだない国のある不思議

群馬・伊勢崎 秋山 春海

スでは四七年かかっているのに対し、日本は二四年です。ですから、日本は高齢化に対する対応が後手に回っています。現在、日本人の平均寿命は男性八〇歳、女性が八七歳。団塊の世代が八五歳になるころには、男性の平均寿命が八二歳、女性は九〇歳が普通になってきます。

「年齢別入院患者数」は、二〇一四年には四分の三が高齢者ですが、三〇年前は四分の一でした。「社会保障費」もうなぎのぼりに増えています。どこの特別養護老人ホームも待機者が数百人と、入所するのがかなり厳しくなってきました。

日本では、プライマリケア(初期医療)は一次医療に当たりますが、簡単な診療器具だけで患者さんとの面談に時間をかけ、予防から健康管理までいろいろな相談に応じます。欧米では、地域の診療所が医師だけでなく、ケアマネジャー、看護師、リハビリを行う理学療法士などの総合的なハブとして調整役を担っています。日本では診療報酬にやっと「主治医」が認められましたが、超高齢社会に備えて準備されていません。地域の人たちの助け合いが必要な時代に向かっていきます。(第二五三〇地区・福島県・いわき小名浜RCで、同RC会員)

漢字と日本語

(株エスカサービス 顧問) 増山 忠雄

漢字とは中国、漢民族が使用している漢語を書き表した文字のことです。では、漢字とはどのようなものでしょうか。

漢字は象形文字から始まったため、一字一字に意味があります。これを表語文字、または表意文字と言います。その総数は五万字とも言われますが、確定は難しいです。漢字は一字一音で漢民族の話し言葉(漢語)を書き表したもので、いつ誰が作ったかはわかっていません。しかし、三〇〇〇年以上前にはできていたと思われれます。それを長い期間にわたって言葉とびつたり合うように変化を重ねてきました。だから中国人が話す言葉と文字との関係は非常に完成されたものと言えます。

発音には呉音^{ごおん}と漢音があり、呉音の方が古く、西暦三〜六世紀ごろの中国の音系のような音系です。漢音は唐の時代の音系で、今日、日本で使用する大部分の音です。

この文字が、日本にだいたい中国の南北朝時代から隋、唐の時代、西暦三〜

一〇世紀にかけ、日本に入ってきました。日本にはこれ以前に、当然言葉はありましたが、文字はありませんでした。しかしこれは何も珍しいことではなく、言葉に対し、文字がある方が少数でした。日本に入った漢字は、日本語にはなかなかぴつたりとは合わず、先人は大変面倒だったと思われます。

そこで考え出されてきたのが、仮名です。自然発生的にできたと考えられます。仮名は当初、万葉仮名と言われる漢字から作られてきました。カタカナは漢字の一部分を取り、ひらがなは漢字の草書体の全体を使い、作りました。それと最も重要なのは、訓読みを考えたことです。これは漢字の意味から考えたものです。これもいつごろできたのかはわかっていませんが、奈良時代に作られた万葉集に使われており、これよりかなり以前から使われていたと思われます。

そして、日本に漢字が入ってから日本人が作った漢字があります。その数は一五〇〇〜二七〇〇くらいで木偏や魚偏が多いのですが、面白いことに、日本で作った漢字で、現在中国で使用されているものもあります。

(第二五六〇地区・大阪府・豊中南RCで、同RC会員)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

時代の新潮流 コワーキングスペース

(株)Local代表取締役 小泉 博史

インターネットが普及して二〇年以上がたちました。その間「ノートパソコン一つあれば仕事ができる」ような職業が増え、また特定の会社だけに属することなく二つ以上の職場を掛け持ちしたり、インターネットを通じて月に何百万も稼ぐ主婦が現れたり、人々の仕事やライフスタイルは大きく変わり、多様化が進んでいます。インターネットを使って副業をする人も多くいるそうです。

そうしたなか、注目を浴びているのが「コワーキング (Co-working)」という働き方であり、「コワーキングスペース」と

と呼ばれている共同オフィスです。

各個人が独立して働きながら、相互にアイデアや情報を交換することで、オフィス環境を共有し、生まれる相乗効果が期待されます。レンタル・オフィスのような時間貸しのスペースとは異なり、コワーキングスペースには通常間仕切りなどはなくオープンで、会議室、イベントスペースなどを兼ね備えたものが一般的です。

ノートパソコンを持ち、副業を手にした人々は家に閉じこもって画面に向かうのに飽き、カフェで長居するのに疲れ、より刺激的で居心地の良いコワーキングスペースという場所を発明しました。そこにはさらに趣味や社会貢献活動に打ち込む人も訪れ、集うようになり、異業種が入り乱れ、多様性が咲き乱れる空間になっています。

コワーキングスペースは二〇一〇年に日本に上陸し、二〇一一年以降、首都圏を中心に急速に増加していて、いまや全国で三〇〇軒以上あると推定されます。

歴史的には新しい動きですが、時代に沿ったこのライフスタイルの胎動は、今後も続くと考えられます。

(第六四〇地区・和歌山県・有田RC)

日本の医療はどうなる 二〇三〇年問題

(医法養生会
かしま病院名誉理事長 中山 元二

二〇三〇年問題というものがあります。二〇三〇年、団塊の世代が八五歳になるころ、日本はどういう国になっているのかをしっかりと認識していただきたいと思います。日本は医療だけではなく、企業ならびに個人にとって、今まで経験したことのない社会情勢になります。

日本の人口構造は、高齢化率が高まってきたおり、団塊ジュニアが高齢期になると、人口の四〇近くを高齢者で占めるといって超高齢社会になってきます。団塊ジュニアの世代は、未婚または子どもを持たない人たちも多く、この世代の三分の一が一人暮らし、三分の一が老々世帯になると予測されます。ここに認知症の問題が加わります。進行すると、自立した生活が難しくなるということです。

六五歳以上の人口が七割から倍の一四割になるのにどのくらいかかるかが、各国の高齢化のスピードを表す目安となりますが、フランスでは一五年、イギリ



ロータリーの貴重な資料に触れることができました

ロータリー関係の資料は二階に展示されていたのですが、まず入り口で目についたのは、一九二〇～三〇年代の『ザ・ロータリアン』の数々でした。表紙も色あせずにきれいに保管されていて、びっくりしました。

また、京城RCの認証状伝達式の様子や、米山梅吉氏が台北RCを訪問している写真など多くの貴重な資料が展示されていました。家内は特に春子夫人の帯に興味を持ち、ロータリーの徽章が刺繍ではなく、織って作られているのに大変感心していました。

佐藤さんによると、以前は触ることもできなかったのですが、今は「国宝級」となっているそう、家内も一度帯を締めてみたかったと欲張りなことを言っていました。

そのほか東京RCの資料も展示され、貴重なビデオも拝見し、初めてポール・ハリスの肉声を聞くことができました。このような貴重な資料がアメリカからの短期留学生によつ

て発見されたと聞き、大変驚きました。

その後水沢RCの例会に出席し、会員の皆さんと親しく交流を深めることができました。

翌日には、水沢三秀才の一人である後藤新平記念館を訪問し、同じく水沢RC会員(当時)である高橋力館長の説明で見学しました。

三年前に私が台湾の李登輝元総統にお会いした際、後藤新平記念館をぜひ訪問するように言われていましたので、念願がかないました。

三日目にはさらに足を延ばし、宮沢賢治記念館、えさし藤原の郷、花巻新渡戸記念館、明治記念館、遠野ふるさと村などを周り、有意義で欲張りな、みちのくの旅となりました。

(第二七九〇地区 千葉県 建築資材)

例会三〇〇〇回記念を 祝う

秋田 杉渕 廣

週に一回開かれる例会は、祝祭日などで休会することを計算に入れると、年間四八回前後ということになる。従って、一〇〇〇回の開催となれば、二一年で迎えることになる。

今年二月二六日は、クラブ創立以来ちょうど三〇〇〇回目という大きな節目に当たる例会となった。そこで記念例会ということで夜間に開催、現役を引退し、退会した元会員たちの参加も得て、杯を交わして、例会三〇〇〇回を祝い、クラブの刻んできた歴史

を語り合い、一層の発展を誓い合った。

当クラブの創立は、一九五二年一〇月二八日。秋田県で最初にできたクラブである。今例会を迎えるまでに六一年の歳月がたっている。現在、創立会員は残っておらず、中心メンバーは、その息子たちになっている。

例会では、鎌田壽会長(当時、以下同)のあいさつに続き、古参会員の野口周治郎さん、佐藤祐司さん、金子榮一さんがそれぞれ思い出を語った。先輩たちがロータリーに懸けた情熱や武勇伝、例会場の移転の話、四〇年前は地域社会はもとより会員自体もまだロータリーに対する理解が希薄で、今にして思えば苦笑してしまう出来事のいろいろが披露された。また、県内にはほかにクラブがなかった。で、メイクアップのためだけに夜行列車に乗って他県まで行った体験談なども語られて、出席者たちはクラブの歩んできた歴史に思いを馳せた。

宴会では「当クラブが親クラブとなって結成されたクラブ数は？」などというクラブの歴史に関するクイズもあったが、正解率が高いのは意外にも若手会員で、会場は笑いと拍手に包まれた。

締めは例によって、輪になって「手に手つないで」を合唱し、竹谷繁会長エレクトの一本締めでお開きとなった。またこの日の例会で、当クラブの女性会員第一号となる大内睦子さんの入会が披露されて、記念例会に花を添えた。

(第二五四〇地区 秋田県 広告代理業)

よ」「なんで今さら俳句なの」とぼやきつつも、それぞれ二、三句つくりました。以下はその時の秀逸作品(?)です。

吹く風の 甘く囁く 花宴

友来たり 春宵一刻 大吟醸

山咲きに 桜咲け咲け 花宴

親しさに 言うを自由な 花夕べ

花薫る 新たな主と 戯れり

春の宵 友と語らん 花宴

白木蓮 天見て開け ニューリーダー

ロータリーは不思議な団体です。職業もバラバラ、年齢もバラバラ、大社長もいれば、そうでない人も。しかし一度集えば、よいいを脱ぎ捨て、童心に帰り、腹の底から笑い合える仲間です。こんな素晴らしい仲間と出合えるロータリーに乾杯です。

(第二七八〇地区 神奈川県 総合建設業)

黒田官兵衛と光姫で 盛り上がる加古川

加古川 吉田 実盛

NHK大河ドラマは、そのゆかりの地に歴史ファンを招くとともに、地域の活性化に大きな役割を果たしています。

今年のドラマ「軍師官兵衛」では、兵庫県姫路市、大分県中津市、福岡県福岡市などが舞台となり盛り上がっています。

そんな中、私たちの住む加古川は、官兵衛



光姫の輿入れ行列などで盛り上がる加古川

の妻、光姫の実家のあった志方城跡が宝積山観音寺の境内などに残り、光姫の輿入れ行列などを行ってにぎわいました。また、毛利家討伐の軍議が行われた加古川城跡は現在、称名寺になっています。私のいる鶴林寺には官兵衛からの書状が残り、当時、官兵衛との交渉が続いたことを示しています。

毎週、例会では物語の展開を話し、地域の盛り上がりを自身で体験したことを分かち合っています。鶴林寺のことがテレビで放送された翌週には、多くの方から声をかけていただきました。

地域の活性化には、見るところ、食べるもの、体験すること、お土産など多方面にわたる総合的なサービス提供が欠かせないと思います。さまざまな年齢の、さまざまな職種の人との出会いの場であるロータリークラブは、毎週新しい発見の感動を与えてくれます。ドラマの終焉を迎える今年の暮れまでは、

ドラマを話題として多くの人と語らい、地域の再発見を経験していく日々が続いていくことでしよう。さて今週はどんな展開となるのでしょうか？

(第二六八〇地区 兵庫県 仏教)

斎藤實記念館訪問と みちのくの旅

木更津 堀内 正一

今年三月、まだ雪が降り積もる岩手県奥州市(旧水沢市)の斎藤實記念館で開催された「斎藤實とロータリー展」を家内とともに見学してきました。

今回の訪問は、『ロータリーの友』二月号に掲載された水沢ロータリークラブ(RC)会員で記念館館長の佐藤剛会員による「内外よろず案内」を読んだのがきっかけでした。また、家内が水沢市の生まれで、水沢小学校、中学校、県立水沢高校を卒業し、今でも友達が多くいるので、それでは、と訪問したわけ

です。
二階建ての記念館内では、一階には岩手の生んだ二人目の総理大臣で、水沢三秀才(山崎為徳・後藤新平・斎藤實)の一人である斎藤實の生涯が年代順に、さまざまな資料とともに紹介されていました。軍服や勲章などのほか、春子夫人の時代を感じさせないおしゃれなドレスや装飾品も展示されていました。

を入れ過ぎては元も子もなくなってしまうことが心配である。全国のクラブでも対応に苦慮しているのではないだろうか。

(第二五三〇地区 福島県 歯科医)

青少年交換学生との 再会

東広島 白島 洋司

今年四月初め、「両親が、おじいちゃん、おばあちゃんに会いたいと言っています。お茶やお花を体験したいと言っているので、時間を取ってもらえますか」とメールが届きました。スウェーデンの元青少年交換学生(二〇一〇—一一年)のイルバ・フォルスバリからでした。

驚きながらも早速、OKの返事を出し、四月一日、イルバとご両親、彼女の妹二人を迎えました。

初めてイルバに会ったのは二〇一〇年八月。この年は異常気象で、最高に暑い日でした。北欧の国から猛暑の日本に来て、さぞ驚いたことでしょう。

私たち夫婦が、彼女の祖父母と同年代とすることで、「おじいちゃん、おばあちゃん」と呼ばせることにして、彼女との生活が始まりました。

彼女の最初の言葉は、「日本のアニメが大好き！」でした。日本に憧れた大きな動機だったようです。

たようです。「茶道、華道に興味があり、ぜひ体験したい」との言葉に、妻の生け花教室で、毎週土曜日の午後、生け花を教えることにしました。受講の様子や作品の写真をDVDに編集し、中伝免状とともに、帰国時に持たせたのです。それが今回の依頼につながったと思います。

このたびの、お茶、生け花の体験は、家族全員、非常に楽しかったようで、妹は「私は絶対日本へ来て、お花を勉強する」と宣言していました。

ご家族との会話は、全てイルバが通訳し、会話も弾み、本当に楽しい時間でした。

「イルバが、日本語をこんなに話しているのを見て不思議で、うれしい驚きです。安心しました。ありがとう。今度はぜひ、スウェーデンにおいてください」というご両親の言葉



生け花を体験するフォルスバリ一家

からは、娘を異国に出した時の不安と、彼女が日本で得たもの、生活の一端を垣間見たことによる安心がにじみ出ていました。親心でしょう。その笑顔にこちらも笑みがこぼれました。

交換学生が、家族とともに再訪してくれたのは初めてです。ご家族と会えたこと、さらに一家が日本へ好意を持ってくれたことは、望外の喜びでした。

(第二七二〇地区 広島県 不動産コンサルタント)

新しき

主人に乾杯 花宴

大和中 横澤 創

春はロータリー年度の仕上げの時期であり、新年度が始動する何かと忙しい時期です。そして新年度に向けてわくわくする季節でもあります。

そんな折、クラブの有志が集い、新年度の会長、幹事を激励する会を催しました。飲むほどに、酔うほどにロータリー談議に熱が入ります。佳境を迎えたころ、ふと外を見るとそこには妖艶な夜桜が。

そこでお酒の勢いも借り、句会をしましょうということになりました。紙を短冊に切り、即興の句をひねるロータリアンは真剣そのもの。お題は、「春」「花」「宴」

「俳句なんか小学校以来つくったことない



元家室千玄室の憧れ

ました。千玄室氏は、平和研究との関係が深いユネスコの親善大使も務めていらつしやいます。

私の夢をかなえてくださったロータリアンの皆さま、本当にありがとうございます。

(ロータリー平和フェロー)

クラブの会員

福島南 齋藤 浩

『二〇一三年手続要覧』には、過去発行されたものと違い、違和感を覚えている。

会員増強は永遠に継続されるものであるが、その一端として、若い職業人を引きつけるため、「クラブは、年齢三五歳未満の会員の会費と入会金を免除できる」とある。「できる」とは、免除しても、しなくても、強制されるものではないと解釈すべきと思うが、それでいいのだろうか。

先だって、私のクラブに三五歳の青年が入会した。もちろん最年少の会員となったが、『手続要覧』に書いてある、入会金、年会費の免除をどうすべきか理事会で検討することもなく、請求書を発行し、本人は入会金その他を支払った。一件落着と思えたが、お互いにルールを知らないで事を運んでしまったのである。

三五歳未満の入会者については、今後クラ

バナー自慢

奈良大宮ロータリークラブ

第二五〇地区（奈良県）



地域内に平城宮跡があります。「青丹よし、奈良の都は……」から緑色を、出土瓦の模様、大極殿の想像図（三五年前）と跳躍する鹿を配し、大宮人の願いを込めています。大極殿は遷都一三〇〇年に際して復元されました。

ブ細則に明記しないと請求できないのか、あるいは、双方の合意で支払うこともあり、支払われないこともあり得るのか、わかりづらい。また、入会後三五歳までは会費免除が続くのか、三五歳未満であっても、例えば三〇歳からは免除にしないことにするのか、これも双方の合意で決定されるものとなれば、不公平である。先月入会した会員と今月入会した会員が、諸事情を考慮して、免除される者と免除されない者が発生しては、みんなに公平とは言えない。

当地区では会員数が一〇人以下のクラブが一割近くを占める。小さいクラブでは、会員増強のために会費免除をしてはクラブ存続もままならない。なりふり構わず会員増強に力

昨年、「ボジョレーを楽しむ会」で、第二五九〇地区のロータリー平和フェローシップ委員長の野口四郎さんと知り合いました。その際、野口さんの委員会事業として、ロータリー平和フェローを川崎大師で行われるご供茶式に招待する計画があると聞きました。私は日本に来る前、裏千家のお点前を学んでいたので参加したいと伝えたところ、呼んでくださることになり、その日が来るのを待ち遠しく思っていました。

四月一三日、私たちロータリー平和フェローは、野口さんから委員会の人たちと一緒に川崎大師に行き、ご供茶式に参加し、濃茶と薄茶をいただきました。

その中で一番に残ったのは、長年の夢だった千玄室茶道裏千家前家元（京都ロータリークラブ）にお会いし、お話できたことです。しかも京都の茶道学校にも招待してくださることになり、とてもうれしい一日とな

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

九一歳の現役ロータリアン

坂戸 木藤 文雄

九〇歳を過ぎても一線でロータリー活動を行い、楽しんでる会員がいる。その人は当地区一九九四―九五年度ガバナーの田中一郎会員。ガバナーを務めた後も、所属する坂戸ロータリークラブ(RC)で一会員としてロータリー活動に積極的に参加し、若い会員の手本となっている。

私も五〇年ほど前から田中会員を知っているが、言葉を荒げるなど怒った姿を見たことがない。温厚で、青少年交換学生やロータリーアクターの指導にも熱心。四〇年余りの間、交換学生のホストファミリーを務めた。世話をした留学生の数は一〇〇人を超えるであろう。どんな言語の留学生であろうと、三か月で日本語と日本の生活を教え込んだ。今でも

世話になった多くの留学生は、来日すると田中会員を訪ねてくる。そこには高校の家庭科の教師であった奥さまと、銀行員と高校教師の二人の息子さんの支えもあった。

田中会員は、一九二三(大正一二)年に東京・品川で生まれ、銀行に勤めていた父親の転勤で兵庫県今津市(現・西宮市)に移り、小学六年の三学期の時に台湾の台北に移った。子どものころから体が大きく、聡明だがわんぱくなガキ大将。小学校の時、いじめをしたことで転校も経験した。台湾から帰国後、東京帝国大学文学部東洋史料科に入学したが、学徒出陣で東部五部隊に入営。終戦で大学に戻り、卒業後は考古学の道を進み、遺跡の発掘で日本各地を回った。

坂戸RCの創立(一九六七年)当時は、地元の公民館長で、創立からクラブに携わっていた。創立七年目に入会したが、実質的には創立会員のようなものでクラブの生き字引である。当時から講演活動をしていたが、田中会員の講演のレパートリーは考古学以外にも幅広く、聞く人を飽きさせない。

学者であるが、版画家でもある。身の回りの出来事やロータ



田中会員のスケッチ

事やロータ

リーについてスケッチと版画で表現している。町並みのスケッチも数多く、全て説明が書き添えられている。五〇年の歴史を知ることができ、見ていて懐かしく楽しい。パーティーでは短時間で食事のスケッチをし、帰宅後はがきにして送ってくれる。実際の食事よりおいしく見えるから不思議である。それらは全て保存されており、田中会員の自宅の座椅子の周りには、七〇〇冊を超えるスケッチブックが所狭しと積まれている。田中会員と昔話をする、その当時のスケッチブックが即座に出てくるから驚きだ。

今年二月、坂戸RC主催でインタシティーミーティングが開催された。懇親会で会員たちの川柳が紹介された。その川柳にはロータリーの楽しさや思いが多く綴られていた。特別賞に選ばれた人には田中会員の版画が送られた。

(第二五七〇地区 埼玉県 建築設計監理)

一期一会の日

アンナ・スラヴィンスカヤ

日本のロータリアンの皆さま、こんにちは。私はロータリー平和フェローの二期生として昨年夏にロシアから来日、国際基督教大学のロータリーの平和研究プログラムで勉強しています。



黒島教会（掲載についてはカトリック長崎大司教区の許可をいただきました）

じゃないかということで生まれた。アーケードの下に会議用のテーブルを並べて宴席とし、飲み物、食べ物の持ち込み自由、忘年会をどうぞという催し。一二月の第一水曜日に開催している。五〇〇〇人の乾杯で盛り上がるのだとか。

護衛艦カレーグランプリは、昨年の一二月一日、初めて行われた。洋上勤務が多い海上自衛隊では、曜日の感覚を呼び覚ますため、毎週金曜日にカレーライスを供することになっていく。艦艇ごとに味が違うということなので、どの船のカレーがいちばんうまいか市民に判定してもらったらどうかという思いつきをイベントに仕立てた。

「前の佐世保総監が、夕方、トレーナー姿でぶらぶら歩いているのを見かけたので、行きつけの立ち飲み屋に誘ったら、その店が気に入ったようで、よく見えるようになった。若い水兵も出入りしているけれど、まさか総監がそこにいるとは気がつかないというような店。カレーグランプリの話は、そこでまとまったわけですよ。護衛艦一〇隻からそれぞれ三〇〇人分ずつ提供してもらって、それを少しずつ三〇〇〇人の市民に試食してもらい、どれが気に入ったか投票してもらった。試食のための容器を納めるトレーも特別に作りました」

と、身を乗り出して話す竹本さんに、こちら、その立ち飲みのお店に興味があるむねを告げる。店は、事務所のすぐ隣だった。

竹本さんが、高校時代からの友人でロータリークラブ仲間の指山康二さんを電話で呼び出す。指山さんは店内の冷蔵庫から勝手に缶ビールを出してきて、缶からじかに飲んだりしている。

二人の先客は、海上自衛隊の艦隊司令を務める佐官だった。そのうちの一人は今日が初めての来店というから、当然、竹本さんも初対面なのだが、カレーグランプリの話をきっかけに、旧知の仲のように話している。

生ビールのジョッキを二、三杯あけたところに地元の放送局の記者が顔を出した。

「ヨシ、もう一軒行かんね」

竹本さんがみんなに声をかける。自衛隊の二人も、「割り勘、割り勘」の声に安心したのか、一緒に近くの割烹料理屋に繰り込んだ。どうやらこれが竹本流儀のようだ。七人が同じテーブルを囲んで侃侃諤諤、取り留めもない話をする。帰り際、竹本さんが提案する。

「明日の晩は、東京から来たお客さんを米軍基地内のレストランにご案内しようと思う。あなた方も私服でなく制服で来てくれんね」ウヘー、米軍基地か。

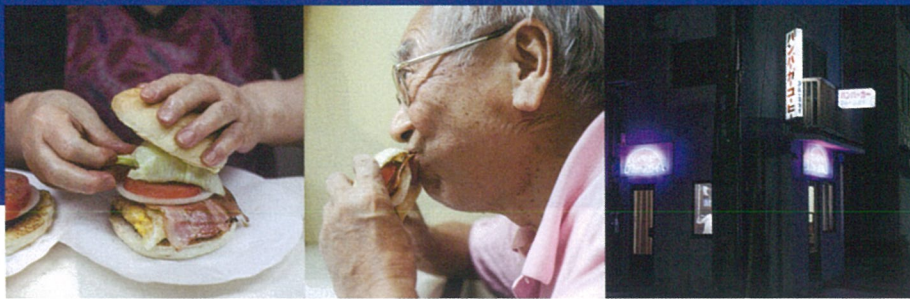
佐世保は、米海軍の軍人、軍属、家族合わせて六〇〇〇人弱が住み、海上自衛隊、陸上自衛隊の隊員ならびに家族を合わせて一万人が住む町なのだといまさらながらに思う。

翌日は集团的自衛権の問題なども話題にしながらあったわけではないが、ここには記さない。ただ、竹本さんのエネルギーが素晴らしいことに感嘆した二日間だった。

池辺史生（いけべ・ふみお）
元週刊朝日記者、現在はフリーランスの記者
佐藤 敬（さとう・たかし）
写真家。人物の撮影を軸に活動。

佐世保でシーカヤックを教える林田聡氏は、美しい自然をカメラに収め発表している（写真提供：林田聡氏）





べてそろった「天然のコンパクトシティ」である。人口二六万弱の佐世保市の中心部の商店街は、当時、特別な努力をしているわけでもないのににぎわっていた。

しかし、大型ショッピングセンターが郊外にできたら、その商店街もシャッター街と化すのではないか。青年会議所で活動していたころ、全国を歩き、地方都市の商店街が大型店の進出でさびれる例をいくつも見てきていたから不安に思った。どう対抗すべきか。

竹本さんは、そのころ、「四ヶ町商店街」の要職についていたわけではなかったが、アーケードでつながる隣の「三ヶ町商店街」と、間に位置する百貨店の玉屋（○がトレードマーク）に働きかけ、「きらきらフェスティバル」を計画し、クリスマス前の一か月、商店街の中ほどにある島瀬公園を中心に周辺をイルミネーションで飾り立てたのである。竹本さんが実行委員長を務めた。

とにかく
イベントを計画し、開催する

「商店街には、物を売り買いする経済的役割のほか、人々の出会いの場となる社会的役割、そして、情報を発信する文化的役割がある」

というのが竹本さんの持論だ。

「人が集まるところに人は集まる。いま商店街に來ている客を逃がさないためにさまざまなイベントを仕掛けよう。売り上げはすぐには上がらないかもしれないが、出会いの場をつくる活動を通じて人は育ち、町に対する愛着も生ま

れてくるはずだ」

と、商店街のやる気のある人たちに呼びかけて、近くのホテルの朝食バイキング会場で朝会議を重ねた。「若者・馬鹿者・よそ者夢会議」と称して、さまざまなイベントのプランを出し合った。会議のルールは、「それは無理だ、できそうもない」と言わないこと。どうやって実現するかだけについて話し合った。

「佐世保は、市民のほとんどがよそ者、だから開放的なんです。そのうえ何かに熱中するのぼせもんが多い。秋の『YOSAKOIさそぼ祭り』なんか、全国各地から一七四チームも参加して盛り上がります。とにかく、あれこれイベントを計画しては、記者クラブに行つて、針小棒大に書いてねと頼んだりしてきたわけですよ。あつはははは」

昨二〇一三年に一八回目を迎えた「きらきらフェスティバル」の案内パンフレットが手元にある。それによると、一月二一日が点灯式とオープニングパレード、以下、島瀬公園での大ピクニック大会、花屋さんの植え替え教室、カントリー&ウエスタン、きらきら大パーティー、護衛艦カレールランプリ、きらきらウエディング、きらきら大道芸大会、サンタクロース大集合、ザ・佐世保ベンチャーズの夜、きらきらジャズライブ、キャンドルを灯そう、クリスマスの佐世保に雪が降るなど、数えると三〇に近い催しが、土日を中心この「さるくシティ403アーケード」で挙行されている。

きらきら大パーティーは、花見の宴があるならイルミネーションの下の宴会があつてもいい

写真提供 さそぼ四ヶ町商店街協同組合





竹本慶三さん



てみた。焼けるまで待っている間、竹本さんの名前を出してみると、若い店員が、この商店街を活気づけている中心人物で、このアーケードを三〇〇メートルほど歩いたところにあるバッグの店の経営者だと教えてくれた。

訪ねてみると、案の定、留守だ。忙しい人なのだ。しかし、ほどなく竹本さん本人から電話がかかってきた。いまなら空いているからおいでよ、とまことに気さくだ。

近くの組合事務所に案内された。女性職員がお茶とともに何枚かの資料を持ってきてくれた。商店街のさまざまな催しの案内パンフレット、ならびに竹本慶三プロフィールと題された略年譜である。こういうものがあると、執筆のときに楽そうながして、取材が疎かになりがちだから要注意だ。

竹本慶三さんは、一九五〇（昭和二五）年一月、佐世保で生まれた。父親は、戦後、用品店、パチンコ店、ハンバーガーショップ、毛糸の卸・小売店など、あれこれやった後にカバンを扱うようになったが、慶三さんが明治学院大学の学生だったとき、五四歳で亡くなったという。慶三さんは、卒業後、親の友人のもとで丁稚奉公をしたり、沖縄で働いたりしてから佐世保に帰ってきた。二九歳のときだった。店は、兄と母とが切り盛りしていたので、慶三さん自身は三〇〜四〇代は青年会議所などもつばら外で活動していたそうだ。

竹本さんはボンボンポンとこまで話してから、「このときに人脈を培い、会の運営のノウハウ、イベントのノウハウを学んだことが大きかった」と言うのだった。

竹本さんは商店街活性化の仕掛け人として取材慣れしていて、各地で講演もしている。こちらが問うまでもなく要点をわかりやすく話してくれる。ありがたいけれど、ふと不吉な予感……。

かつて高名な文化人の追悼記事を書くために、親しかった編集者から取材をしたことがあるが、その編集者は、いかにも文章にしやすいエピソードをボンボンポンといくつか話してくれた後、「ところで、この追悼記事は何ページ？ 三ページ？ だったら、これで十分だろう」と、インタビューを打ち切られてしまった。

そんなことを思い出したのは、竹本さんの話があまりにこなれていて、そのまま文字化すれば、記事になってしまふと思えたからである。インタビュアーとしてはなんだか納得しかねる。でも、とにかく耳を傾ける。

竹本さんは、一九九六（平成八）年、イオン（当時はジャスコ）が佐世保の郊外に進出する計画と聞いたとき、危機感を持ったという。

佐世保は、竹本さんの表現に従えば、東西四〇四方のうちに市役所をはじめとする官公庁、病院、図書館、体育館、駅、港などの施設がす



長崎県 佐世保市



わがまち..... ROTARY そしてロータリー

人が集まるところに人は集まる
イベント連射する「のぼせもん」

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

郊外に大型ショッピングセンター進出……
その不安から始まった

地方都市の商店街の不振が言われるようになって久しい。シャッターが下ろされたままの店が並ぶ街を歩くのは哀しい。

ところが、今回、『ロータリーの友』編集部からは、佐世保の商店街はめっちゃ元気がいいらしいので、その秘密を探ってきてほしいという注文である。連絡先として、佐世保中央ロータリークラブの会員で「させぼ四ヶ町商店街協同組合理事長」を務める竹本慶三さんの携帯電話番号が伝えられた。

約束の日の前日、長崎空港からバスで佐世保入りして、駅前からぶらぶら歩いてその商店街「さるくシティ403アーケード」を目指した。長さ一キ、日本一長いアーケード商店街と称し

ている。「さるく」というのは「ぶらぶら歩く」というほどの意味の長崎弁である。

佐世保と言えば、その昔は小さな漁村、明治の半ばに帝国海軍の軍港として開け、戦後は米軍基地、自衛隊の基地の町として知られる。

「名物は佐世保バーガーかな」と行く前に会った友人たちに言われていたので、商店街の入り口のハンバーガーショップに立ち寄り、まずは一つ食べ



ることである。いろいろな活動ができていく、それを美術活動として僕はいろいろな所で展開してきました。

水の人を集めない

地域は面白くならない

風・土・光・水は植物が育つ重要な要素だと思っています。土がなくてはならないし、そこに種が落ちてくる。種を運んでくるのは風かもしれない。そこに光が当たって水がなければ育たない。表現というのは苗を植える作業、種を植える作業だと思っています。そこでいろいろな物が成長します。仮に花が咲かなくても、それが土壌を豊かにしていく上で非常に重要だ、という話なのです。

人にはいろいろな性格があります。僕は、性質の話に注目をしています。単純に言うと、土の性質の人は、何か面白いものがあると自分のところで育てたがる性質です。自分のところどころで大きく育てて、ひと儲けしてやろうというタイプの人です。風の性質の人は、面白いものを運びたがりです。「これはいいぞ」と言って、ほかの地域に持っていく。コンサルティング業などに就いている人が多いのではないのでしょうか。光の性質の人はメディアの人です。面白い人に光を当てて注目させ、テレビや新聞で取り上げます。メディアではないにしても「あいつは面白い」と言って回る人です。水の性質の人は興味、関心を注ぐ人です。「いいねえ、面白いねえ」と言う人。

そして、この関係がすごく重要で、全部の性質が必要なのですが、土とか風とか光の人は、それで仕事をしている人が多いのです。

しかし、水の人は興味、関心で動く人なので、仕事ではない人が多いのです。ある種のファンです。面白いとどんどん来るのですが、面白くないといなくなってしまう。

でも、これが大事なのです。土、風、光の人は多少面白くなくても、仕事だからしょうがないなど、育てようとしてたり持ってきたりしようします。これにだまされてはいけません。より感性豊かで一番信頼できるのは水の人だ、と僕は思っています。この水が唯一、お金を落としていく人だと思っています。

つまり水をどう集めるか、興味、関心をいかに集めていくかということを行わないと、地域は面白くなっていきません。特にアートの世界で言うと、例えば十和田には妙なアーティストがたくさん来ます。妙なアーティストというのは妙なものを探したがるので、地元の面白いおっちゃん、お婆ちゃん、面白い素材を見つけてしまうのです。地元の人だったら、絶対に面白いと言わないものに対して、遠慮隔てなく、何の気兼ねもせずに「面白いねえ」と言っています。

そうすると、良き誤解が生まれ、その人たちがどんどん育っていくという現象が起こります。ですから、いかに外からの人が大事かということ、そして水の性質の人をどう使うか、水をどう集めるか、水をどうマネジメントするかが地域づくりでは大事だと思っています。逆に

言うと、この興味と関心に耐え得るだけのものを常に用意しないといけないと思います。

この一二年、注目してやっていることがあります。「部室募集」です。僕自身が今までつくってきた空間があります。僕がプロジェクトで関わってきた空間が、いわゆる学校の部室的なものだったらどれほどいいのかな、と思いました。僕自身は、中学時代はバレーボール部、高校時代は美術部で、大学時代は演劇部、軽音楽部、バレーボール部、漫研……いろいろなやつていましたが、部活動よりも「部室」が大事だったということに気づきました。

活動そのものもいいものですが、いろいろな地域活動が「部活動化」していると感じる中で、いろいろな所に部室がないことに気づいたので、公民館は部室になりません。人が溜まれない。常に入れ替わっています。そこに行くと誰かがいる、誰かと過ごすことができるという「部室」を僕はつくろうとしています。

不幸なことに、青森県の成人男性、四〇代、五〇代の自殺率は非常に高いそうです。それはなぜか。いろいろな問題があるのでしょうか、職場と家庭以外のものも必要ではないかと思えます。自分の趣味、活動をわかり合えて、一緒に遊んでいけるような人、生活の中にそういう柔らかな感性が必要なのではないかと思いいろいろな「部室」をつくっていく活動というのはどうだろうか。これが僕の提案です。

これで話を終わりたいと思います。ソフトパワーという話でした。

(ホスト 十和田RC)

す。ブッシュナイフで草を切り分けながら山の中まで入って、ある所まで行くと現地の人が豚の糞などを見つけてます。豚がいるぞ、ということ目ぼしい所に落とし穴を掘ります。どうするのだろうなと思って見ていたら、後は待つていけばいいと言います。後は犬が追いかけて来て、落とし穴に入れてくれると。そんなことはあり得ないと思いました。全然、何のコミュニケーションもしませんし、後ろからついてきているだけの犬ですから。

ヤシの木陰で現地の人と一緒にうつらうつらしながら何時間か待っていたと思います。すると、その犬たちが一斉に「わんわん」と吠えて、オオカミのような勢いで走り出しました。吠えながら、落とし穴に豚を落とし込んだのです。追い込み狼です。

それを見た時に、本当に感動しました。心が震えました。「美しいなあ」と思い、これが美しさというものではないか、と思ひまして、この時に、あるものを確信したのです。そう考えると、ペインティングにしてもそうですが、顔料などというのは岩を砕いた破片です。木炭だつて燃えかすです。ただの燃えかすを重ねて重ねて、人に感動を伝えたり、すごいことをする技術だとかエネルギー、これを芸術、美術と呼ぶのではないかと思つたのです。

机をたたいたような雑音でも、リズムをつくって何万人という観衆を感動させることもできます。石を彫ることで地蔵をつくることもできますし、ミケランジェロ（一四七五～一五六四）の有名な聖母子の彫刻「ピエタ」の

ように、あの世の、次の世界を見せてくれるものをつくることもできます。また、体の動き一つで世界中の人を感動させることもできます。普通の人が行ったら何でもないことなのですが、その普通の状態のものを重ね重ね超えることで、あり得ない状態にさせる、それが芸術なのではないか、と確信しました。

パプアニューギニアの痩せ犬が、僕に「美とは何か」ということを教えてくれたのです。別に絵画だから彫刻だから、もしくは有名な音楽家がやっているからではなくて、何でもないのでから一生懸命立ち上げようとして日々何かをつくろうとしている、エネルギーを注いでいる人がいる、そういう人たちの態度、そのものが非常に美しいものではないか、と思ひ、それを仕事にしていきたいと思つたのです。

一九九八年に、僕は博多で灯明をつくりました。最も簡単に安く早くできる灯明と思ひ一枚五円の紙袋、もしくは事務所に余っているようなA四判が入る封筒を使って、それに砂を入

れるだけのランタンです。そこらうそくを入れました。それを七〇〇〇個使って地元のデザイナークが考えながら、小学校、中学校といった地域の空き地を使って、皆さんが考えた絵を描いていくというプログラムをつくり、その後、ほかの人たちがいろいろ展開しています。「博多灯明」と言つて、今でも毎年博多で数十か所利用して開催され、皆さんが見て回るような大きい祭りになっています。

非常に大きな発見だと自分では思っているのですが、当時考えていたのは「OS (Operating System)」、すなわち基本ソフトという考え方です。よくソフトなのかハードなのか、という話をしますが、人はまず「OS」をつくるべきだと思つています。

OSが変わるとアプリケーションソフト（OS上にインストールして利用するソフトウェア全般のこと）が変わっていきます。OSに合わせて、いろいろなアプリケーションが発生していきます。OSをいかにつくるか、それをつく



藤 浩志

■ 十和田市現代美術館館長

一九六〇年 鹿児島生まれ。八三年 京都市立芸術大学美術学部卒業（工芸科染織専攻）。八五年 同大学大学院美術研究科修了。八六～八八年 パプアニューギニア国立芸術学校（現パプアニューギニア国立大学芸術学部）講師。八三～八五年 京都情報社主宰（パフォーマンス、空間制作ユニット）。八八～九二年 建築企画・都市計画コンサルタント勤務。九二年 藤浩志企画制作室代表。神戸大学（空間構成、ワークショップ論）非常勤講師。二〇一二年 十和田市現代美術館（<http://kondaircenter.com>）副館長。一四年 同館長就任、現在に至る。著書に『地域を変えるソフトパワーアートプロジェクトがたぐく人の知恵、まちの経験』AAFネットワーク、二〇一二年など。群馬県のハラミュージアムアーク（<http://www.haramuseum.or.jp>）にて、一〇月五日まで企画展「トイザウルスの秘境 藤浩志」を開催中。藤浩志個人サイトは <http://geo.jp>

前の状態があります。イメージになる前です。から、言葉にもなっていないし、形にもなっていないし、捉えることができません。見えない、話もできない、だから、イメージを立ち上げようとしているのだと思うのです。

もう一〇年以上前になりますが、このイメージになる前の部分に勝手に名前をつけました。「もやもや」という名前です。この「もやもや」が、新しい活動をつくる上で非常に重要だと思っています。これは「ソフトパワー」に非常に近いものであると思います。まだ何にもなっていないものです。

このもやもやしたものは、違和感とかズレから出てくるのではないかと思っています。つまり、今立ち上がったいろいろなイメージ、今僕たちが座っているこの部屋のあらゆる空間に対して、もしも違和感とかズレとか「いや、こんなものじゃないな」と思う人がいたら、多分その人は「イメージ」をすることができますし、形にして次の新しい空間をつくることができます。と思います。

その違和感を、感じられるかどうか、もしくはズレをちゃんと感じられるかどうかが重要で、それが感性ではないかと思っています。「もやもや」は、近年の経済活動の中では、排除されてきたものです。より効率的にとか、速く合理的にという中では、「もやもや」、違和感、ズレは、無視した方がいいものだと考えられてきたと思います。

ところがこの些細なもやもや、ズレ、違和感に向き合い、どうしようもないものにこだわり、

生きている人たちがいます。その多くが研究者だったり、アーティストだったり、そういう類いの人なのではないかと思っています。そこには、次の時代のイメージを立ち上げるための非常に重要なヒントがあるということで、ある先駆的な人たちは、「もやもや」、違和感、ズレに注目しています。

「表現する」という言葉がありますが、僕自身は、「表現する」とは自分の常識や思っていることをいかに超えるかだと思います。今までやってきた自分の活動を、行動を、どう超えるのか。そのためには客観視しなくてはいけないし、自分がどういうことをやってきたのかを、冷静に外から見ると必要だと思います。その上でどう超えていくのが、重要なのではないかと思います。

芸術とは

なんでもないものに

エネルギーを注ぎ

あり得ない状態にすること

「美とは何か」。まず一つの答えとしては、美は一〇〇通りある、つまり価値観である、ということだと思います。それぞれの価値観を美という言葉で置き換えてもいいのではないのでしょうか。それぞれにとって美は違います。

ただ、それを追求しているかどうか、すごく重要なのではないかと思っています。全く無視して、美なんか関係ない、価値観なんか関係

ないという生き方と、何が大事か、私にとって何が大切かということを追求している生き方とは、生き方そのものが全然違うのではないかと思います。そういう意味での「美」だと思います。

パプアニューギニアに行った時に、田舎で痩せけた犬に出合います。病気で毛がちぎれていて、耳が食いちぎられていて、皮膚病です。集落の周辺に五、六匹群れています。人間が飼っている犬ではなくて、人間の近くに住んでいるのです。病気を抱えていますから、人に近づくと現地の人は石を持って追い払うのです。かといって野犬のようにたくましさもなく、卑屈な目をしています。

青年海外協力隊員として、国立芸術学校でイラストレーションを教える仕事をしていました。文化人類学者の人たちが現地にかくさんいて、その人たちについて、奥地まで入っていったことがあります。そこに行くと、やはり痩せけた犬がいるのです。

儀式の時にニューギニア人は野豚を捕まえるのですが、野豚を捕まえるのにこの犬たちが協力するという話を聞きました。一緒に野豚を追いかけてくれるのだと。でも僕は、こんなボロボロの犬が野豚を追いかけるなどとは想像できませんでした。ある時、地元のおばあちゃんが亡くなり葬式がありました。文化人類学者たちは、儀式があるから豚を捕りに行くかもしれないと、現地の人についていきます。僕もついていきました。

そうすると、五、六匹の犬がついてくるので



「フラワー・ホース」チェ・ジョンファ作 写真提供：十和田市現代美術館

のでしょうか。一つには、成功事例を持つてきて、それをビジョンとして進めていく方法があります。

ところが、その成功事例は誰かがつくっているのです。その成功事例をつくった人はもともと事例がない状態からつくるわけですが、そのイメージは、どこからつくっていくのでしょうか。

遺伝子には、生物学的遺伝子と社会的遺伝子がありますが、自分が今どういう環境にいるのか、自分が何を経験してきたのか、もしくは自分たちの遺伝子が何を経験しているのかで、変わっていくのではないのでしょうか。

僕らがつくるうとしているものは、今、生きている世代に対して、もしくは次の世代に対してすごく大きな影響を与えていくもの、それに対してどういうものをつくっていくのか。これは肯定的、否定的な意味も含めてイメージをつくっていくことだと思います。立ち上げたイメージは流通します。しかしその前に、イメージを立ち上げる前の状態があるということが、重要だと思っています。

イメージが立ち上がると、いろいろな活動ができます。新しい活動にしても、企業の経営にしても、地域づくりにしてもそうです。どういう絵を描こうかということです。野球選手は、ホームランを打つイメージを持つことができれば打てる、と言いますが、そのイメージを持つのが大変です。このイメージを立ち上げる上で、立ち上げるその前の状態に注目したのです。

イメージを立ち上げる前に、イメージになる

地域を変えるソフトパワー

未熟な状態であること、固まっていないことが、あらゆる可能性になっていきます。何かを構築するには、こっちの方に行くべきなのではないか、という考えを持ちながらも、常に「柔らかな状態」になりながら、何が次に起こるかかわからないが、次に出てくるものに対して自分自身を開いていきながら、行っていくのが非常に重要なのではないかと考えています。

十和田市現代美術館館長

藤 浩志

Hiroshi Fuji

イメージになる前の部分 「もやもや」に注目

今日のタイトルの「地域を変えるソフトパワー」は、二〇一二年に出版された僕の本のタイトルです。「ソフトパワー」を僕なりに解釈しました。柔らかな状態であることがいかに重要であるかということ、未熟な状態であること、固まっていないことが、あらゆる可能性になっていく、ということです。

いかに固着しないか、固定しないか、地域をつくる上でも、さまざまな活動をつくる上でも、いろいろなものにいかに圧力を受けない状態、圧迫もしくは束縛されていないかが、非常に重要であると思っています。

何かを構築するには、「せきすい脊髄構築」といって目標を持って骨格をつくり、それに従ってものごとをつくっていくのが常識だったと思うのですが、一九八〇年代以降、「軟体構築」といって、それぞれが脊髄を持たない生物、つまりコア（核）を持ちながら、アメーバ状にいろいろなベクトルに向かいながら、ものごとがつくられていくやり方が、注目されてきています。美術活動も含めてですが、ある種の限界、脊髄を

持ちながら構築していく上で限界を感じた時に、少し違う新しいつくり方が登場してきてい、と捉えています。

「限界を超える」という言葉がありますが、超えることが次の活動、予想できない活動をつくっていく上で、すごく重要だと思っています。僕たちアーティストは、何らかの新しいイメージを立ち上げる仕事をしています。そのイメージをつくる上で現状を直視しながら、通常、常識だと無視したり、忘れようとして、見えなくしたりするものに対して、アーティストそれぞれ（研究者もそうかもしれませんが、新規事業を行う人もそうかもしれませんが）が、何かそこから立ち上げることはできないか、と日々行動しています。

「ビジョンを持ちなさい」と言われて僕たちも育ってきましたが、ビジョンというのは最終地点のようなイメージがあります。ビジョンは確かなものかもしれませんが、ベクトルが重要なのではないのか、こっちの方に行くべきなのではないか、という考えを持ちながらも、常に「柔らかな状態」になりながら、何が次に起こるかかわからないが、次に出てくるものに対して自分自身を開いていきながら、行っていくのが非常に重要なのではないか。こういう構築方法もあるのではないかと考えています。

ではこのイメージは一体どこから来るのか、僕らの中ではすごく重要です。皆さんも企業を経営していく上で、次のイメージ、もしくはビジョンをつくらなくてはならないことがあると思うのですが、それをどこから持ってくる

8月は会員増強・拡大月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

地域を変えるソフトパワー.....4 81

■十和田市現代美術館館長 藤 浩志

シリーズ わがまち……そしてロータリー.....9 76

 人が集まるところに人は集まる
イベント連射する「のぼせもん」

長崎県 佐世保市

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

友愛の広場.....13 72

九一歳の現役ロータリアン

一期一会の日

クラブの会員

青少年交換学生との再会

新しい主人に乾杯 花宴

黒田官兵衛と光姫で盛り上がる加古川

斎藤實記念館訪問とみちのくの旅

例会三〇〇〇回記念を祝う

●バナー自慢

卓話の泉.....18 67

時代の新潮流 コワーキングスペース

日本の医療はどうなる ニ〇三〇年問題

漢字と日本語

漢字と日本語

ロータリー俳壇.....20 65

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てじま晩秋 選

ロータリー・アット・ワーク.....22 63

 車いすバスケットボール
南九州大会を主管して

鹿児島サンウインドロータリークラブ

〈写真〉斜里／高槻西／静岡中央／佐世保北

所沢東／京都南／名張／横浜鶴見北／川西／佐久

池田／館林西／小松／山形南／富岡かぶら／堺

会員研修 ロータリーを楽しくしよう！

届けよう世界の心と輝くスマイル

VITプロジェクト医療研修チーム海外派遣

地域で認知症の方を支えるために

三世代の交流と認知症サポーターの養成講座

恒例の児童福祉施設訪問

子どもたちの笑顔

自殺予防フォーラムを開催

熊本市の水源涵養林植樹

春の「海の森」植樹まつりに参加

桜の名所で中学生と清掃ボランティア

ロータリー公園の第三五回清掃活動

温故知新！ 奉仕の継続を目指して

継続二〇年、中学生のための救急蘇生講座

●内外よろず案内

表紙のメッセージ 岡井 耀毅

『友』誌表紙写真公募審査結果

表紙 横組み 「晴天のマスターホルン」 浅香 収（二六四〇 堺南）

縦組み 「雷鳥の親子」 小田 敬介（二七〇〇 八幡西）

表紙レイアウト 加藤 光峰

表紙レイアウト 賀牧 彰

 ●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

 ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

 一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ポリオのない世界まで あと少し

子どもたちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう
今こそポリオを世界から撲滅しましょう。

歴史に1ページを刻むために
募金、認識向上、支援の働きかけにご協力ください。

endpolionow.org/ja



あと少し

ジュディ・オング

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO AUGUST 2014 VOL.62 NO.8

ロータリーの友8月号 第62巻 第8号
平成26年8月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻740号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

8
2014



SPEECH ———

地域を変えるソフトパワー

藤 浩志

わがまち……そしてロータリー

長崎県佐世保市

Rotary 